

WinActor FAQ

目次

1 シナリオ作成・実行に関する質問	10
1.1 シナリオ作成中における部分的なデバッグ方法	10
1.2 シナリオ実行中の停止／一時停止方法	12
1.3 シナリオ処理時間の確認方法.....	13
1.4 パスワード(起動パスワード・編集パスワード・閲覧パスワード・実行パスワード)を忘れてしまった場合	15
1.5 フローチャート画面だけ非表示にしたい場合	15
1.6 変数の文字数制限	15
1.7 1 台の PC で複数のシナリオを並列実行する方法があるか	17
1.8 WinActor の重複起動可否	17
1.9 シナリオ実行速度の最速値	17
1.10 シナリオ実行端末の状態の制限.....	18
1.11 画面カスタマイズの影響	18
1.12 メモリ不足の回避方法	19
1.13 ウィンドウタイトルの一部が変わる場合のウィンドウ識別方法	20
1.14 画面を自動スクロールさせる方法	21
1.15 ノードを実行抑止に設定したまま残しておく方法	21
1.16 シナリオ編集集中にプロパティ情報が読み込めなくなる	22
1.17 実行抑止状態の保存により特定のノードが実行されない.....	22
1.18 予期せぬシナリオ停止.....	23

1.19 WinActor 最小化時にタスクバーからアイコンが消える	24
1.20 実行ログに出力されるノード ID を変更したい.....	24
1.21 「試用期限」と「有効期限」の違い.....	25
1.22 シナリオ実行の途中でシナリオを一時中断し人の判断を行う方法	25
1.23 Excel ファイルから変数名を取り込む方法.....	25
1.24 変数の型 (int 型など) の設定可否	26
1.25 変数の文字数制限	26
1.26 同一変数名の使用可否	26
1.27 シナリオ内で使用するパスワードを見えないようにする方法	27
1.28 変数に特定コード (改行コード等)を設定する方法.....	27
1.29 変数の値を記録する機能の有無	28
1.30 データー一覧へのインポートファイル形式	28
1.31 データー一覧のエクスポート方法	29
1.32 データー一覧を使用するシナリオ立ち上げと同時にデータインポートを行う方法.....	30
1.33 データー一覧を使用する際、一度だけ特定の処理を行う方法.....	30
1.34 ウィンドウ識別を使わずにエミュレーション操作をしたい	31
1.35 ウィンドウ識別を使わずに画像マッチング操作をしたい	32
1.36 ウィンドウ識別ができない画面の操作.....	33
1.37 ウィンドウ名が可変のウィンドウを操作する方法	34
1.38 ウィンドウの識別条件が同じ画面の操作方法	35
1.39 ウィンドウ識別ルール of 記録時情報編集の利用方法	37
1.40 ウィンドウ識別ルール of 記録時情報編集の利用方法	37
1.41 「対象のアクティブ化に失敗しました。」エラー時の対処	38
1.42 「ウィンドウ識別名に一致するウィンドウが存在しませんでした」エラーの原因と対策.....	39

1.43 「指定したウィンドウ識別のハンドルが取得できません」エラーの原因と対策	40
1.44 ウィンドウタイトルの一部が変わる場合のウィンドウ識別方法	41
1.45 エミュレーション操作において、想定通りの動きにならない原因	41
1.46 色の違いが画像マッチングに影響を与えるか否か	42
1.47 画像内の特定箇所により処理を分岐させる方法	42
1.48 マッチ率の設定基準	44
1.49 ノード「画像マッチング」とノード「輪郭マッチング」の使い分け	44
1.50 ノード「画像マッチング」とノード「輪郭マッチング」のマッチングの誤検知	45
1.51 Edge IE モードへの対応有無	45
1.52 IE モードで自動記録を行うと操作記録が重くなる	45
1.53 自動記録アクションで対象コントロール指定がうまく動作しない時の対処	46
1.54 シナリオファイルのサイズを小さくする方法	48
1.55 シナリオを定期的に実行する方法	49
1.56 手動で起動したブラウザを操作したい	54
1.57 保存されていない Excel ファイルを操作する方法	54
1.58 Excel で部分一致の検索を行う方法	55
1.59 Excel マクロと WinActor シナリオのどちらで処理を実行したほうがいいのかの判断基準	55
1.60 Excel の指定シートを CSV 形式で保存する方法	55
1.61 Excel で行/列の操作方法	56
1.62 Excel ファイルに任意の名前をつけて保存する方法	56
1.63 Excel ブック間でシートコピーする方法	57
1.64 Excel で特定範囲をコピーして貼り付ける方法	57
1.65 Excel リボンに対するエミュレーション操作	58
1.66 CSV ファイルを Excel 形式で保存する方法	58

1.67 操作対象の画面を最大化する方法	60
1.68 Excel ファイルを PDF 形式で保存する方法	60
1.69 IE 上の表の指定セルに存在するコントロールをクリックする方法	61
1.70 Excel のシート名を変更する方法	61
2 ノード・ライブラリに関する質問	62
2.1 ノード「文字列送信」よりもシナリオ実行速度を向上させる方法	62
2.2 記録モードと自動記録アクションの違い	63
2.3 「文字列送信」で送信した文字列の文字化け回避.....	64
2.4 不要な改行の回避方法.....	64
2.5 ライブラリを変更した場合のシナリオへの適用方法	65
2.6 ノードやライブラリの表示変更	67
2.7 ユーザライブラリのバージョン情報表示	69
2.8 特定の文字列を含むファイルの検索	70
2.9 ファイルの Zip 圧縮	72
2.10 ファイル名順、あるいは更新順にファイル名を取得	73
2.11 ライブラリ「先頭ファイルの取得」における Zip ファイルの扱い	73
2.12 デスクトップ上のアプリケーションを起動させる方法.....	74
2.13 「Outlook メール送信（添付ファイル付）」でメールを送信せずに保存する方法.....	75
2.14 Outlook の添付ファイル開封の方法.....	75
2.15 ライブラリ「Excel 操作（最終行取得その 1~4）」の違い	76
2.16 Excel を検索するライブラリの違い	79
2.17 IE 以外のウェブブラウザ（Edge、GoogleChrome）の操作について	81
2.18 Web ブラウザ上のテキストを取得するためのノードについて	81

2.19 同梱ライブラリ以外のライブラリはあるか	82
3 エラーに関する質問	83
3.1 エラー発生箇所を特定する方法	83
3.2 シナリオ実行中にエラーとなったときのメール送信可否	84
3.3 起動ショートカットからのシナリオ実行に失敗する.....	85
3.4 エラーが発生したノード名・シナリオ名を取得する方法.....	86
3.5 ノード「例外処理」の正常系内で意図的に例外を発生させる方法	87
3.6 ノード「例外処理」の正常系内でエラーが発生した際、異常系に遷移しない	88
3.7 ブラウザでの自動記録のエラーについて.....	88
3.8 ブラウザ起動で Edge を開く際のエラー	89
3.9 タスクスケジューラに登録したシナリオでエラーが発生する	90
4 動作環境に関する質問	91
4.1 インストールフォルダの移動.....	91
4.2 WinActor が起動しない	92
4.3 WinActor のアンインストール方法	94
4.4 WinActor が起動しない：正しくインストールされていない可能性があります	95
4.5 WinActor が起動しない：スプラッシュ画面で停止する	97
4.6 WinActor のサイレントインストール	98
4.7 WinActor をインストールする際の禁止事項	99
4.8 トライアルを行う際のインストーラ	99
4.9 ユーザを切り替えるとオプションが設定されていない	100
4.10 評価版 WinActor の複数台インストール	100

4.11 シナリオファイルをダブルクリックしても WinActor が起動せず、シナリオが実行できない.....	100
4.12 シナリオを作成した WinActor と実行環境の WinActor のバージョンが異なる場合に表示されるポップアップの対処方法	101
4.13 仮想・クラウドで利用する場合の事前検証	101
4.14 WinActor が起動しない：ユーザによって使用できない.....	103
4.15 ログオフしてログインすると WinActor が利用できない.....	104
4.16 起動時メッセージ：「PC 情報が変更されました。新しいライセンスを登録してください。」..	105
4.17 仮想・クラウド環境での利用	107
4.18 サーバ OS での WinActor 動作.....	108
4.19 リモートデスクトップで接続先のアプリケーションを操作する方法.....	109
4.20 PC のディスプレイの電源 OFF 時のシナリオ実行可否	109
4.21 PC を機種変更した場合の既存シナリオの動作.....	109
4.22 WinActor のバージョンアップ後の既存シナリオの利用可否.....	110
4.23 WinActor 実行中の Windows Update の影響	110
4.24 Windows Update の更新プログラムのシナリオへの影響	110
4.25 シナリオ実行中に端末フリーズ状態になった時の状態検知の可否.....	111
4.26 シナリオ作成とシナリオ実行の PC の OS のバージョンが異なる場合の動作	111
4.27 シナリオ作成とシナリオ実行を別々の端末で行う場合の注意点	112
4.28 ノート PC を閉じた状態でのシナリオ実行可否.....	112
4.29 OS による処理速度の違い.....	113
4.30 OS の 64bit と 32bit の差異	113
5 機能・制約に関する質問.....	114
5.1 日本語以外への対応の有無.....	114

5.2 利用中の WinActor の資材種別を確認する方法.....	114
5.3 オンライン更新に失敗する	115
5.4 バージョンアップに失敗した	116
5.5 バージョンアップ前の WinActor でシナリオ実行ができるか	117
5.6 WinActor の動作対象アプリケーション（Office 等）がバージョンアップした際の既存シナリオの動作	117
5.7 Office365 の自動化可否	118
5.8 Java アプレットの画面操作	118
5.9 自動アップデート機能	119
6 その他の機能に関する質問.....	120
6.1 フローチャートへのコメント記述可否	120
6.2 フローチャート内のアクションやグループの背景色を変更する方法	120
6.3 シナリオのフローチャートをドキュメント等で出力する手順	120
6.4 Chrome モードの拡張機能「WinActor Chrome Agent」のインストールについて	121
6.5 自動記録アクションの詳細設定（frame index、tag index、instance の値）	121
6.6 イベントモードで操作の記録が実施できない場合の対処方法	121
6.7 Chrome モードで記録できるサイトの基準	122
6.8 ブラウザ起動時のプロキシ設定方法.....	122
6.9 WinActor 実行ログのファイル出力方法.....	122
6.10 ノード「インプットボックス」「選択ボックス」等の選択内容をログに出力する方法	124
6.11 WinActor マニュアルの入手方法	125
6.12 シナリオ作成についてもっと知りたいとき	126

7 ライセンスに関する質問	127
7.1 ライセンス登録時メッセージ：ライセンス期間外のためライセンスの登録ができません.....	127
7.2 端末故障・破損・紛失・返却・廃棄の場合のライセンス移管手続き	128
7.3 標準ユーザ用から管理者ユーザ用への資材種別変更	129
7.4 ライセンス発行サイト・オンライン登録の受付時間と所要時間	131
7.5 複数ユーザで利用する場合に必要なライセンスの数え方	132
7.6 フローティングライセンスを利用している PC の確認方法【WinActorFLA】.....	133
7.7 フローティングライセンスを利用している PC の強制切断【WinActorFLA】.....	133
7.8 ライセンスサーバとの通信ができなかった場合の WinActor の挙動【FL 版 WinActor】....	134
7.9 ライセンス認証を行うための通信	135
7.10 起動時メッセージ：評価ライセンスの試用期限が切れました	136
7.11 WinActor を別の端末で使用したい.....	137
7.12 ライセンス登録時メッセージ：ライセンスファイルの読み取りに失敗しました.....	138
7.13 ライセンス適用済みの WinActor に、別のライセンスを登録したい	139
7.14 ライセンス更新のタイミングで、端末を変更したい.....	140
7.15 登録したライセンスが別ユーザで認証されない	141
7.16 ライセンス登録時メッセージ：正しいライセンスファイルを指定してください	143
7.17 ノードロックライセンスを登録した WinActor 端末を確認する方法	144
7.18 FL 版環境での NL 版評価ライセンスの利用可否	145
7.19 移管前製品 ID ファイルがない場合のライセンス移管手続き.....	146
7.20 ライセンスクリア証明書がありません	147
7.21 ライセンスを重複発行した場合の対応	148
7.22 v6.X.X と v7.X.X を併用している場合の v6.X.X の削除.....	149

7.23 IP アドレス・PC 名変更による影響	149
7.24 ライセンス登録時メッセージ：指定した保守契約 ID で発行可能なライセンスは全て発行済み です	150
7.25 ライセンス更新をしたが反映されない	151
7.26 フローティングライセンス版 WinActor のライセンス更新とバージョンアップ	152
7.27 実行版での実行、停止、一時停止機能の有無	152
7.28 WinActor ライセンスの取得・登録期限	153
7.29 ライセンスの期限が切れた後の新規ライセンス登録	153
7.30 ライセンスクリア証明書出力後の使用可否	153
7.31 ライセンスファイルを別端末で使用	153
7.32 バージョンアップ情報のユーザへの提供方法	154

1 シナリオ作成・実行に関する質問

1.1 シナリオ作成中における部分的なデバッグ方法

Q シナリオを作成していく中で、部分的にデバッグしていく方法がありますか。

A シナリオは部分的なデバッグが可能となります。実行方法は以下の通りです。

■部分的にデバッグしたいノードを選択後、右クリックメニューより「部分実行」を選択し実行する

また、デバッグに関連して、ブレイクポイントの設定やステップ実行を行うことができます。設定方法は以下マニュアルをご確認ください。

操作マニュアル

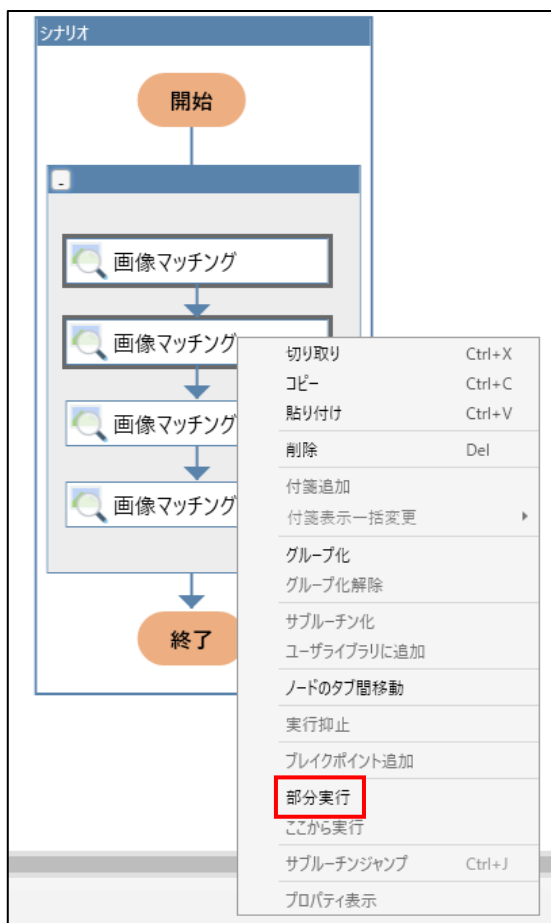
L3.3 ツールバー

L3.3.3 ステップ実行

L3.5 シナリオ編集エリア

L3.5.5 右クリックメニュー

図 1.1 部分実行の方法



ノードを選択後、右クリックをすると図 1.1 のメニューが表示されます。
表示後、赤枠にある部分実行をクリックすると選択箇所のみ実行できます。

1.2 シナリオ実行中の停止／一時停止方法

Q シナリオ実行中に、シナリオをポーズまたはストップすることは可能ですか。

A 可能です。

ツールバーにポーズ（一時停止）、ストップ（停止）のアイコンがありますので、用途に合わせて押下ください。

また、以下ショートカットキーがデフォルトで割り当てられています。

- ・ポーズ（一時停止）：Ctrl+Alt+M
- ・ストップ（停止）：Ctrl+Alt+U

ショートカットキーは、メイン画面の「ツール」→「オプション」→「実行」タブから、キーの割り当てを変更できます。

ショートカットキーの割り当て変更方法

1. メニューバーの「ツール」メニューより、「オプション」を選択する

図 1.2.1 メニュー表示



2. 「実行」タブのショートカットキー欄にある「停止」「一時停止」のキー変更後、OK を押下する

図 1.2.2 コマンド実行結果例



1.3 シナリオ処理時間の確認方法

- Q** シナリオ処理時間の確認方法を教えてください。
- A** WinActor 画面上の機能編集エリアの「ログ出力」タブ画面から確認できます。「ログ出力」タブ画面内に表示される「経過時間」が、シナリオ処理時間となります。なお、該当のタブが存在しない場合は、画面上部の「表示」メニューより「ログ出力」を選択してください。

また、WinActor 画面のステータスバーからも、経過時間の確認が可能となります。

図 1.3.1 WinActor 画面例①

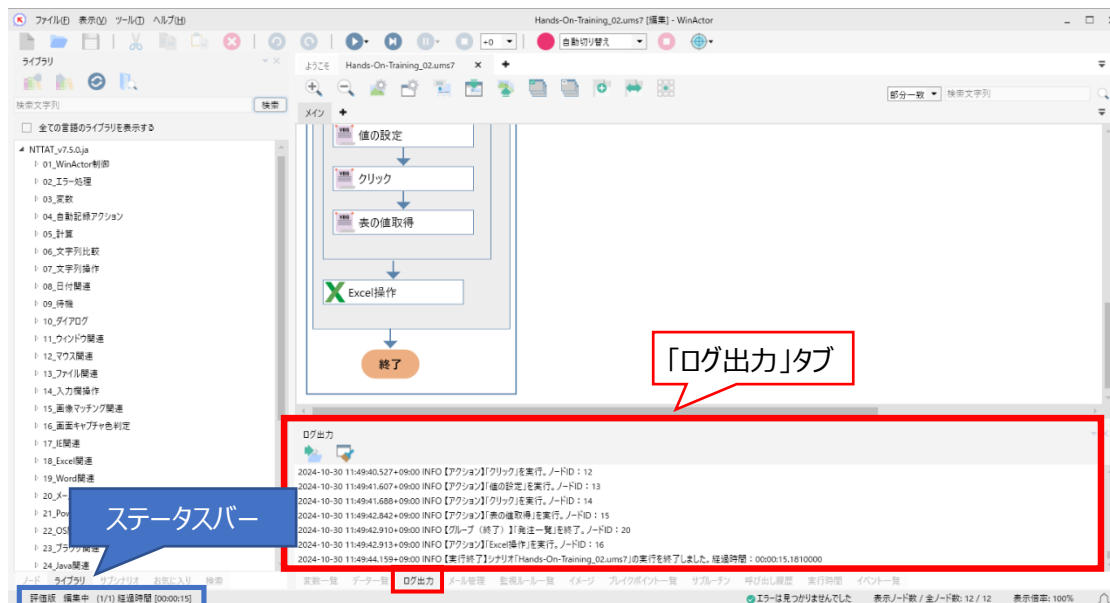
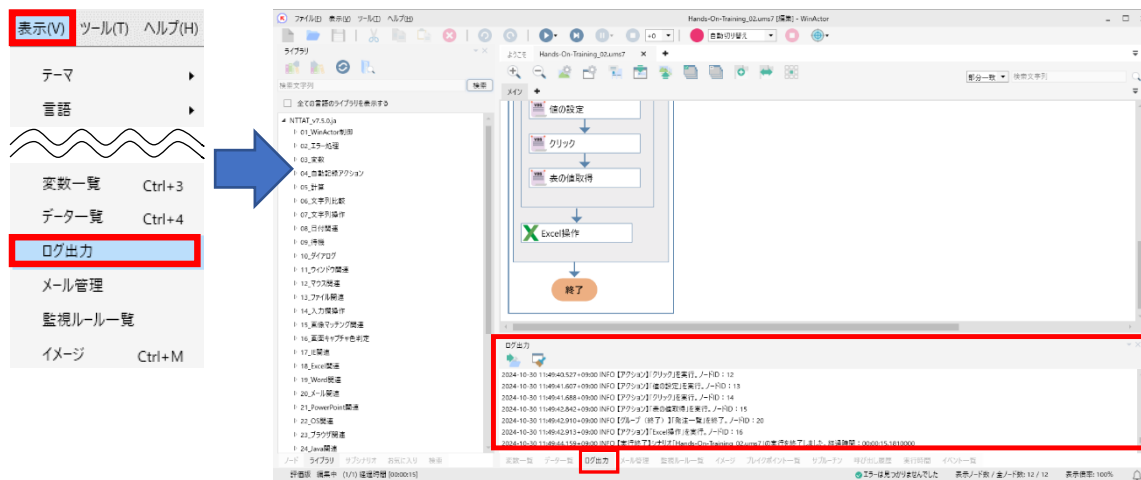


図 1.3.2 機能編集エリアに「ログ出力」タブが存在しない場合の出力方法



1.4 パスワード(起動パスワード・編集パスワード・閲覧パスワード・実行パスワード)を忘れてしまった場合

- Q** 設定したパスワード(起動パスワード・編集パスワード・閲覧パスワード・実行パスワード)を忘れてしまいました。パスワードを解除する方法はありますか。
- A** パスワード(起動パスワード・編集パスワード・閲覧パスワード・実行パスワード)を解除する手段はありません。設定したパスワードは忘れないよう管理をお願いします。

1.5 フローチャート画面だけ非表示にしたい場合

- Q** v7.0.0以降、フローチャート画面を非表示にする項目が見つけれられません。フローチャート画面を非表示にする方法を教えてください。
- A** v7.0.0以降では、v6.3.0以前のようにメイン画面とフローチャート画面は独立しておらず、フローチャート画面だけを非表示にすることはできません。

フローチャート画面を非表示にしたい場合は、画面右上の最小化ボタンをクリックして、画面全体を非表示にさせていただく必要があります。
もしくは、以下ライブラリをシナリオ内に配置し、シナリオ内で画面を最小化してください。

ライブラリ

- └「01_WinActor 制御」
- └「01_WinActor ウィンドウ」
- └「WinActor ウィンドウを最小化」

1.6 変数の文字数制限

- Q** 変数に最大文字数はありますか。
- A** デフォルトの最大文字数は 1024 文字ですが、シナリオ情報画面の「その他」タブにある「変数値の文字数を制限する」の項目からチェックを外すことで制限を解除することができます。
ただし、変数値の制限を解除することでシナリオ実行時の動作が重くなる場合がありますのでご注意ください。

図 1.6.1 シナリオ情報画面表示方法

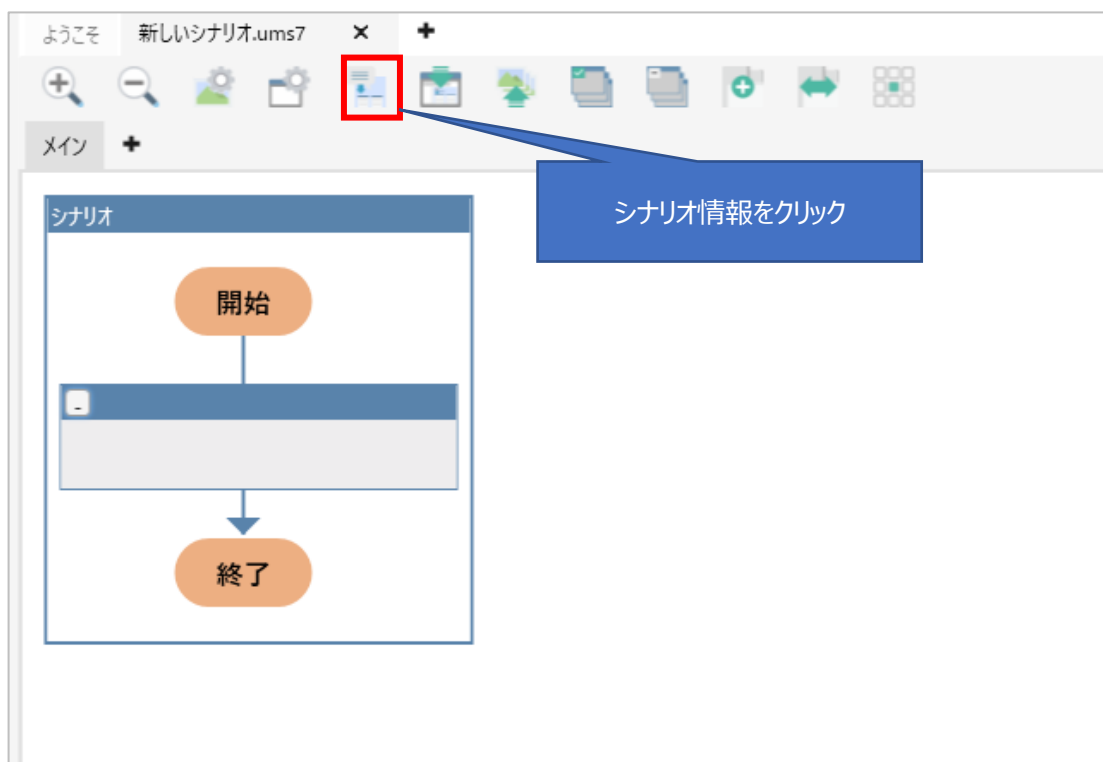


図 1.6.2 シナリオ情報プロパティ画面



1.7 1台のPCで複数のシナリオを並列実行する方法があるか

Q 1台のPCで、複数のシナリオをWinActorで同時実行することは可能でしょうか。

A 基本的にWinActorは、1台のPCで複数のシナリオを同時に実行することができません。

WinActorが自動操作を行っている最中は、WinActorがPCを占有するとお考えください。

そのため、WinActorによる自動操作中に人がPCを操作してしまうと誤操作、誤投入の原因となります。

並列実行を行うためには、PCを複数台ご準備いただくことになります。

1.8 WinActorの重複起動可否

Q タスクスケジューラを複数設定し、WinActorが重複起動された場合、WinActorの動作はどうなりますか。

A WinActorは重複起動できません。

そのため、すでにWinActorが起動している状態でタスクスケジューラが実行されても、タスクスケジューラに設定されたシナリオは実行されません。

1.9 シナリオ実行速度の最速値

Q シナリオ実行速度は+0が最速ですか。

A +0が最速です。

なお、シナリオ実行速度はメモリの消費量やフローチャートの描画の負荷にも影響を受けるため、以下の方法などで速度を上げることができる場合があります。

- シナリオをタブで分割しフローチャートの描画負荷を減らす
- シナリオ実行時にWinActorを最小化しておく

1.10 シナリオ実行端末の状態の制限

- Q** シナリオを実行する端末の状態の制限などがありますか。
- A** シナリオ実行端末には以下の 3 つの制限があります。
- 画面ロックおよびスクリーンセーバー中のシナリオ実行不可
画面ロックおよびスクリーンセーバー中はウィンドウ識別するノードがエラーになりシナリオが実行できません。
ウィンドウ識別の必要があるシナリオ実行時は、スクリーンセーバー（画面ロック）を無効にする必要があります。
 - リモート接続時の制限
項目「8-2_リモートデスクトップ接続を使用したシナリオ実行時の注意点」をご参照ください。
 - 他作業の実施不可
シナリオ実行中に WinActor 以外のソフトが端末を操作すると想定外の操作をしまいエラーになる可能性が高いです。
したがって、人手による操作や他のプログラムの実行との共存は不可となります。

1.11 画面カスタマイズの影響

- Q** 画面をカスタマイズできるようなアプリに関して、フォントの色等を変更した場合に作成したシナリオの動作に影響はありますか。
- A** 以下の 2 つの影響の出る可能性があります。
- 色を変更する場合
画像マッチングを使用している場合には影響が出る可能性があります。
そのほかの処理（エミュレーション等）では影響が出ないと想定されます。
 - 操作するコントロールの位置などを変更する場合
画像マッチングを使用している場合には影響が出る可能性があります。
座標がずれるためエミュレーションでのクリックにも影響が出る可能性があります。

1.12 メモリ不足の回避方法

Q シナリオ実行時にメモリ不足でエラーになる場合がありますが、回避方法はありますか。

A メモリ不足の対策として、以下方法をお試しください。

- シナリオサイズを小さくする / シナリオを分割する
ライブラリ
 - ↳「01WinActor 制御」
 - ↳「02_シナリオ制御」
 - ↳「シナリオ GoTo」、サブルーチン)
- 不要な要素の削除
(変数、未使用変数、浮きノード、イメージ、ウィンドウ識別ルール)
- 画面描画を少なくする
 - グループ化されていない場合、適度にグループ化し、グループを全て閉じる
 - シナリオ実行時に WinActor を最小化する
(ライブラリ
 - ↳「01WinActor 制御」
 - ↳「01_WinActor ウィンドウ」
 - ↳「WinActor ウィンドウを最小化」)
- 実行時に不必要なアプリケーション等は閉じる
- シナリオ実行端末が推奨環境を満たしているか確認し、推奨環境を満たした端末を用意、あるいは他のアプリケーションと共存できるスペックの端末を用意する
- 高画質画面での画像マッチングで落ちるなど、特定の処理でメモリ不足が起きやすい場合、画像マッチングには分割マッチングなどの機能固有のメモリ使用抑制方法を使用する（詳しくは以下の操作マニュアルをご確認ください）
操作マニュアル
 - ↳4.4.21 画像マッチング、4.4.2 輪郭マッチング
 - ↳メモリ節約のために分割マッチングを行う(低速)

1.13 ウィンドウタイトルの一部が変わる場合のウィンドウ識別方法

- Q ・PC①：ノートパソコン（※リモートデスクトップ接続先 PC）
- ・PC②：デスクトップパソコン（※リモートデスクトップ接続元 PC）

PC②から PC①にリモート接続してシナリオを作成。

リモート接続した状態で PC①のシナリオを実行すると、正常に実行できます。

ところが、PC①に直接ログインして、上記と同じシナリオを実行すると、ノード「画像マッチング」でエラーになってしまう場合があります。

対応方法とシナリオ実行時の注意点を教えてください。

A 以下のような対応方法があります。

- 接続元と先の解像度、モニタサイズを一致させる
- フォント表示の設定を行う

ノード「画像マッチング」がエラーになる場合の対応として、フォント表示の設定が有効な場合があります。

1. リモートデスクトップ接続画面の「オプションの表示」をクリック。

2. 「エクスペリエンス」タブ→「フォント スムージング (F)」にチェックを入れ接続。

- ※ リモートデスクトップを使用してシナリオを実行する場合の注意点については、タイトル「リモートデスクトップ接続を使用したシナリオ実行時の注意点」をご参照ください

1.14 画面を自動スクロールさせる方法

Q シナリオの中で画面を自動スクロールさせる方法がありますか。

A 以下のような方法があります。

■ エミュレーションのキーボード操作「PageUp」、「PageDown」を使用

■ 以下のライブラリ「マウスホイール操作」を使用

ライブラリ

└「12_マウス関連」

└└「マウスホイール操作」

※ページをスクロールさせる場合、しかるべき箇所にフォーカスが当たっている必要があります。うまくスクロールできない場合は、スクロール処理の前に対象画面を画像マッチングなどでクリックし、フォーカスを当てる処理を追加してください。

1.15 ノードを実行抑止に設定したまま残しておく方法

Q ノードを実行抑止に設定しても、シナリオを再度開いた際には実行抑止の設定が外れます。実行抑止のままフローチャートの開始から終了の一連の流れの中にノードを残すことはできませんか。

A シナリオの設定でノードの実行抑止状態を保持するように設定することができるようになっています。実行抑止を保持する方法については以下マニュアルをご確認ください。

操作マニュアル

└3.5.5 右クリックメニュー

└└■ 実行抑止

1.16 シナリオ編集集中にプロパティ情報が読み込めなくなる

- Q** シナリオ編集集中にプロパティ情報が一部読み込めない状態になりました。対応策はありますか。
- A** 端末のセキュリティソフトまたは暗号化ソフトで「ums_temp」フォルダが検疫(削除)対象になっていることが原因である可能性があります。「ums_temp」フォルダのパスは以下の通りです。

C:¥ProgramData¥WinActor¥ユーザ名¥日付時刻
(yyyymmddHHMMSSsss)

「ums_temp」フォルダは WinActor がキャプチャ画像等のプロパティ情報を格納しているフォルダです。このフォルダが暗号化や削除されてしまうと WinActor が正しく動作しないため、セキュリティソフトや暗号化ソフトで「ums_temp」フォルダが検疫対象になっている場合、「ums_temp」フォルダのパスを検疫対象外に設定してください。

1.17 実行抑止状態の保存により特定のノードが実行されない

- Q** シナリオ実行時に特定のノードの処理が実行されません。エラーメッセージ等は出力されません。原因と対応策を教えてください。
- A** 特定ノードが実行抑止状態になっている可能性が考えられます。実行抑止状態を解除してからシナリオの実行をお試しください。実行抑止の解除については以下マニュアルをご確認ください。

操作マニュアル

 L3.5.5 右クリックメニュー

 L ■ 実行抑止解除

1.18 予期せぬシナリオ停止

Q シナリオ実行時に同じノードで一時停止してしまいます。エラーメッセージ等は出力されませんが、対応策はありますか。

A ノードにブレイクポイントが設定されている可能性が考えられます。
ブレイクポイント一覧で該当ノードのチェックが ON になっているか確認し、ON になっている場合はチェックを OFF にするか、ブレイクポイントを解除してからシナリオを実行してください。

ブレイクポイント一覧の操作については下記のマニュアルを参照してください。

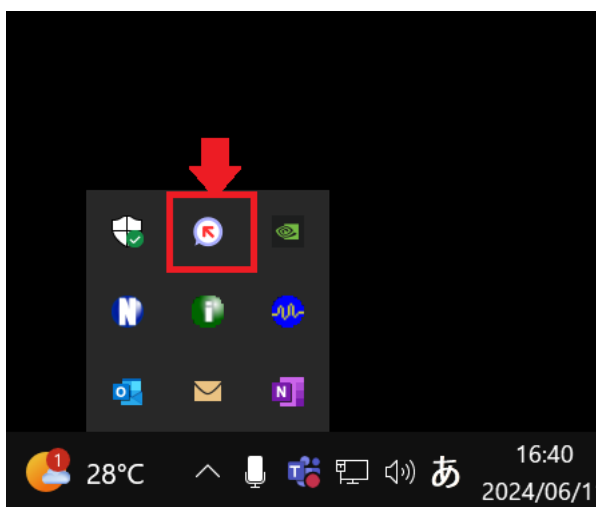
操作マニュアル

 L3.9.7 ブレイクポイント一覧タブ画面

1.19 WinActor 最小化時にタスクバーからアイコンが消える

- Q** WinActor を最小化した際に、タスクバーからアイコンが消えてしまいます。再表示したい場合はどうしたらいいでしょうか。
- A** WinActor を最小化するとタスクバーのアイコンは消えますが、タスクトレイのアイコンは最小化しても消えません。
最小化後に WinActor を再度表示したい場合は、タスクトレイに表示された WinActor アイコンをダブルクリックしてください。

図 1.19 タスクトレイ画面



また、v7.3.0 以降はオプションの設定で WinActor を最小化したときにタスクバーにアイコンを残すことも可能です。
設定方法はマニュアルの以下項目をご確認ください。

操作マニュアル

 L3.14 オプション画面

 L ■ その他タブ

1.20 実行ログに出力されるノード ID を変更したい

- Q** シナリオを実行すると、実行ログにはノード名称やノード ID が表示されますが、ノード ID はシナリオ作成時において、自分で設定することはできますか。
- A** 設定できません。ノード ID は、フローチャート上にノードを配置した際に自動的に付与されるため、自分で設定することはできません。

1.21 「試用期限」と「有効期限」の違い

- Q** シナリオの「試用期限」と「有効期限」との違いは何でしょうか。
- A** 「試用期限」は試用版で作成したシナリオに対して付与される期限であり、「有効期限」はユーザが運用上で決定する期限です。
なお製品版ライセンスの WinActor であれば、試用期限が過ぎたシナリオでも実行可能です。

1.22 シナリオ実行の途中でシナリオを一時中断し人の判断を行う方法

- Q** シナリオ実行の途中で人による判断や処理が必要な場面があります。
シナリオ実行の途中で処理を中断し、人による判断や処理が終わった後に WinActor による処理を再開する場合は、どのようにすればいいですか。

- A** 下記ノードを使用することでシナリオ内の処理を一時中断したり、後続処理を再開したりすることができます。

ノード

└「ユーザ」

└「待機ボックス」

本ノードはポップアップボックスを表示させ、人の判断/選択/入力が終わるまで待機します。人が「OK」ボタンを押下すると、後続処理が実行されます。

1.23 Excel ファイルから変数名を取り込む方法

- Q** 変数名について、あらかじめ用意した Excel ファイルから取り込むことは可能ですか。
- A** 編集エリアの変数一覧画面から変数インポート機能を使用することで可能です。
Excel や CSV ファイルから、必要となる変数を取り込むことができます。
詳しい操作方法については、以下のマニュアルを参照してください。

操作マニュアル

└3.9.1 変数一覧タブ画面

└変数インポート

1.24 変数の型（int 型など）の設定可否

Q 変数の型（int 型など）は自分で設定できますか。

A 変数の型を指定する事はできません。

1.25 変数の文字数制限

Q 変数に値を設定する場合、制限文字数は何文字までですか。

A デフォルトでの制限文字数は 1024 文字ですが
シナリオの設定を変更することにより変数の文字数制限を解除することが可能です。
解除方法についてはマニュアルを参照ください。

操作マニュアル

└3.1.4 オプション画面

└その他タブ

└変数値の文字数を制限する

1.26 同一変数名の使用可否

Q 異なるグループ名の配下であれば、同じ変数名を使用できますか。

A 変数をグループ化しても変数名はシナリオ内で重複することできません。
グループ化は変数一覧の可読性を向上させるのみとなっております。

1.27 シナリオ内で使用するパスワードを見えないようにする方法

- Q** 自社システムへログインする際に必要な ID、パスワードなどの個人情報をシナリオ内で保持する際に、他の人が見えないようにする方法を教えてください。
- A** 変数一覧画面にて、該当変数のマスク欄のチェックボックスにチェックを入れることで、現在値欄と初期値欄の表示が「*****」(マスク)状態になります。
パスワードを初期値に設定し、上記操作を行うことでパスワードを見えなくすることができます。

また、マスク欄のチェックボックスのチェックを外すことでマスクを解除することができます。
マスク解除時には初期値に入力した値は削除されます。

ただし、ノード「待機ボックス」での変数値表示、また Excel 等へ値を設定した場合はパスワードの値そのものが表示または入力されるため、ご注意ください。

1.28 変数に特定コード（改行コード等）を設定する方法

- Q** 変数値の中に改行コードは設定できますか。
- A** 以下のライブラリを使用することにより、変数または固定値で指定した文字列の末尾に改行コードを追加し、指定した変数に格納することができます。

ライブラリ

└「07_文字列操作」

└└「01_変換・整形」

└└└「改行コード追加」

1.29 変数の値を記録する機能の有無

- Q** 変数の現在値を保存する機能はありますか。
- A** 以下のライブラリを使用することにより、変数名ごとの変数の現在値を CSV ファイルやテキストファイルに保存することができます。
なお、指定したファイルが既に作成されている場合は、末尾に追記されます。

ライブラリ

↳「01_WinActor 制御」

↳「07_デバッグ」

↳「デバッグ：変数値保存」

1.30 データ一覧へのインポートファイル形式

- Q** データ一覧のインポートへ対応しているファイル形式を教えてください。
- A** 「csv」「xlsx」「xls」「xlsm」形式が対応しています。

1.31 データ一覧のエクスポート方法

- Q** データ一覧を使用して処理を行ったデータをエクスポートする方法を教えてください。
- A** データ一覧ツールバーからインポートしてシナリオを実行し、データ更新後にエクスポートします。

図 1.31.1 データ一覧ツールバー [データインポート]

「データ一覧」タブの赤枠をクリック

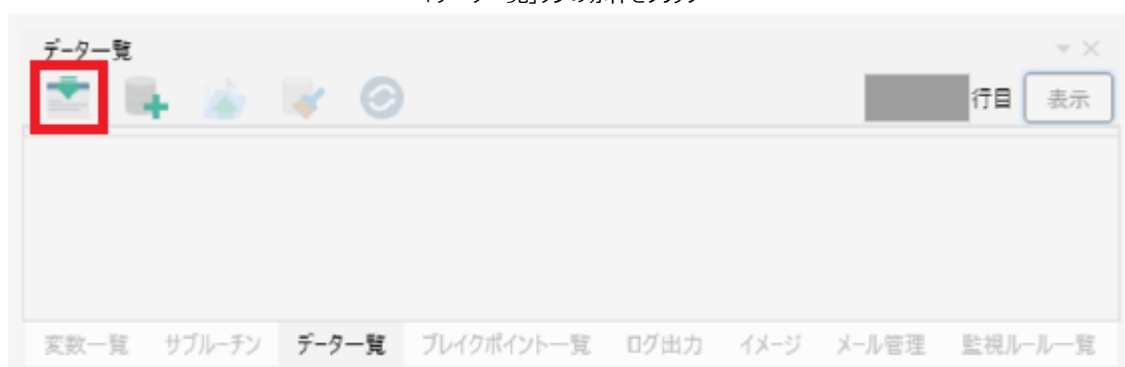


図 1.31.2 データ一覧ツールバー [データエクスポート]



また、その他注意点などは以下のマニュアルを参照してください。

操作マニュアル

 L3. WinActor の画面

 L3.9.2 データ一覧タブ画面

1.32 データ一覧を使用するシナリオ立ち上げと同時にデータインポートを行う方法

Q データ一覧を使用するシナリオでは、WinActor を立ち上げる都度、データインポートをする必要があるのでしょうか。シナリオ立ち上げと同時にデータインポートを行うことは可能ですか。

A WinActor 起動ショートカットで、シナリオ立ち上げとデータインポートを一度に行うことが可能です。以下の方法で WinActor 起動ショートカットを作成してください。

メインメニューの「ツール」→「起動ショートカット作成」を開き、データインポートするファイルまたは DB を設定します。設定方法の詳細は以下のマニュアルを参照してください。

操作マニュアル

L3.11 WinActor 起動ショートカット作成画面

なお、WinActor がすでに起動している場合、ショートカットから起動しても後のシナリオを開く、データインポートをする、という処理は行われません。起動ショートカットから起動する場合は、WinActor が起動していないということが前提となります。

1.33 データ一覧を使用する際、一度だけ特定の処理を行う方法

Q データ一覧を使用する場合、データ毎にシナリオ全体が繰り返し実行されますが、一度だけ特定の処理を行うことは可能でしょうか。

A 以下のライブラリを使用することでループの最初・最後に分岐処理を行い、一度だけ特定の処理を実行することができます。

ライブラリ

└「01_WinActor 制御」

└└「04_ループ関連」

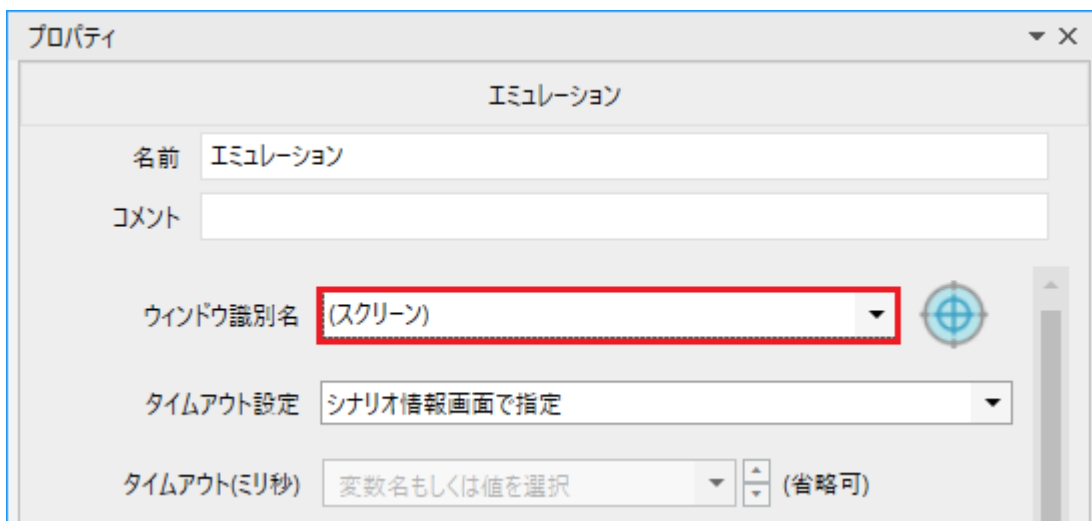
└└└「ループの最初で分岐」

└└└└「ループの最後で分岐」

1.34 ウィンドウ識別を使わずにエミュレーション操作をしたい

- Q** ウィンドウを識別せずにアクティブなウィンドウ上でエミュレーションの操作を行うことはできますか。
- A** ウィンドウ識別名を「(スクリーン)」に設定することで、その時点でアクティブなウィンドウに対してエミュレーションの操作を行うことができます。

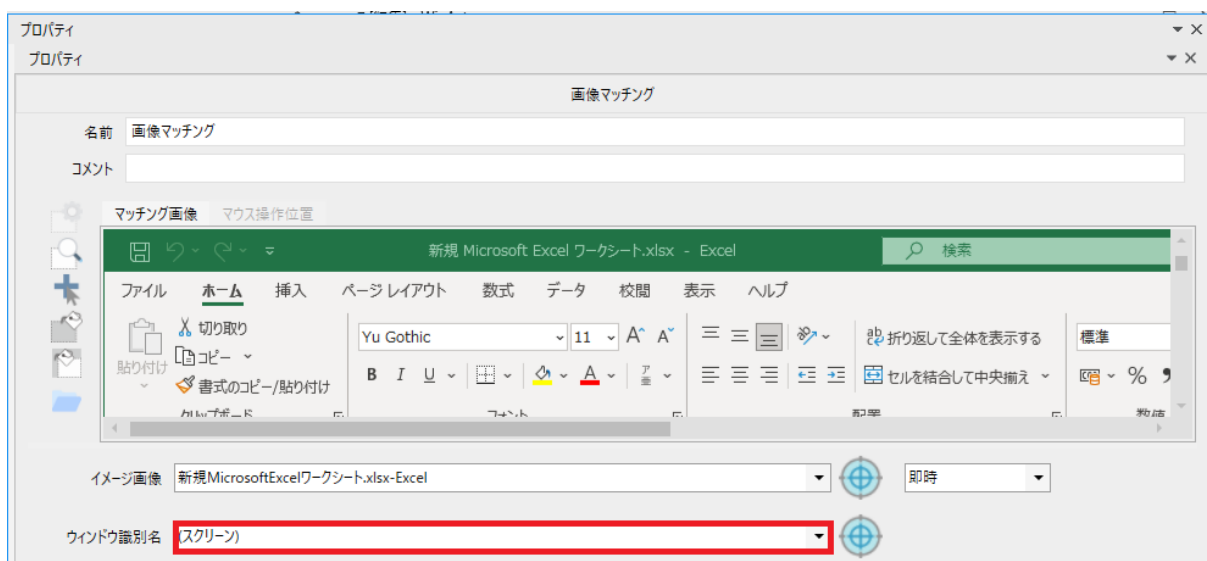
図 1.34 ウィンドウ識別名



1.35 ウィンドウ識別を使わずに画像マッチング操作をしたい

- Q** ウィンドウを識別せずにアクティブなウィンドウ上で画像マッチングの操作を行うことはできますか。
- A** ウィンドウ識別名を「(スクリーン)」に設定することで、その時点でアクティブなウィンドウに対して画像マッチングの操作を行うことができます。
画像マッチングでウィンドウ識別を「スクリーン」に設定すると、アクティブウィンドウでなくても画面上に見えていれば操作することができます。

図 1.35 ウィンドウ識別名



1.36 ウィンドウ識別ができない画面の操作

Q 画像マッチングやエミュレーションで、ウィンドウ識別ができない場合の原因と対処方法を教えてください。

A 以下の原因に当てはまる場合、対応する対処を行うことでウィンドウ識別ができるようになる可能性があります。

■ 原因 1

IE や Acrobat Reader の「保護モード」が有効になっている

■ 対策 1

「保護モード」を無効に設定する。

■ 原因 2

セキュリティソフトにより WinActor の処理が制限されている

■ 対策 2

起動しているセキュリティソフトを停止する。

上記の原因に当てはまらない、または対処方法を実行できない場合、該当ウィンドウはウィンドウ識別できないため、「13.1 アクティブウィンドウ上での操作方法について」をご参照ください。

1.37 ウィンドウ名が可変のウィンドウを操作する方法

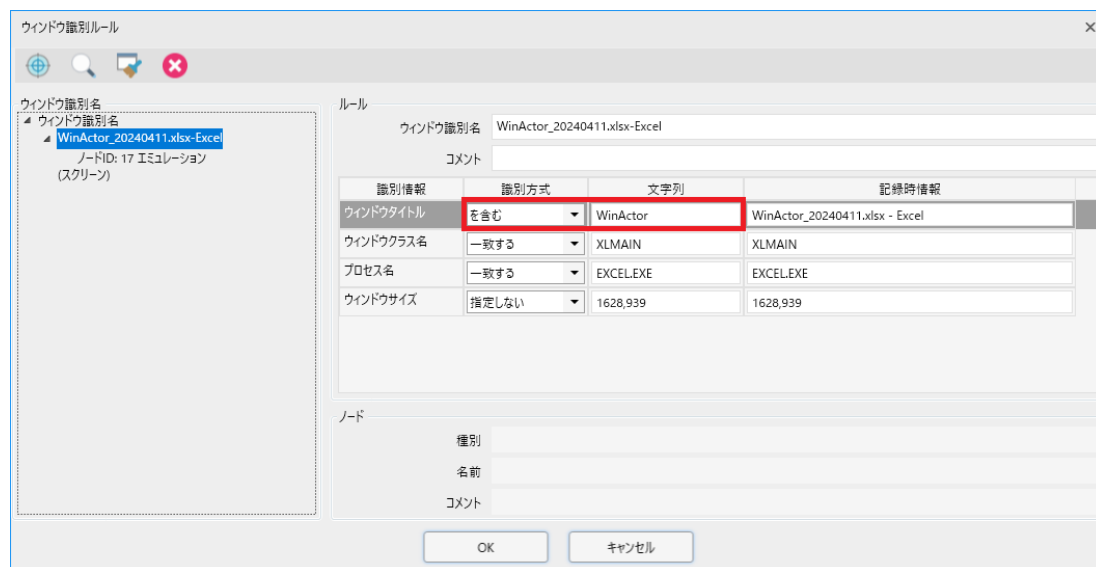
- Q** 日付がファイル名に含まれるファイルを処理する際に、エミュレーションや画像マッチングで「ウィンドウ識別名が一致しない」となりエラーとなってしまいます。この場合の対処方法を教えてください。
- A** ウィンドウタイトルの一部が固定の場合、ウィンドウ識別ルールの「識別方式」を変更し「文字列」を固定部分のみにすることで、ウィンドウタイトルを部分一致で識別することができます。

ウィンドウ識別ルールの詳細はマニュアルの以下項目をご確認ください。

操作マニュアル

L3.5.6 ウィンドウ識別ルール画面

図 1.37 ウィンドウ識別ルール



1.38 ウィンドウの識別条件が同じ画面の操作方法

- Q** 画像マッチングなどで画面の検索が行われる際、ウィンドウタイトル、ウィンドウクラス名、プロセス名が一致する2つの画面がある場合、操作対象となる画面は正確に判断できますか。
- A** 重複する画面がある場合、操作対象画面の正確な判断はできません。よりアクティブな【前面】にある画面が優先されます。

ウィンドウを識別する条件には質問内容の条件の他にウィンドウサイズがあるので、画面 A、B のサイズを指定して開けるのであれば、識別ルールで「ウィンドウサイズ」が指定した値と「等しい」という条件を付けることで区別することは可能です。また、以下のライブラリを使用して画面サイズを一定にすることができます。

ライブラリ

└「11_ウィンドウ関連」

└└「画面サイズ、位置設定」

図 1.38.1 ウィンドウ識別名

識別情報	識別方式	文字列	記録時情報
ウィンドウタイトル	一致する	新規 Microsoft Excel ワーク	新規 Microsoft Excel ワークシート.xlsx - Excel
ウィンドウクラス名	一致する	XLMAIN	XLMAIN
プロセス名	一致する	EXCELEXE	EXCELEXE
ウィンドウサイズ	等しい	1628,939	1628,939

起動タイミングが異なるのであれば画面 A 起動後に「画面サイズ、位置設定」を行い、画面 B 起動後に「ウィンドウ識別クリア」を行って「画面サイズ、位置設定」を行えば、以降はそれぞれのウィンドウ識別ルールにて操作を行うようにシナリオを作成することが可能です。

図 1.38.2 フロー図



1.39 ウィンドウ識別ルールの記録時情報編集の利用方法

- Q** 画像マッチングなどで画面の検索が行われる際、ウィンドウタイトル、ウィンドウクラス名、プロセス名が一致する2つの画面がある場合、操作対象となる画面は正確に判断できますか。
- A** 重複する画面がある場合、操作対象画面の正確な判断はできません。よりアクティブな【前面】にある画面が優先されます。

ウィンドウを識別する条件には質問内容の条件の他にウィンドウサイズがあるので、画面 A、B のサイズを指定して開けるのであれば、識別ルールで「ウィンドウサイズ」が指定した値と「等しい」という条件を付けることで区別することは可能です。また、ライブラリ「画面サイズ、位置設定」を使用して画面サイズを一定にすることができます。

起動タイミングが異なるのであれば画面 A 起動後に「画面サイズ、位置設定」を行い、画面 B 起動後に「ウィンドウ識別クリア」を行って「画面サイズ、位置設定」を行えば、以降はそれぞれのウィンドウ識別ルールにて操作を行うようにシナリオを作成することが可能です。

1.40 ウィンドウ識別ルールの記録時情報編集の利用方法

- Q** ウィンドウ識別ルール画面にて、対象ウィンドウは同じはずにもかかわらず、ウィンドウ識別名の末尾に「_1」などの番号が付帯されるときがあります。この原因を教えてください。
- A** 重ウィンドウ識別名の「_1」等の通番は、ウィンドウタイトル以外の情報が異なる場合に付帯されます。多くの場合には、識別情報「ウィンドウサイズ」が異なっていることが原因です。「_1」等の番号が付帯されているもの、いないものの動作に差異はありません。

また、ウィンドウサイズのみの変異によってウィンドウ識別名に通番が付帯されている場合、初期状態ではウィンドウサイズの識別方式は「指定しない」となっているため、一つのルールに統合しても問題ありません。

1.41 「対象のアクティブ化に失敗しました。」エラー時の対処

Q 「対象のアクティブ化に失敗しました。」というエラーが表示されます。対処方法を教えてください。

A 想定できる原因と対策は以下の3通りです。

■原因 1

モーダルウィンドウ(親のウィンドウを操作することができなくなるようなウィンドウ)である子ウィンドウが存在しているときに、エミュレーション等で親ウィンドウを操作しようとしている。

■対策 1

子ウィンドウを閉じる操作をシナリオに追加する。

■原因 2

対象のウィンドウが読み込み中など、操作不能な状態である。

■対策 2

ノード「指定時間待機」や「ウィンドウ状態待機」を使用してウィンドウが操作可能な状態になるまで待機する。

■原因 3

上記の方法で上手くいかない場合

■対策 3

以下のライブラリをエラーになる処理の前に追加する。

ライブラリ

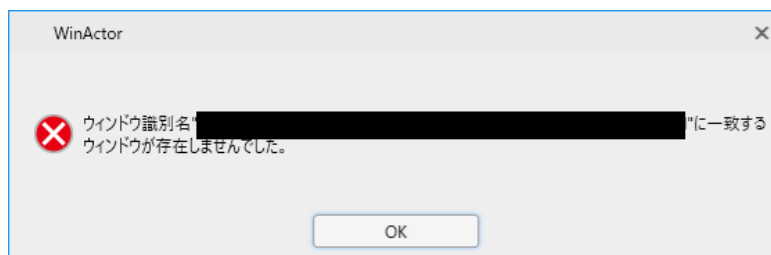
└「11_ウィンドウ関連」

└└「ウィンドウ識別クリア」

1.42 「ウィンドウ識別名に一致するウィンドウが存在しませんでした」エラーの原因と対策

- Q** シナリオ実行すると「ウィンドウ識別名"~"に一致するウィンドウが存在しませんでした。」のエラーが発生し停止します。原因および対策を教えてください。

図 1.42 エラーメッセージ例



- A** 想定される原因および対策は以下の 2 通りです。

■ 原因 1

「ウィンドウ識別ルール」が正しく設定されていないため、発生している可能性がある。

■ 対策 1

「13.12_ウィンドウタイトルの一部が変わる場合のウィンドウ識別方法」を参照する。

■ 原因 2

操作対象のウィンドウの表示に時間がかかり、ウィンドウの表示が終わっていない状態で対象ライブラリが実行されたため、エラーが出てしまう。

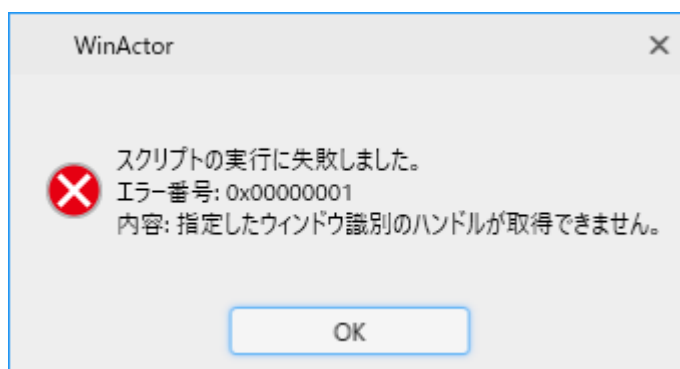
■ 対策 2

ウィンドウ識別を行うノードの手前にノード「ウィンドウ状態待機」等を入れ、ウィンドウが表示されるまで待機させる。

1.43 「指定したウィンドウ識別のハンドルが取得できません」エラーの原因と対策

- Q** ライブラリ「ウィンドウ関連」実行時に、「エラー：スクリプトの実行に失敗しました。エラー番号 1、指定したウィンドウ識別のハンドルが取得できません。」のエラーが発生し停止します。原因および対策を教えてください。

図 1.43 エラーメッセージ例



- A** 想定される原因および対策は以下の 2 通りです。

■ 原因 1

「ウィンドウ識別ルール」が正しく設定されていないため、発生している可能性がある。

■ 対策 1

「13.12_ウィンドウタイトルの一部が変わる場合のウィンドウ識別方法」を参照する。

■ 原因 2

操作対象のウィンドウの表示に時間がかかり、ウィンドウの表示が終わっていない状態で対象ライブラリが実行されたため、エラーが出てしまう。

■ 対策 2

ウィンドウ識別を行うノードの手前にノード「ウィンドウ状態待機」等を入れ、ウィンドウが表示されるまで待機させる。

1.44 ウィンドウタイトルの一部が変わる場合のウィンドウ識別方法

Q ファイル名やブラウザ等のウィンドウタイトルに日付(yyyymmdd)等の可変文字列が含まれていて、シナリオ作成時と実行時でウィンドウタイトルが異なる場合でも、ウィンドウ識別する方法はありますか。

A ウィンドウ識別ルール」の設定を変更することによりウィンドウを識別することが可能です。

1. フローチャート画面上部からウィンドウ識別ルール画面を表示する。
2. ツリーエリアからウィンドウ識別名を選択する。
3. ルール編集エリアを修正

識別情報：ウィンドウタイトル

識別方式：「を含む」または「で始まる」

文字列：（ウィンドウタイトルの不変部分）※動的に変化する部分を削除

（例）「testFile_20180101.xlsx」⇒「testFile_」

※識別情報「ウィンドウクラス名」、「プロセス名」が変化する場合は識別方式を「指定しない」に設定してください。

1.45 エミュレーション操作において、想定通りの動きにならない原因

Q エミュレーションのマウス操作で、まれに正常にクリックできないことがあります。原因を教えてください。

A 2つの原因が考えられます。

- 画面遷移等によって画面の読み込みが完了していない状態でエミュレーション操作が行われ、端末の動作に対して WinActor の操作が先走ってしまった。
- 複雑な操作や重い操作をエミュレーションで一括処理しようとした場合等、WinActor の操作に端末の処理が追い付かず、エミュレーション操作が空ぶってしまった。

対策としては、ノード「指定時間待機」やノード「ウィンドウ状態待機」等の待機操作を適宜追加することを推奨します。

1.46 色の違いが画像マッチングに影響を与えるか否か

- Q** ノード「画像マッチング」において、色の違いがマッチングの成否に関係することはありますか。
- A** ピクセルの色素でマッチングを行うため、色の違いがマッチング成否に関係します。

1.47 画像内の特定箇所により処理を分岐させる方法

- Q** ウィンドウ内の特定箇所の画像により、処理を分岐させることはできますか。
- A** ノード「画像マッチング」の状態チェックで対象画像の存在有無結果を取得し、取得した結果をノード「分岐」の条件とすることで可能となります。

(例)画像マッチングでマッチング対象が存在し取得結果が True(画面に存在する)の場合、True の処理を実施する分岐処理

図 1.47.1 フローチャート

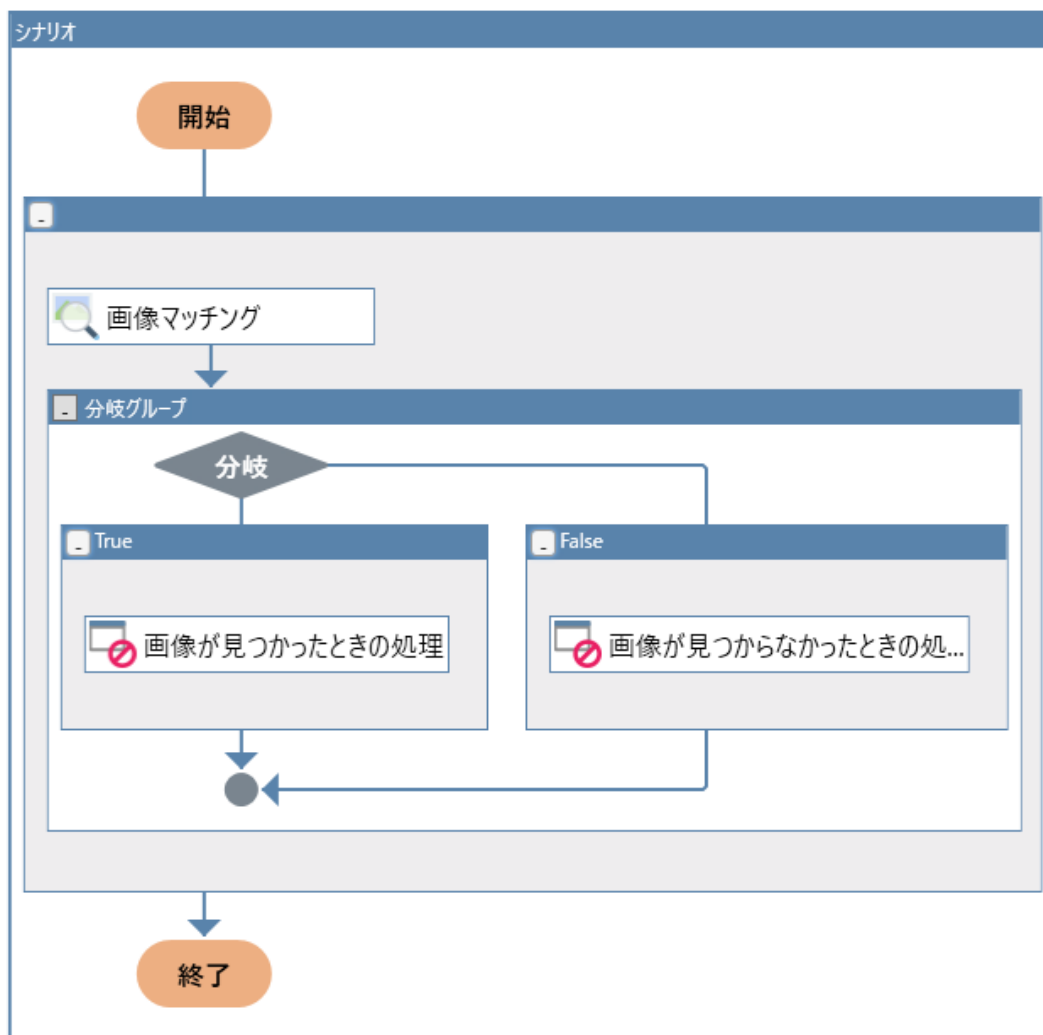


図 1.47.2 画像マッチングプロパティ

縮尺率	1 x	縮小した場合、精度が低下しますが、速度が向上します。			
マッチ率	90 %	タイムアウト	10,000 ミリ秒		
アクション	状態チェック	状態取得結果	結果	操作位置	4,1

図 1.47.3 分岐処理プロパティ

判定	分岐名	条件式	
真	True	[結果]がtrue	条件式設定
偽	False		

1.48 マッチ率の設定基準

Q 画像マッチングのマッチ率の設定基準はありますか。

A 画像マッチングのマッチ率は、マッチング画像によって最適率が変わってくるため、一概に設定基準というものはありません。一般的なやり方としてはまずマッチ率 90%から試し、正常に動作しなければ徐々にマッチ率を下げていく、という方法があります。（ただし、マッチ率を下げすぎてしまうと誤検知を発生させる原因となりますのでご注意ください）

WinActor v7.4.0 以降はログにマッチ率を出力することが可能なため、対応バージョンをお使いの場合はログのマッチ率も参考にして調整してください。

1.49 ノード「画像マッチング」とノード「輪郭マッチング」の使い分け

Q ノード「画像マッチング」とノード「輪郭マッチング」はどのように使い分ければいいですか。

A ノード「画像マッチング」はマッチング対象画像と同じ画像を探索し、ノード「輪郭マッチング」はマッチング対象画像の輪郭をもとにして探索します。

マッチング対象が記録時と変わらない場合はノード「画像マッチング」、マッチング対象の表示サイズや色合いが変わる可能性がある場合はノード「輪郭マッチング」をお試しください。

ただし、ノード「輪郭マッチング」は差異を許容する特性があるため、十分に動作確認してからご使用ください。

1.50 ノード「画像マッチング」とノード「輪郭マッチング」のマッチングの誤検知

Q ノード「画像マッチング」やノード「輪郭マッチング」でマッチング画像を誤検知することがあります。原因と対策を教えてください。

A ノード「画像マッチング」やノード「輪郭マッチング」で誤検知（想定とは異なる場所が検知される）場合、以下の原因および対策が考えられます。

■原因 1

マッチング対象の画像がユニークではない（画面上に同じ画像が複数存在する）

■対策 1

マッチング対象の画像が画面上で 1 つだけ存在するように設定する

■原因 2

マッチ率が低すぎる

■対策 2

マッチ率を上げて誤検知されないマッチ率になるよう調整する。

1.51 Edge IE モードへの対応有無

Q WinActor は Edge IE モードに対応していますか？

A WinActor v7.3.0 以降で Edge IE モードに対応しています。

1.52 IE モードで自動記録を行うと操作記録が重くなる

Q IE 上の WEB ページを IE モードで記録すると、操作の記録が重くなることや、エラーになることがあります。

A IE モードでの記録は、表示されている WEB ページ全体の html を取得して構造解析を行っているため、WEB ページの情報量や、構造の複雑さの影響を受けます。なお、ライブラリ「自動記録アクション」フォルダ内の IE 関連ライブラリについても同様に情報量や構造の複雑さの影響を受けます。

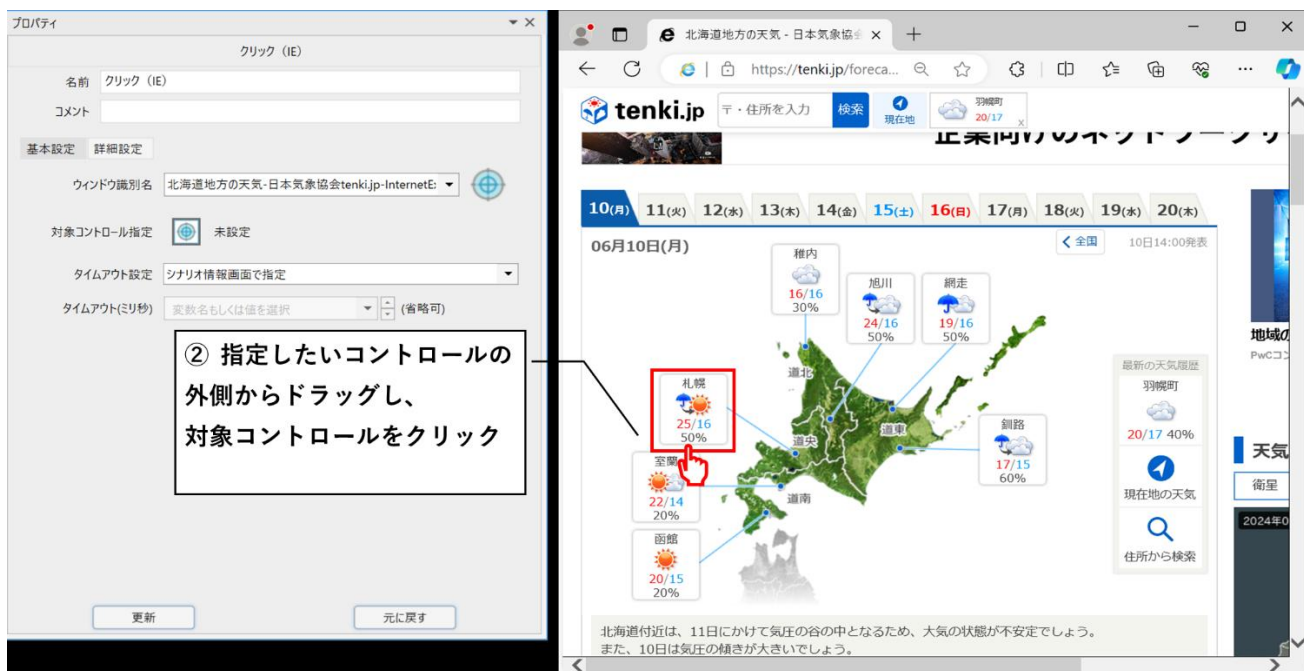
1.53 自動記録アクションで対象コントロール指定がうまく動作しない時の対処

- Q** 「クリック (IE)」「リスト選択 (IE)」等の対象コントロール指定がうまく動作しません。対象コントロール指定のボタンを押下後、画面上に枠が表示されるコントロールをクリックしても、対象コントロール指定ができません。
- A** クリックすることでコントロールの状態が変化する場合（画面遷移や更新、リスト選択肢の表示など）、タイミングによって対象コントロール指定ができないことがあります。「マウスの左ボタンが離されたタイミングでカーソルが置かれた部分」のコントロールを記録するため、コントロール外からドラッグし、指定したいコントロールにカーソルを合わせてマウスの左ボタンを離すように操作してください。（画像 1.53.1～3 参照）

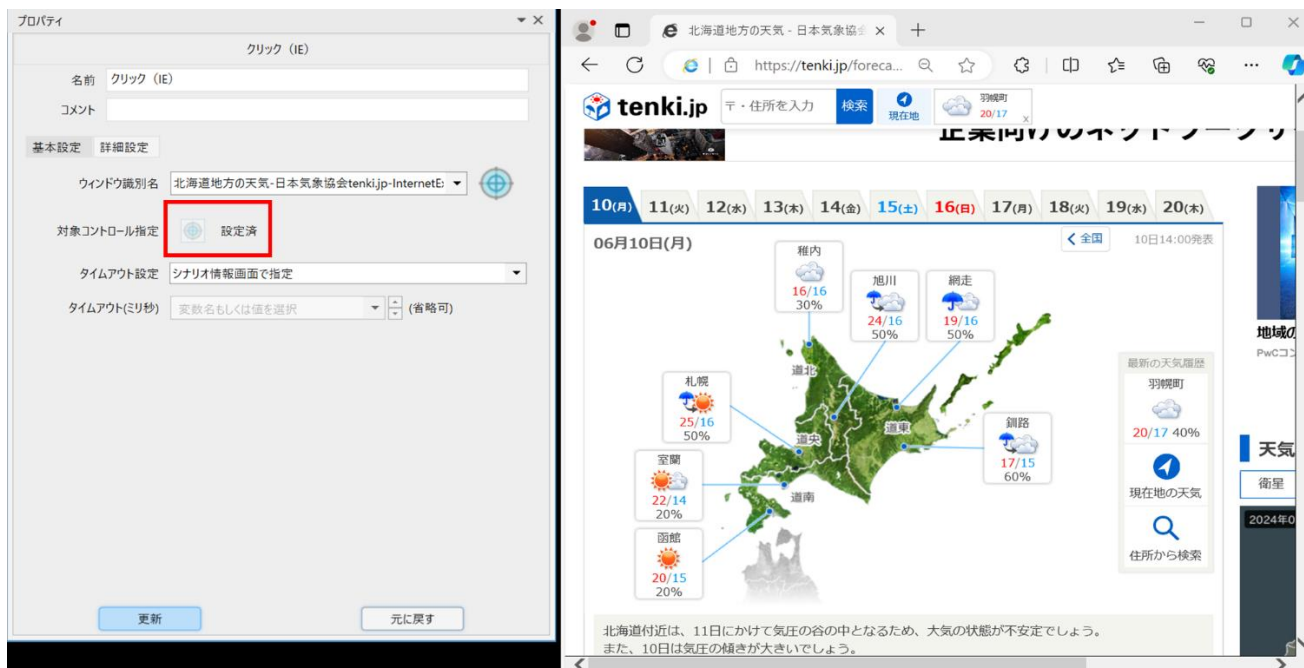
画像 1.53.1 画面操作例①



画像 1.53.2 画面操作例②



画像 1.53.3 画面操作例③



1.54 シナリオファイルのサイズを小さくする方法

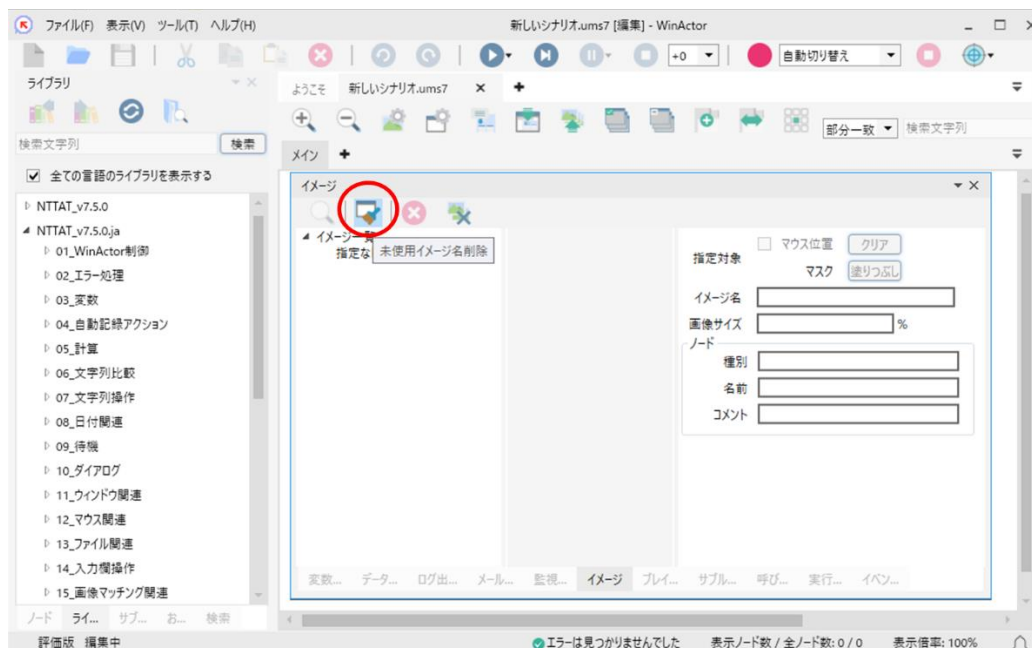
- Q** 作成中のシナリオファイルが肥大化しています。シナリオファイルのサイズを小さくする方法はありますか。
- A** シナリオサイズが肥大する最大の要因はイメージ画像にありますので、未使用イメージの削除や同一イメージの集約をすることでファイルサイズを小さくすることができます。シナリオ作成の際に、未使用イメージの削除や同一イメージの集約をこまめに行ってください。あわせて、未使用ノード・浮きノードの削除もお勧めします。

■ 未使用イメージの削除方法

メニューバーの「表示」から「イメージ」をクリック（または、ショートカットキーで Ctrl+M を押下）し、イメージタブを開きます。

イメージツールバーの「未使用イメージ削除」ボタンで、使用していないイメージを一括削除できます。

図 1.54 未使用イメージを削除ボタン



■ 同一イメージの集約方法

操作マニュアルの以下項目をご確認ください。

操作マニュアル

 L 3.9.6 イメージタブ画面

 L ■ イメージの集約

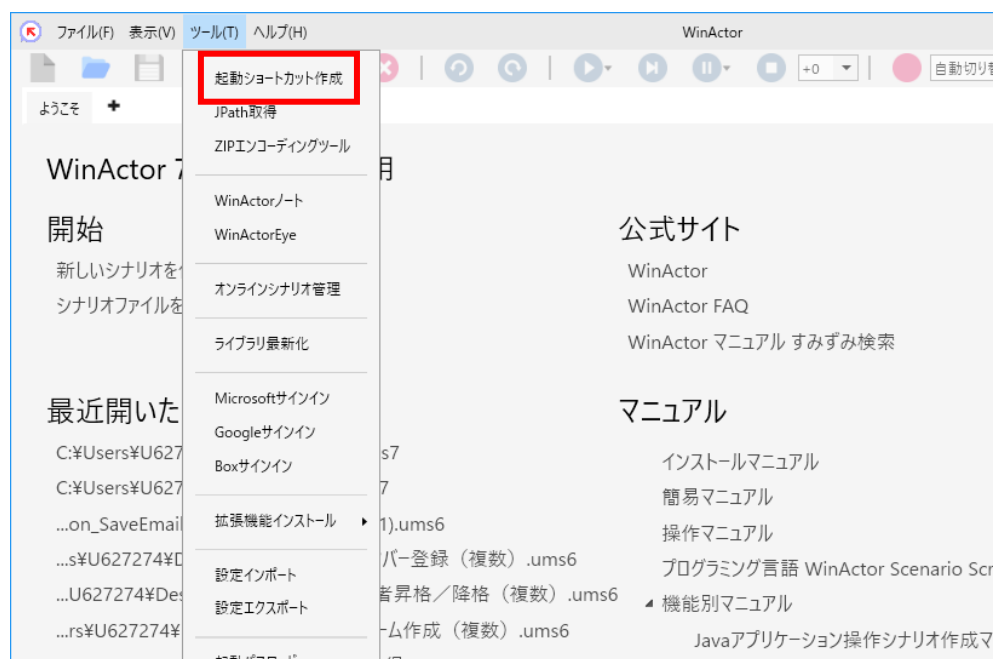
1.55 シナリオを定期的に行う方法

Q WinActor のシナリオを自動で定期的に行う方法がありますか。

A タスクスケジューラでシナリオを実行する手順の例を説明します。

① メニューバーのツール > 起動ショートカット作成をクリックする。

図 1.55.1 起動ショートカット作成



- ② WinActor 起動ショートカット作成画面で以下の設定を行う。
- ・ 「シナリオファイル」に実行したいシナリオパスを設定する。
 - ・ 実行の「起動後に実行」と「実行完了後に終了」にチェックを入れる。
 - ・ 「作成」ボタンを押下する。

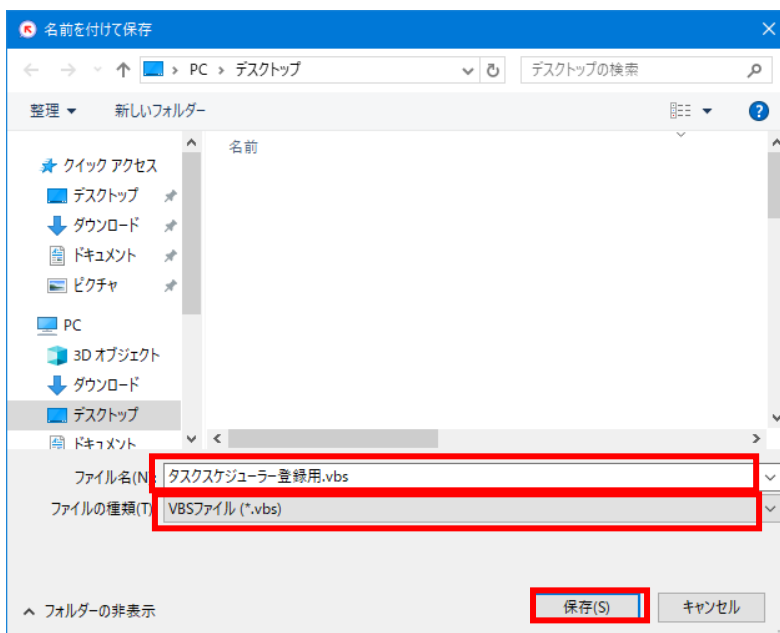
図 1.55.2 WinActor 起動ショートカット作成画面の設定例

The screenshot shows the 'WinActor起動ショートカット作成' (WinActor Startup Shortcut Creation) dialog box. The following settings are highlighted with red boxes:

- シナリオファイル: The text field contains a path ending in '.ums7'.
- 起動後に実行
- 実行完了後に終了
- 終了ステータスを返却して終了
- 起動時にデータインポートの実行
- csv、Excelファイル
- 実行完了時にデータ一覧ファイルを保存する
- データ一覧上書き保存
- データ一覧名前付保存
- DB連携
- ユーザ名、パスワードを指定する
- ユーザ名
- パスワード
- タスクトレイに常駐
- 起動時・シナリオ実行時のダイアログ表示を抑制する
-

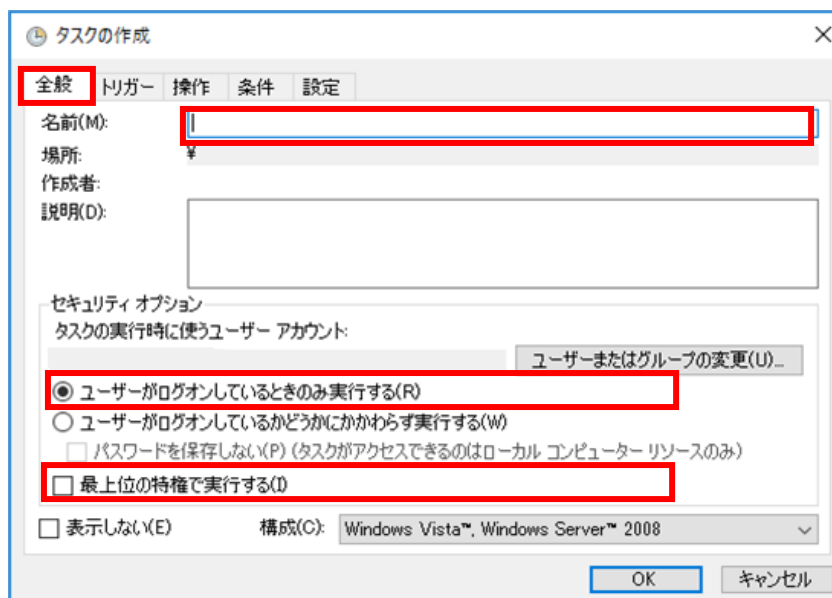
- ③ 保存ダイアログが表示されるので以下の手順で操作し、VBS ファイルを作成する。
- ・ 「ファイルの種類(T)」で VBS ファイルを選択する。
 - ・ 「ファイル名(N)」に任意のファイルパスとファイル名を設定する。
 - ・ 「保存(S)」ボタンをクリックする。

図 1.55.3 起動ショートカット作成



- ④ Windows のタスクスケジューラを起動する。(Windows の検索ボックスに「タスク」を入力し、「タスクスケジューラ」をクリック)
- ⑤ タスクスケジューラ画面のメニューバーから「操作」>「タスクの作成」をクリックする。
- ⑥ タスクの作成画面の全般タブで以下の設定を行う。
- ・ 「名前(N)」にタスク名を設定する。
 - ・ 「ユーザがログオンしているときのみ実行する(N)」のラジオボタンを選択する。
 - ・ 「最上位の特権で実行する(I)」の設定を確認する。
- WinActor を一般権限で起動する場合 : チェック無し (通常はこちらを選択)
- WinActor を管理者権限で起動する場合 : チェック有り

図 1.55.4 タスクスケジューラ 全般タブ設定



- ⑦ タスクの作成画面でトリガータブを開き、「新規(N)」をクリックする。
新しいトリガー画面が表示されるので、シナリオ実行スケジュールを設定する。
スケジュール設定後、OK ボタンをクリックして新しいトリガー画面を閉じる。
- ⑧ タスクの作成画面で「操作」タブを開き、「新規(N)」をクリックする。
新しい操作画面が表示されるので、「プログラム/スクリプト(P)」の項目で①～③で
作成した VBS ファイルパスを設定する。
VBS のパスを設定したら OK をクリックして新しい操作画面を閉じる。

図 1.55.5 タスクスケジューラ 操作設定

新しい操作

このタスクで実行する操作を指定してください。

操作(O): プログラムの開始

設定

プログラム/スクリプト(P):

参照(R)...

引数の追加 (オプション)(A):

開始 (オプション)(T):

OK キャンセル

⑨ タスクの作成画面で OK ボタンをクリックする。

①～③の起動ショートカットの作成方法については、「WinActor 操作マニュアル 5.13 起動ショートカット作成画面」に詳細がございますので、あわせてご確認ください。

1.56 手動で起動したブラウザを操作したい

Q 手動で起動したブラウザをシナリオ上で操作する方法はありますか。

A v7.4.0 以降では、手動で起動したブラウザも操作することができます。

23_ブラウザ関連配下の多くのライブラリには[ウィンドウ識別名]のパラメータが追加されています。対象のウィンドウを指定することで、手動で起動したブラウザを操作できます。また、[ブラウザ名を付ける]ライブラリ（下記参照）により、ウィンドウ識別ルールによって指定されるウィンドウのブラウザにブラウザ名を付け、今までのブラウザ操作と同様にブラウザ名により操作対象を指定することもできます。

ただし、WebDriver による操作が指定されている場合にウィンドウ識別名が指定されるとシナリオ実行時にエラーとなります。

ライブラリ

└「23_ブラウザ関連」

└└「ブラウザ名を付ける」

1.57 保存されていない Excel ファイルを操作する方法

Q アプリから新規> 空白のブックを選択して作成したあと保存しておらず、ファイルパスがないファイル、およびそのウィンドウを操作する際の設定方法を教えてください。

A 保存されておらずファイルパスがない Excel ファイルについては、以下のようにエミュレーションなどを利用して保存してください。

1. 「エミュレーション」を使用して、対象の Excel 画面に「F12」キーを押下する
（「F12 キー：「名前を付けて保存」画面を表示する」）
2. 「文字列設定（WIN32）」を使用して、「名前を付けて保存」画面のファイル名入力欄に、保存先のファイル名を絶対パスで入力する
3. 「クリック（WIN32）」を使用して、保存ボタンを押下する

1.58 Excel で部分一致の検索を行う方法

- Q** Excel 内の文字列検索の際に、完全一致の検索ではなく、特定の文字列を含む検索を行いたいです。
- A** NTT アドバンステクノロジーが公開しているプチライブラリ「Excel 操作(一致検索(値と数式))」をご利用ください。プロパティ設定の「検索対象」を「値」に設定することにより、文字列の部分一致検索を行うことができます。
- https://winactor.biz/library/2021/03/29_3872.html

1.59 Excel マクロと WinActor シナリオのどちらで処理を実行したほうがいいのかの判断基準

- Q** Excel マクロと WinActor シナリオのどちらでも実行可能な処理がある場合、どちらで実行させるかの判断基準はありますか。
- A** Excel に特化した複雑な処理はマクロで実装したほうが処理速度等の面で優れています。そのほか、作成・メンテナンスの難易度などが判断基準になります。

1.60 Excel の指定シートを CSV 形式で保存する方法

- Q** Excel ブック中の特定のシート（指定したシート）を CSV 形式で保存する機能はありますか。
- A** 以下のライブラリを使用することで、Excel ブック中の指定シートを CSV 形式で保存することが可能です。
- ライブラリ
- ↳「18_Excel 関連」
 - ↳「01_ファイル関連」
 - ↳「Excel 操作（CSV 形式で保存）」

本ライブラリの使用時は、対象の Excel ブックの指定したシートを開いた状態で使用する必要がありますのでご注意ください。

1.61 Excel で行/列の操作方法

Q Excel 操作上で行/列を挿入する方法はありますか。

その際、まとめて挿入することはできますか。

A 下記のそれぞれのライブラリを使用して行/列を挿入することができます。

ライブラリ

↳「18_Excel 関連」

↳「03_行列操作」

↳「Excel 操作(列挿入)」

↳「Excel 操作(行挿入)」

まとめて挿入する場合も上記のライブラリを使用することで挿入できます。

具体的な手順は下記に記載しています。

- 列をまとめて挿入する場合
「Excel 操作(列挿入)」のプロパティ「挿入列」に「A:G」のように挿入したい範囲の列を「 : (コロン) 」で連結して設定してください。
- 行をまとめて挿入する場合
「Excel 操作(行挿入)」のプロパティ「挿入行」に「2:4」のように挿入したい範囲の行を「 : (コロン) 」で連結して設定してください。

1.62 Excel ファイルに任意の名前をつけて保存する方法

Q Excel ファイルの保存で任意の名前で保存する方法を教えてください。

A 下記のライブラリを使用することで、任意の名前で保存することができます。

ライブラリ

↳「18_Excel 関連」

↳「01_ファイル操作」

↳「Excel 操作 (名前をつけて保存) 」

※保存するファイルと同名のファイルが存在する場合は上書きされます。

1.63 Excel ブック間でシートコピーする方法

Q Excel ブック間でシートコピーする方法について教えてください。

A ライブラリ「Excel 操作（別 Book のシートコピー）」を使用することで、別ブックにシートをコピーすることができます。

ライブラリ

↳「18_Excel 関連」

↳「02_シート操作」

↳「Excel 操作（別 Book のシートコピー）」

1.64 Excel で特定範囲をコピーして貼り付ける方法

Q Excel 操作において、例えば A5～C10 までなどのように指定範囲のセルの値を取得する場合はどのようにすればいいですか。また取得した値を張り付ける方法を教えてください。

A 以下のライブラリを使用することで指定範囲のセルの値をクリップボードへ格納・貼り付けができます。

1. 指定範囲のセルの値をクリップボードへ格納

ライブラリ

↳「18_Excel 関連」

↳「08_範囲」

↳「Excel 操作（範囲コピー）」

2. クリップボードに格納した値をペースト

ライブラリ

↳「18_Excel 関連」

↳「07_コピー&ペースト」

↳「Excel 操作（ペースト）」

1.65 Excel リボンに対するエミュレーション操作

- Q** Excel で、「行の高さ」機能を使用するため、Excel リボンをエミュレーションモードで、「Alt」→「H」→「O」→「H」と入力した時、最後の「H」キー操作が記録できません。原因を教えてください。
- A** Excel リボンから出てくるプルダウンのようなものは、独立したウィンドウとして扱われます。そのため、Excel に対してエミュレーション記録を行うと親の Excel のみ記録対象となります。
- Excel に対してのエミュレーション記録は「Alt」→「H」→「O」まで行ってください。最後の「H」キーは、ウィンドウ識別名を「（スクリーン）」として、エミュレーション記録していただくか、ライブラリ「エミュレーションで文字送信」で、キー送信してください。

ライブラリ

↳「14_入力欄操作」

↳「エミュレーションで文字送信」

1.66 CSV ファイルを Excel 形式で保存する方法

- Q** CSV ファイルを Excel 形式にて保存する方法を教えてください。
- A** 対応方法は 2 つあります。
- 以下のプチライブラリを使用する
(v7.2.0 以降は、「Excel 操作(csv を xls 形式で保存)」として本体に同梱)
csv ファイルを xls 形式で保存するライブラリ
https://winactor.biz/library/2018/11/09_425.html
 - 以下の手順でエミュレーションや自動記録アクションを組み合わせるシナリオ作成する

- ① 対象 CSV ファイルを Excel で開く
- ② 以下ライブラリを使用して、開いた Excel ファイルを対象に「F12」キーを押下する (F12 キー : 「名前を付けて保存」画面を表示する)

ライブラリ

↳「04_自動記録アクション」

↳「エミュレーション」

- ③ 以下ライブラリを使用して、「名前を付けて保存」画面のファイル名入力欄に、保存先のファイル名を絶対パスで入力する

ライブラリ

↳「04_自動記録アクション」

↳「文字列設定 (WIN32) 」

- ④ 以下ライブラリを使用して、「名前を付けて保存」画面のファイルの種類から「Excel ブック (*.xlsx)」を選択する

ライブラリ

↳「04_自動記録アクション」

↳「リスト選択 (WIN32) 」

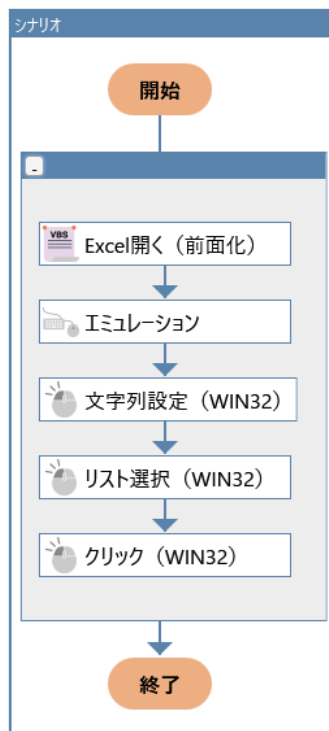
- ⑤ 以下ライブラリを使用して、保存ボタンを押下する

ライブラリ

↳「04_自動記録アクション」

↳「クリック (WIN32) 」

図 1.66 シナリオ作成例



1.67 操作対象の画面を最大化する方法

Q 操作対象の画面を最大化する方法を教えてください。

A 以下のライブラリを使用することで画面を最大化することができます。

ライブラリ

↳「11_ウィンドウ関連」

↳「ウィンドウの表示変更」

プロパティ設定にて、表示状態から「最大化」を選択して最大化させたいウィンドウを「ウィンドウ識別名」に設定してください。

1.68 Excel ファイルを PDF 形式で保存する方法

Q Excel ファイルを PDF 形式で保存する方法を教えてください。

A 以下のプチライブラリを使用することで対応できます。

(v7.2.0 以降は、「Excel 操作 (PDF 形式で出力)」として本体に同梱されています)

Excel 操作 (PDF 形式で出力)

https://winactor.biz/library/2018/12/26_568.html

1.69 IE 上の表の指定セルに存在するコントロールをクリックする方法

Q IE 上の表の指定セルに存在するコントロールをクリックする方法を教えてください。

A 以下のライブラリのどちらかで対応可能です。

ライブラリ

↳「17_IE 関連」

↳「02_クリック」

↳「IE 操作(表内のコントロールをクリック 1)」

↳「IE 操作(表内のコントロールをクリック 2)」

操作対象の画面によってどちらのライブラリで操作できる・できないといったこともありますので、使用の際は実際の画面で動作を確認してからご利用ください。

1.70 Excel のシート名を変更する方法

Q Excel シート名の変更方法を教えてください。

A 以下のプチライブラリを使用することで対応できます。

(v7.2.0 以降は、「Excel 操作 (シート名変更)」として本体に同梱されています)

Excel ファイルのシート名を変更するライブラリ

https://winactor.biz/library/2018/11/09_414.html

2 ノード・ライブラリに関する質問

2.1 ノード「文字列送信」よりもシナリオ実行速度を向上させる方法

Q 入力欄へ文字を入力する際に、ノード「文字列送信」を使用しています。
時間がかかるため、実行速度を上げる方法は他にありますか。

A 以下をお試しください。

- 以下どちらかのライブラリを使用する。

ライブラリ

- ↳ 「04_自動記録アクション」
↳ 「文字列設定 (IE) 」
↳ 「文字列設定 (WIN32) 」

- ノード「クリップボード」とライブラリ「テキスト入力欄に貼り付け」を組み合わせる使用する。

ノード「クリップボード」にて貼り付けたい値をクリップボードに設定し、ライブラリ「テキスト入力欄に貼り付け」で値の貼り付けを実施する。

ノード

- ↳ 「アクション」
↳ 「クリップボード」

ライブラリ

- ↳ 「14_入力欄操作」
↳ 「テキスト入力欄に貼り付け」

2.2 記録モードと自動記録アクションの違い

Q 記録モードとライブラリ内にある自動記録アクションは何が違いますか。

A 以下の違いがあります。

➤ 記録モード

メイン画面の「記録」ボタンを押下後、実際の PC の操作内容に対応したライブラリ、ノードの設定を自動的に実行し、シナリオ内に自動配置/登録を行います。

➤ 自動記録アクション

ライブラリ「04_自動記録アクション」内の各ノードを、手動でシナリオ内に配置し、設定を行います。記録モードでは、値取得や状態チェックのライブラリ/ノードの自動登録はできないため、該当処理を設定したい場合は、自動記録アクションやその他ライブラリ/ノードを使用してください。また、記録モードで処理が想定通りに登録・実行できない場合は、自動記録アクションやその他ノードを組み合わせる処理の実現を検討してください。

2.3 「文字列送信」で送信した文字列の文字化け回避

Q ノード「文字列送信」を使用してシナリオ作成したところ、下記の文字列が一部文字化けしてしまいました。

C:¥Users¥xxxxx¥Desktop¥WINACTOR 実験用¥発注テキスト.txt

↓

C:¥Users¥xxxxx¥Desktop¥WINACTOR?た?ア?p¥?1???e?L?X?g.txt

全角ひらがな・漢字・カタカナは文字化けしてしまうのでしょうか。

A ノード「文字列送信」は「UTF-8」という文字コードで文字列を送信します。

したがって、送信先のアプリケーションなどが「UTF-8」に対応していない場合、文字化けが発生します。

文字コードの違いが原因で「文字列送信」を使用できない場合、下記手順で文字化けを回避できます。

1. ノード「クリップボード」に入力文字を設定する
2. ノード「画像マッチング」等を使用し、対象の入力欄をアクティブにする
3. 下記のライブラリを使用し、手順 1. で設定した文字をペーストする

ライブラリ

↳「14_入力欄操作」

↳「テキスト入力欄に貼り付け」

2.4 不要な改行の回避方法

Q ノード「文字列送信」でリターンキー送信欄にチェックすると、意図しない箇所で改行をしてしまいます。対処方法を教えてください。

A 「文字列送信」でリターンキー送信にチェックせず、「エミュレーション」で Enter キーを押下するようにしてください。

ライブラリ

↳「04_自動記録アクション」

↳「エミュレーション」

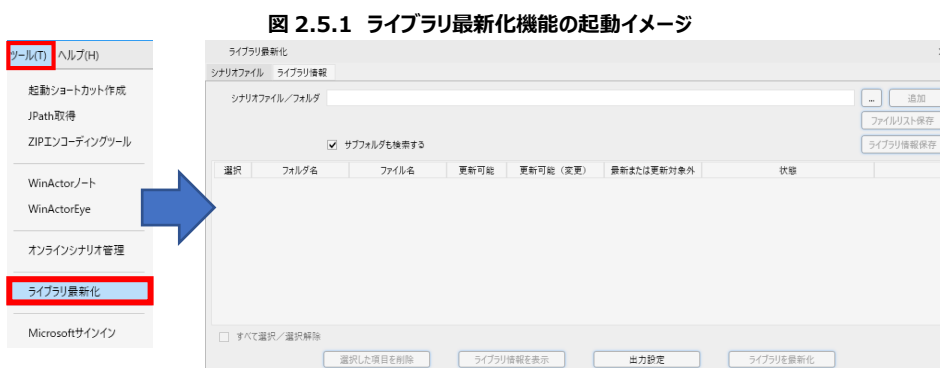
2.5 ライブラリを変更した場合のシナリオへの適用方法

Q バージョンアップなどで大本のライブラリを変更した場合、そのライブラリを使用している全てのシナリオに自動的に適用されますか。それとも手動で全て適用しなおす必要がありますか。

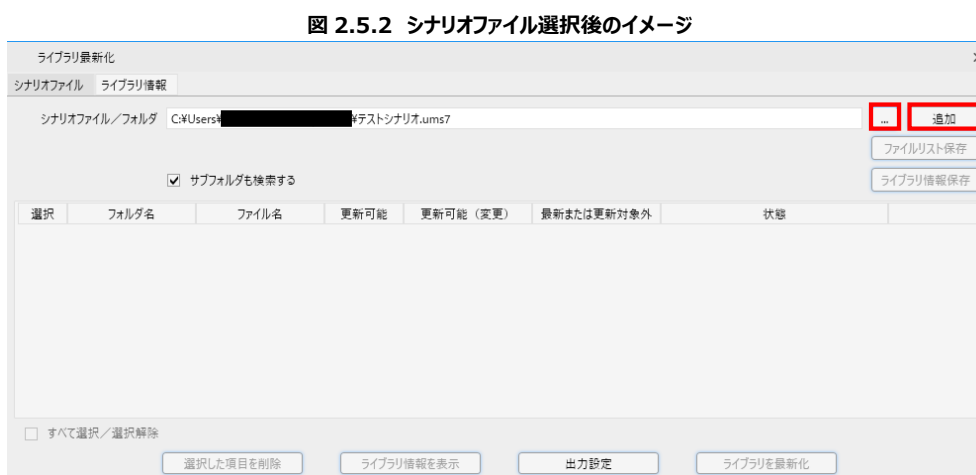
A v7.4.0 より、シナリオファイルに含まれるライブラリの最新化機能が追加されております。v7.4.0 以降のバージョンを使用している場合は、こちらの機能を使用したライブラリの更新適用が可能です。更新対象のシナリオファイルを選択して、更新を実施ください。
v7.4.0 より前のバージョンを使用している場合は、手動での置き換えが必要となります。各シナリオを開き、対象のライブラリの再配置・再設定等を実施ください。

v7.4.0 以降のライブラリ最新化方法

- 「ツール」メニューより、「ライブラリ最新化」を押下し、ライブラリ最新化機能を起動する



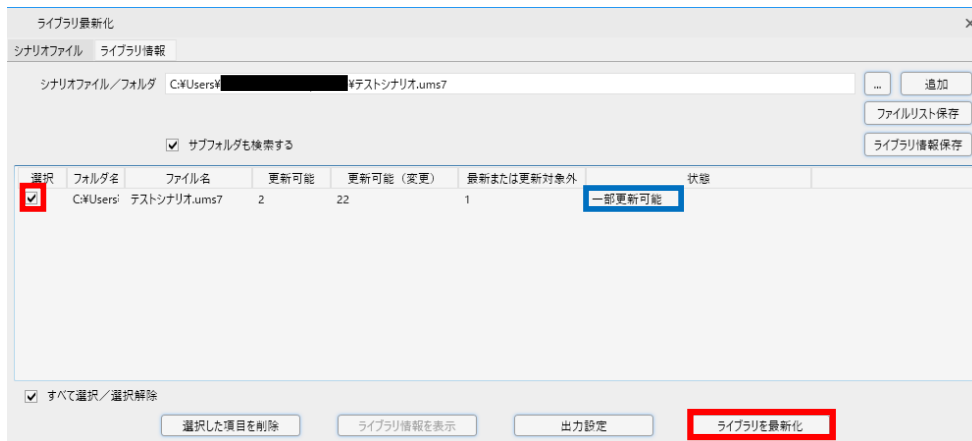
- 「…」を押下し、更新対象のシナリオファイルを選択後、「追加」を押下する



3. 対象のシナリオファイルの選択欄にチェックを入れ、「ライブラリ最新化」を押下する

※状態欄が「更新対象なし」と表示される場合は、最新化不要となります

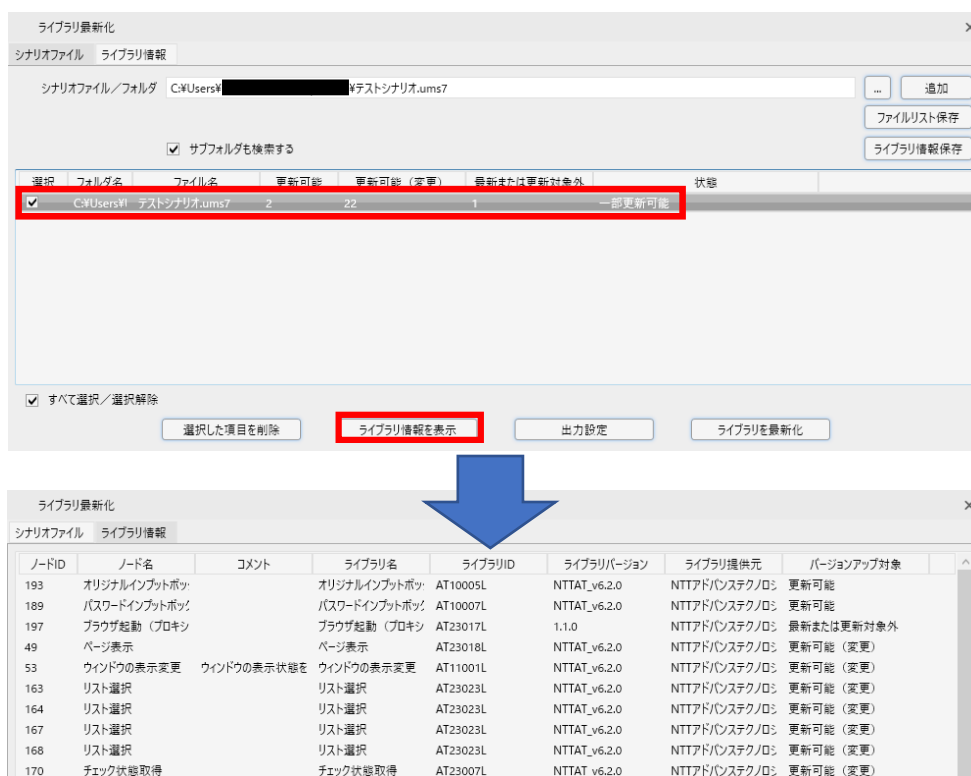
図 2.5.3 「ライブラリ最新化」押下前のイメージ



【補足】

シナリオ内で使用中のどのライブラリが更新必要か確認したい場合は、確認対象のシナリオを選択した状態で、「ライブラリ情報を表示」を押下し、対象をご確認ください

図 2.5.4 ライブラリ情報の表示イメージ



2.6 ノードやライブラリの表示変更

Q シナリオ表示エリアのノードやライブラリの大きさの変更は可能でしょうか。ノードに長い名前を付けた際に名前が見切れてしまい不便です。

A v7.4.0 より、[ツール] → [オプション] → [その他] タブより変更可能です。

上記以前の Ver について、グループに関しては、オプションから「ノードタイトル表示幅」を設定することにより、グループに長い名前を付けた際の表示幅の変更が可能です。

一方ノードやライブラリの大きさを変更することはできません。ノードに長い名前を付け、フローチャート画面上で表示する必要がある場合は、グループを使用してください。

サイズの変更方法

1. メニューバーの「ツール」メニューより、「オプション」を選択

図 2.6.1 メニュー表示



2. 「その他」タブの『ノード表示幅』にて数値を変更し、OK を押下する。

図 2.6.2 オプション表示

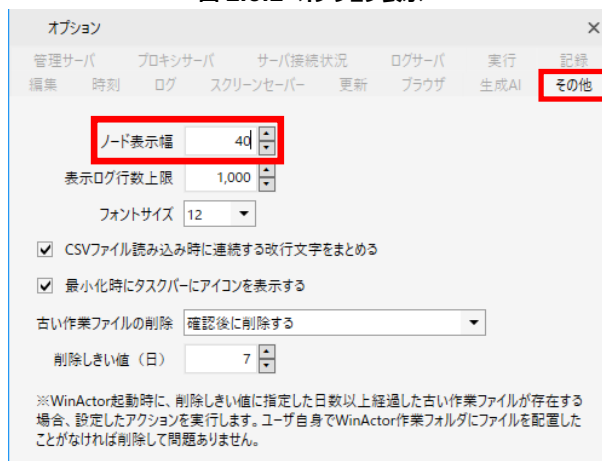
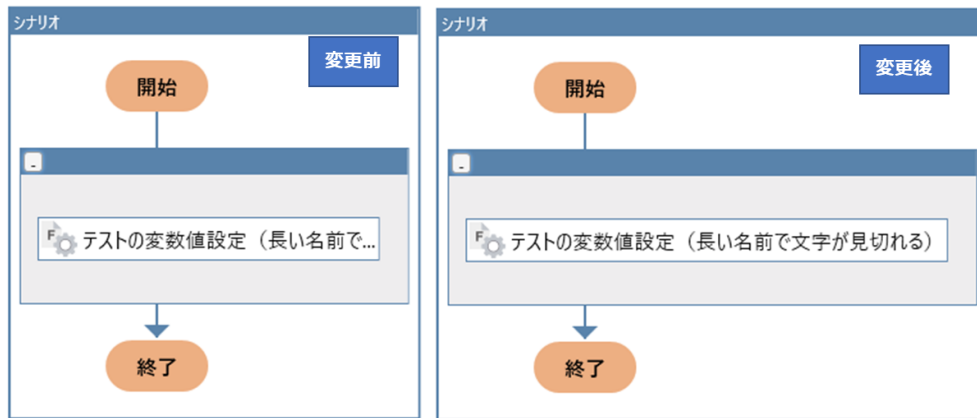


図 2.6.3 設定変更前後の画面例



2.7 ユーザライブラリのバージョン情報表示

Q フローチャート上に配置されたライブラリが、どのバージョンの WinActor で作成されたものか、確認する方法はありますか？

A バージョン情報は、ライブラリのプロパティ画面上的「バージョン情報」タブより確認が可能ですが、どの WinActor のバージョンで作成されたライブラリであるかは確認不可となります。

また、バージョン情報ですが、以下の場合にはバージョン情報の確認は不可となります。

➤ ライブラリのプロパティ画面上的「スクリプト」タブの内容を変更した場合

➤ 以下対象のノードやライブラリ

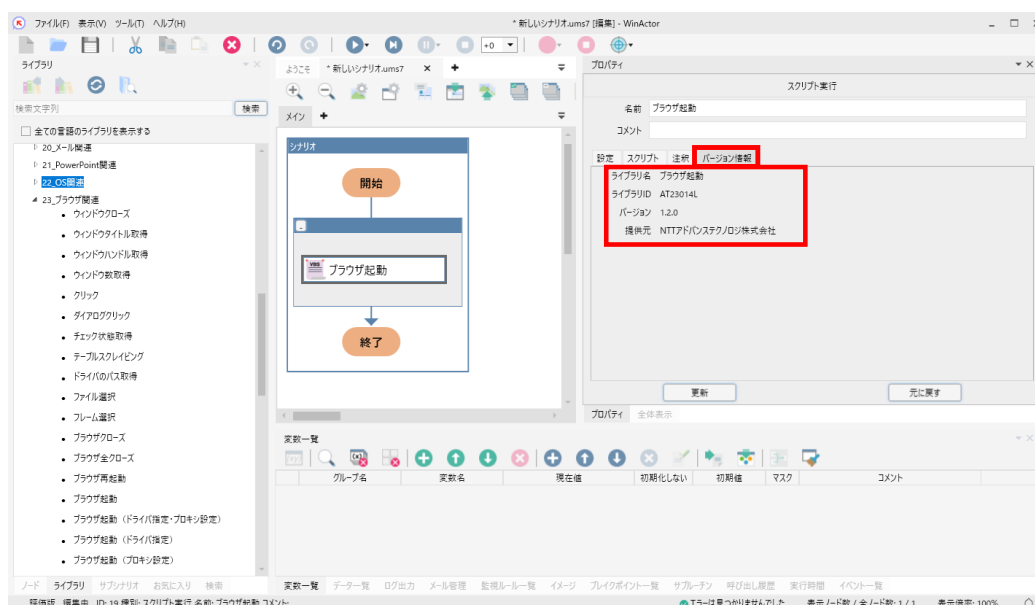
- ・ 「ノード」タブに存在するノード
- ・ ライブラリ「Excel 操作(データ一覧連携)」

ライブラリ

└「18_Excel 関連」

└「Excel 操作(データ一覧連携)」

図 2.7.1 ライブラリのプロパティ画面例



2.8 特定の文字列を含むファイルの検索

- Q** 複数ファイルが格納されているフォルダ内で、ファイル名に特定の文字列（伝票番号など）を含むファイルを探すことは可能ですか？
- A** 以下のライブラリを使用することで、指定したフォルダ内に格納されているファイルを検索することが可能となります。

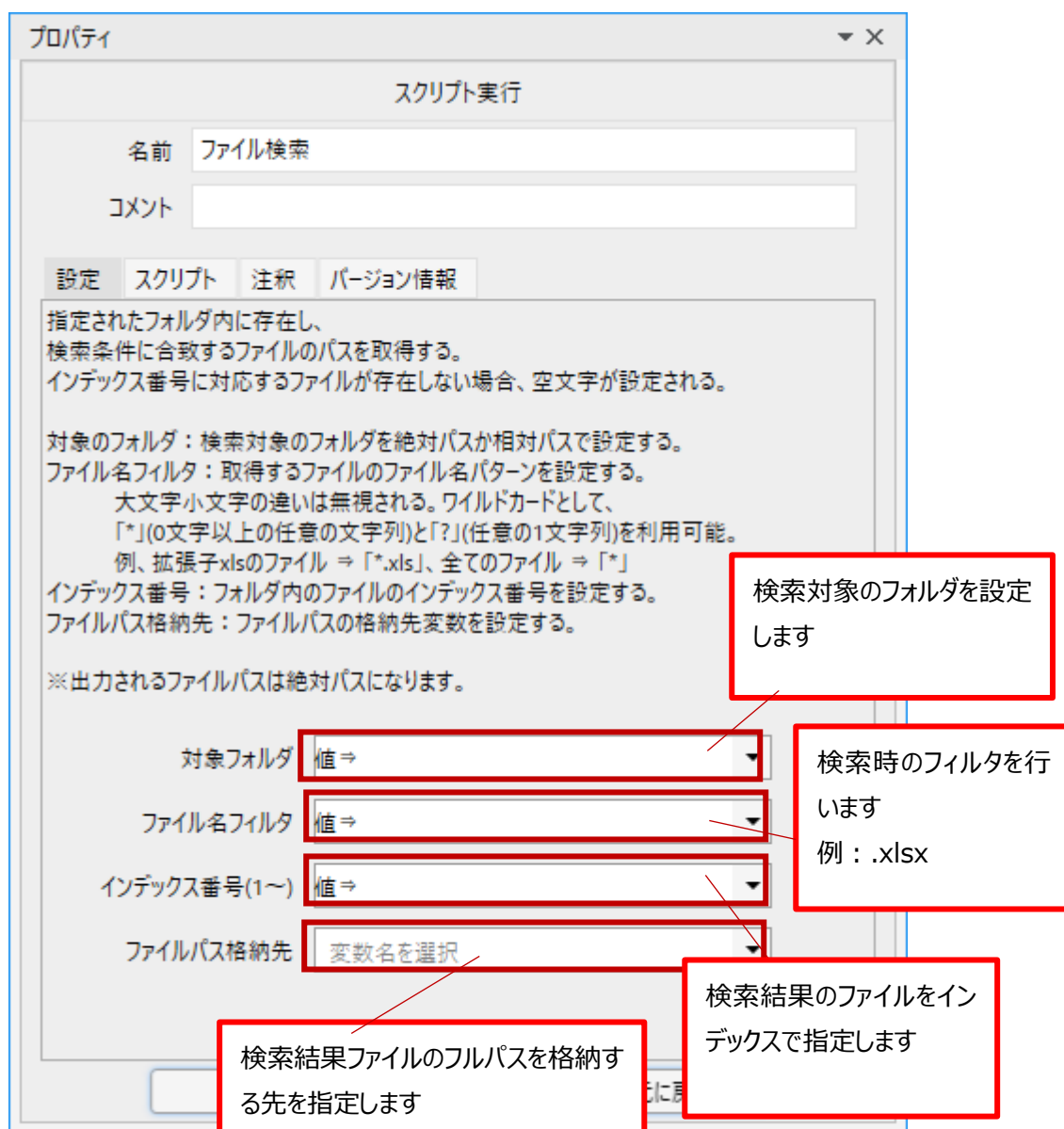
ライブラリ

↳「13_ファイル関連」

↳「04_ファイル一覧」

↳「ファイル検索」

図 2.8.1 ライブラリのプロパティ画面例



2.9 ファイルの Zip 圧縮

Q ファイルに対して Zip 圧縮するようなライブラリはありますか。

A 以下のライブラリがあります。なお、本ライブラリは特定のフォルダに圧縮したいファイルを格納した状態でこのライブラリを使用します(フォルダを Zip 圧縮します)。

・ライブラリ

↳「13_ファイル関連」

↳「02_ファイル操作」

↳「Zip 関連」

↳「Zip 圧縮」

・ライブラリ

↳「13_ファイル関連」

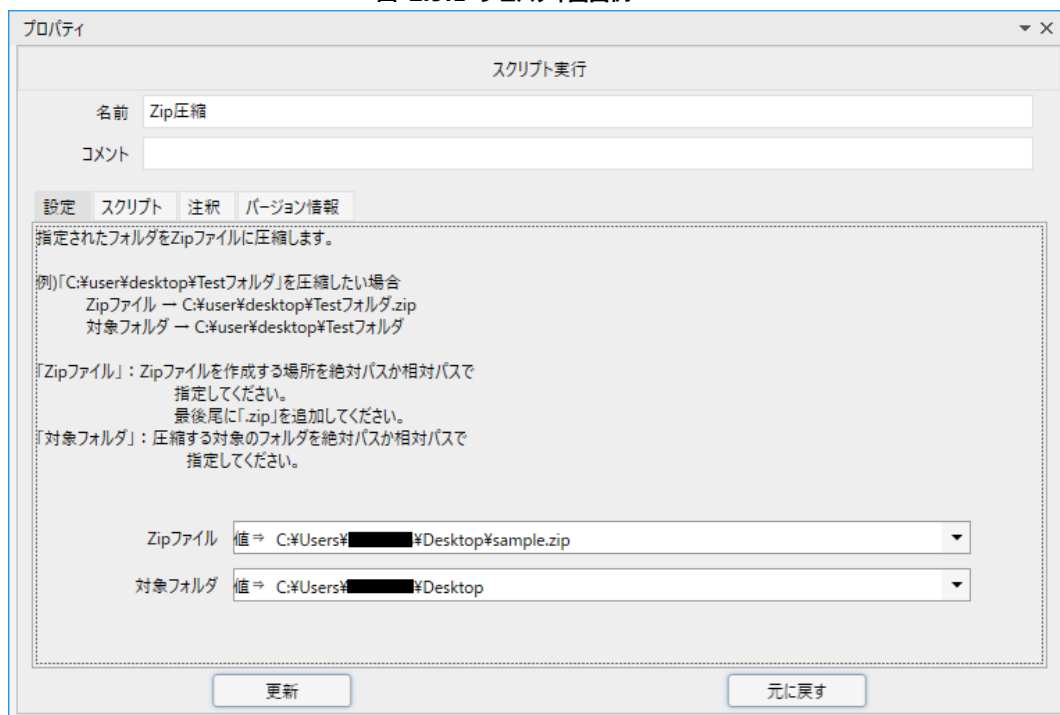
↳「02_ファイル操作」

↳「Zip 関連」

↳「Zip 圧縮 (パスワード付き)」

上記ライブラリのプロパティを開き、「対象フォルダ」を指定する箇所にファイルの絶対パス(拡張子含む)を入力します。

図 2.9.1 プロパティ画面例



2.10 ファイル名順、あるいは更新順にファイル名を取得

Q ファイル名順、あるいは更新順にファイル名を取得したいのですが可能ですか。

A 以下のライブラリで取得可能です。

ライブラリ

↳「13_ファイル関連」

↳「04_ファイル一覧」

↳「ファイル一覧(ファイル名)取得(ソート順あり)」

2.11 ライブラリ「先頭ファイルの取得」における Zip ファイルの扱い

Q ライブラリ「先頭ファイルの取得」は Zip ファイルにも対応していますか。

A Zip ファイルには対応していません。

Zip ファイルのファイル名を取得する際は、以下のライブラリを使用します。

ライブラリ

↳「13_ファイル関連」

↳「04_ファイル一覧」

↳「ファイル一覧(ファイル名)取得」

2.12 デスクトップ上のアプリケーションを起動させる方法

Q デスクトップ上のアプリケーションを起動させる方法がありますか。

A 下記のライブラリを使用することでデスクトップ上のアプリケーションを起動させることができます。

- ・ライブラリ
 - ↳「13_ファイル関連」
 - ↳「02_ファイル操作」
 - ↳「Explorer でファイルを開く」
- ・ライブラリ
 - ↳「13_ファイル関連」
 - ↳「02_ファイル操作」
 - ↳「デスクトップにあるファイルを開く」

- ・ライブラリ
 - ↳「13_ファイル関連」
 - ↳「02_ファイル操作」
 - ↳「ファイルと関連づいているアプリ起動」

また、ノード「画像マッチング」のウィンドウ識別名を（スクリーン）に設定し、デスクトップ画面を選択後、該当のアプリケーションを指定する手順でも起動可能です。

デスクトップフォルダのパスについては、下記ライブラリで取得することができます。

- ・ライブラリ
 - ↳「13_ファイル関連」
 - ↳「05_ファイル名」
 - ↳「デスクトップフォルダのファイルパス」
- ・ライブラリ
 - ↳「13_ファイル関連」
 - ↳「05_ファイル名」
 - ↳「デスクトップフォルダ取得」

2.13 「Outlook メール送信（添付ファイル付）」でメールを送信せずに保存する方法

Q ライブラリ「Outlook メール送信（添付ファイル付）」を利用してメール送信をしていますが、メールを送信せずに保存することは可能でしょうか。

A 下記の追加ライブラリがありますのでお試しください。

■ Outlook 操作(メール下書き保存、添付ファイル付)

https://winactor.biz/library/2021/06/30_4256.html

2.14 Outlook の添付ファイル開封の方法

Q Outlook にて受信したメールの添付ファイルを取得する方法について教えてください。

A 以下のライブラリで選択したメールと添付ファイルの保存ができます。

■ ライブラリ

└「20_メール関連」

└└「01_Outlook 操作」

└└└「Outlook メールと添付ファイルを保存」

2.15 ライブラリ「Excel 操作（最終行取得その 1~4）」の違い

Q ライブラリ「Excel 操作（最終行取得その 1~4）」の違いを教えてください。

A 最終行取得その 1~4 のそれぞれの取得方法について回答します。

➤ Excel 操作（最終行取得 その 1）

使用されているセルの範囲を UsedRange で自動的に求め、最終行を取得します。

これはそのワークシートで使用されたセル範囲を返すので、データが入力されているまたは色や罫線が設定されているセルのうち一番下にあるセルの位置を最終行と判定します。

図 2.15.1 では一見すると表の罫線が設定されたセルの一番下にある A6 が最終行として取得されるように見えますが、C8 にも罫線が設定されているセルがあるため、最終行として取得されるのは 8 行目になります。

➤ Excel 操作（最終行取得 その 2）

開始行と検索対象列を設定し、最初に空白となった行-1 を最終行として取得します。

（1 行ずつ空欄か判定するため、開始行から空白の行までの行が多い場合は他のライブラリより処理に時間がかかります。）

図 2.15.1 では A 列の 1 行目始まりの表のため 1 行目を開始行に設定し、3 行目を最終行として取得しています。

図 2.15.2 では A 列の 3 行目始まりの表のため 3 行目を開始行に設定し、5 行目を最終行として取得しています。

➤ Excel 操作（最終行取得 その 3）

検索対象列のみ設定し、2 行目以降に最初に空白となった行-1 を最終行として取得します。

（1 行目が空欄の表に使用すると本来空欄として判定したいところではないところを最終行として取得してくる可能性があります。そのため、対象の表が 1 行目始まりでない場合は開始行を指定できるその 2 のご利用をお勧めします。）

図 2.15.1 では 1 行目始まりの表のため、想定通り 3 行目を最終行として取得しています。

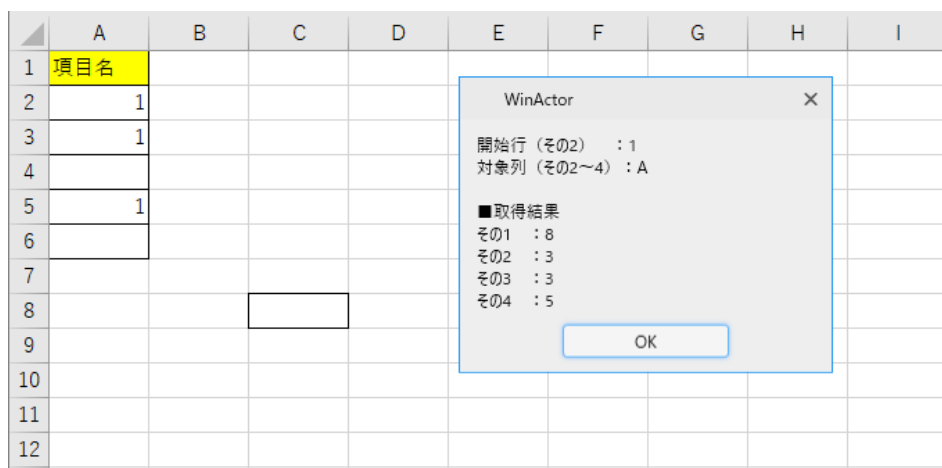
図 2.15.2 では 3 行目始まりの表のため、想定外の行 (0) が最終行として取得されてしまいます。

➤ Excel 操作 (最終行取得 その 4)

検索対象列のみ設定し、対象列のワークシート最終行から Ctrl+Up したセルを最終行として取得します。

図 2.15.1、図 2.15.2 では A 列を対象に Ctrl+Up しているので最終行はそれぞれ 5 行目、7 行目となります。

図 2.15.1 Excel 操作 (最終行取得 その 1~4) の実行結果 (1 行目から始まる表の場合)



	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	項目名								
2	1								
3	1								
4									
5	1								
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									

図 2.15.2 Excel 操作（最終行取得 その1~4）の実行結果（3行目から始まる表の場合）

The image shows an Excel spreadsheet with columns A through H and rows 1 through 10. A dialog box titled "WinActor" is overlaid on the spreadsheet. The dialog box displays the following information:

- 開始行 (その2) : 3
- 対象列 (その2~4) : A
- 取得結果
- その1 : 8
- その2 : 5
- その3 : 0
- その4 : 7

The "取得結果" (Obtained Results) section is highlighted with a red box. The spreadsheet data is as follows:

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2								
3	項目名							
4	1							
5	1							
6								
7	1							
8								
9								
10								

2.16 Excel を検索するライブラリの違い

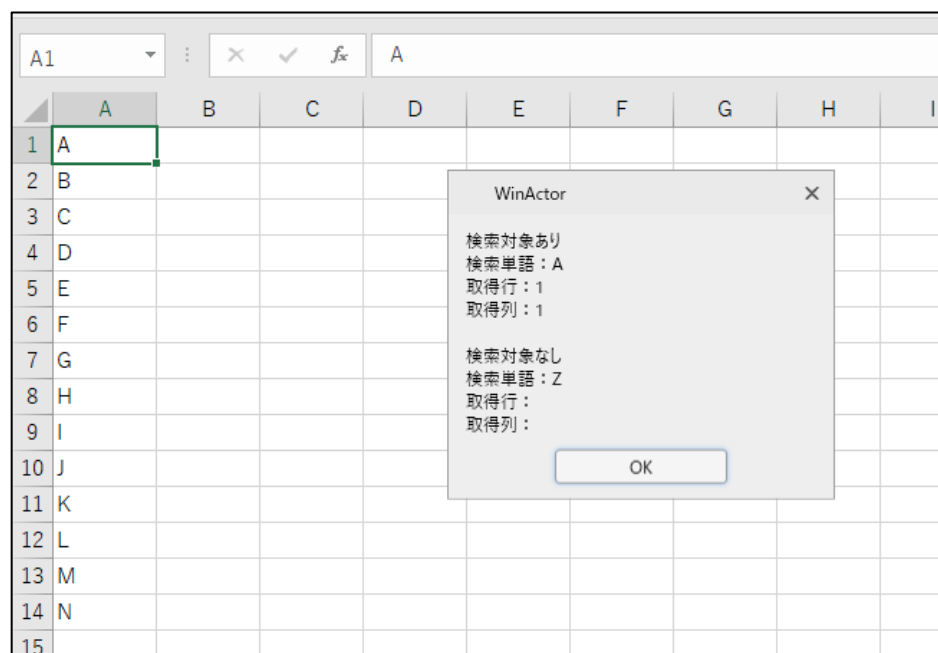
Q Excel 関連ライブラリの「Excel 操作（検索一致）」と「Excel 操作（範囲検索）」の違いを教えてください。

A 「Excel 操作（検索一致）」と「Excel 操作（範囲検索）」の違いは以下の通りです。

「Excel 操作（検索一致）」

- ・検索対象ありの場合は行と列が取得できています。
- ・検索対象なしの場合は行と列が取得できていませんがエラーは発生しません。

図 2.16.1 「Excel 操作（検索一致）」実行後



「Excel 操作（範囲検索）」

- ・検索対象ありの場合、セルをアクティブ化します。
- ・検索対象がない場合、エラーが発生します。

図 2.16.2 検索対象ありの場合

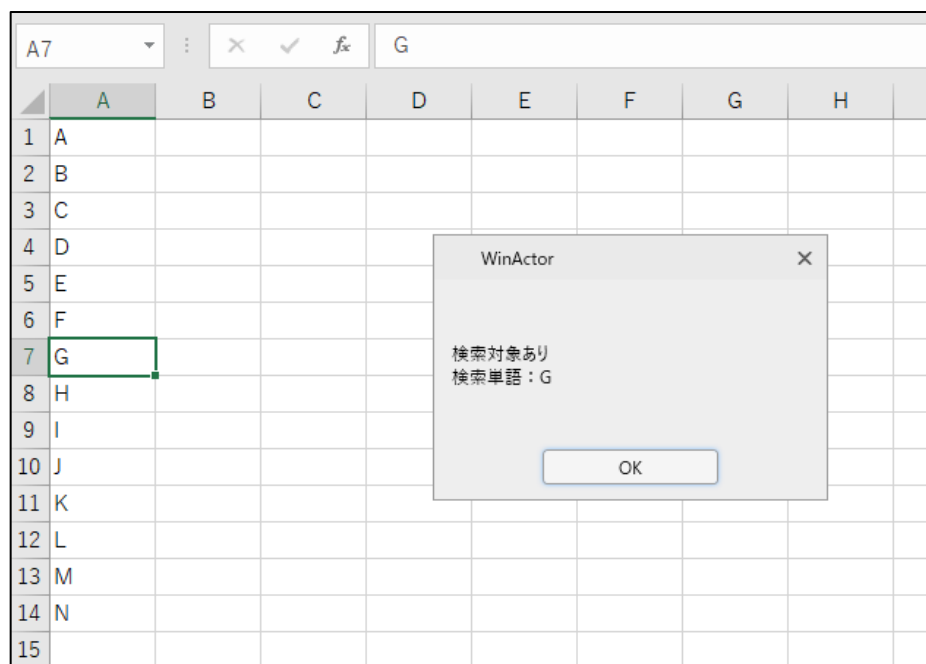
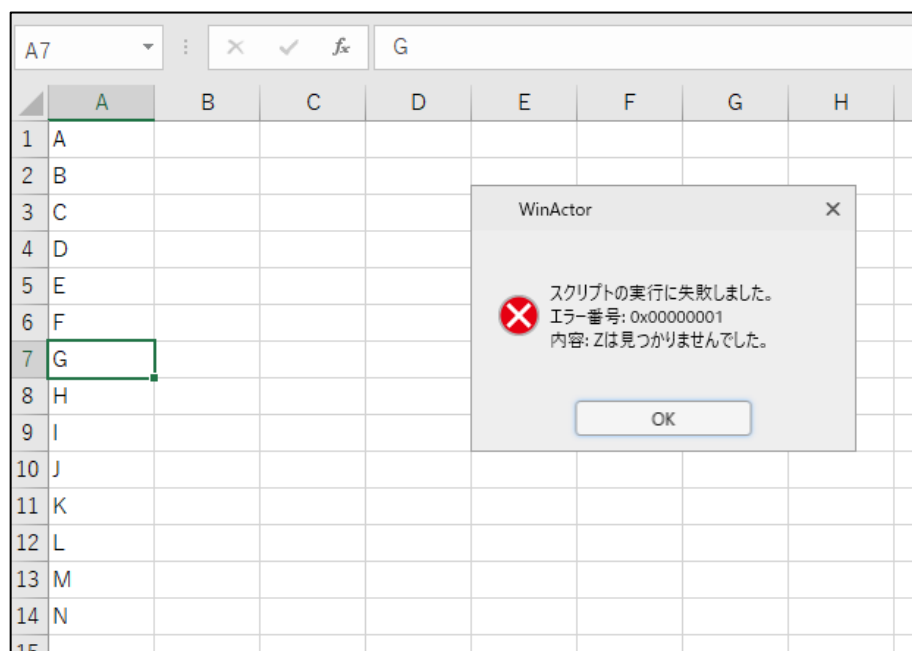


図 2.16.3 検索対象なしの場合



2.17 IE 以外のウェブブラウザ（Edge、GoogleChrome）の操作について

- Q** Edge、Chrome を操作するライブラリはありますか。
- A** ライブラリ「23_ブラウザ関連」に専用ライブラリがあります。自動記録も Edge、Chrome、Firefox に対応しています。

2.18 Web ブラウザ上のテキストを取得するためのノードについて

- Q** ブラウザ上に表示されているテキストを取得するためのノードがあれば教えてください。
- A** 使用しているブラウザや操作対象サイトによって異なりますが、以下にいくつか例をご紹介します。

- ① ライブラリ
L「04_自動記録アクション」
L「文字列取得（IE）」
- ② ライブラリ
L「17_IE 関連」
L「03_テキスト取得」配下の各ライブラリ
- ③ ライブラリ
L「23_ブラウザ関連」
L「値の取得」
- ④ ノード「画像マッチング」+エミュレーション
画像マッチングにて、左ボタンダブルクリックで対象となるテキストを選択し、エミュレーション「Ctrl+C」でクリップボードに取得できます。
使い分けとしては①②は対象ブラウザが IE の場合に利用できます。
特に取得したい対象に ID または CLASS 情報が設定されていない場合は①を、設定されている場合は②を推奨します。
③は Edge や Chrome、Firefox など、IE 以外のブラウザが対象の時に利用できます。
上記①～③で取得できない場合は④を試してみてください。

2.19 同梱ライブラリ以外のライブラリはあるか

Q WinActor 本体に同梱されているライブラリ以外に、追加ライブラリのようなものはないのでしょうか。

A 以下のライブラリを公開しています。

- **NTT アドバンステクノロジー提供ライブラリ**

<https://winactor.biz/knowledge/?limit=20>

同梱ライブラリでカバーされていない、あると便利な機能や新しい機能を提供するものです。

- **NTT データ提供ライブラリ**

https://nttdata-mp.com/list.php?c_id=35

他アプリケーションとの連携や、やや高度で専門的な操作をカバーするものです。下記のサイトからダウンロードができます。同社の「WinActor ビジネスオンラインショップ」へのユーザー登録が必要です。

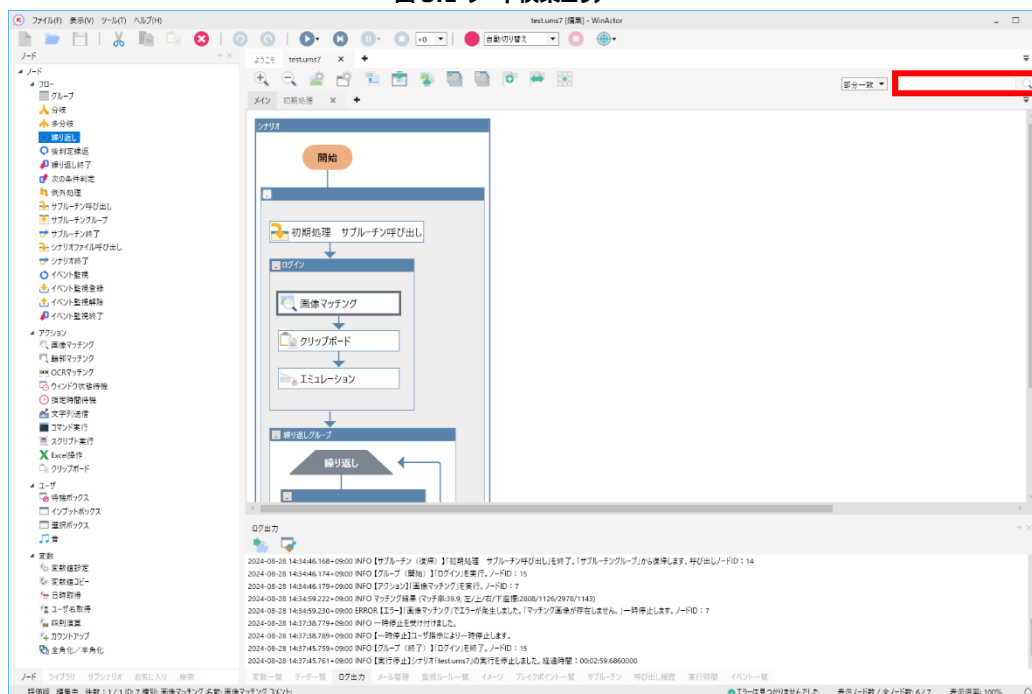
3 エラーに関する質問

3.1 エラー発生箇所を特定する方法

Q WinActor でエラーが発生した箇所やエラー内容を特定する方法はありますか。

A 「ログ出力画面」にエラーが発生したノード名やノード ID、エラーの内容が出力されます。フローチャートが大きくなり、特定のノードを探すことが困難な場合、フローチャートのノード検索エリアにノード名やノード ID を入力し、検索アイコンをクリックすることで該当ノードを探すことができます。

図 3.1 ノード検索エリア



3.2 シナリオ実行中にエラーとなったときのメール送信可否

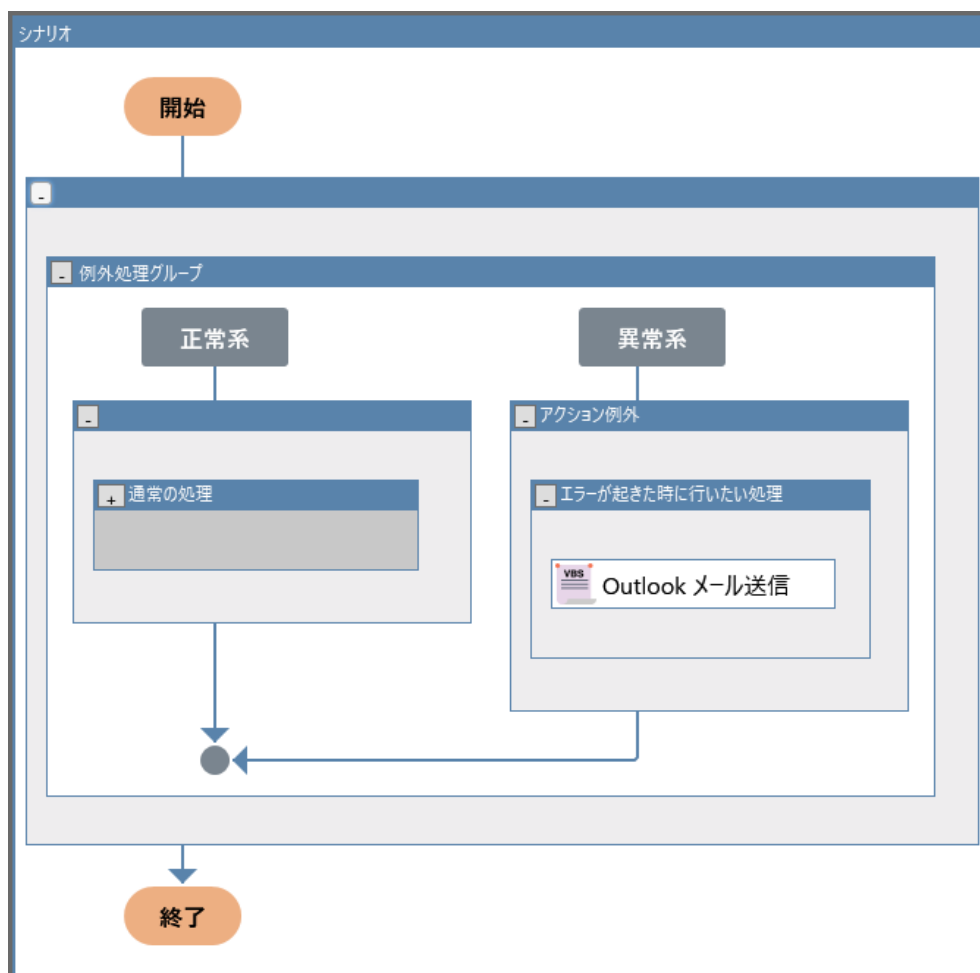
Q シナリオ実行中にエラーとなった際に、メールを送信することは可能ですか。

A ノード「例外処理」を使用することで可能になります。

例外処理の「正常系」の中に通常の処理を配置し、「異常系」の中にエラーが起きた際に行いたい処理を配置します。

「異常系」の中に、メール送信の処理を組み込んでおくことで、「正常系」の中に配置したノードのいずれかでエラーが発生した場合、メール送信が可能になります。

図 3.2 ノード「例外処理」を使ったエラーが起きたらメールを送信するシナリオの作成例



3.3 起動ショートカットからのシナリオ実行に失敗する

Q 起動ショートカットからシナリオを実行していますが、時々シナリオの読み込みに失敗します。原因と対策を教えてください。

A 以下の原因と対策が考えられます。

原因 1

メモリが圧迫された状態で WinActor を起動した結果、シナリオの読み込みに失敗した。

対策 1

メモリ消費を抑える。

詳細については、「7-5 メモリ不足の回避方法」を参照ください。

原因 2

ネットワークフォルダ等にシナリオファイルが保存されている事で通信速度の遅延を受け、シナリオファイルの読み込みに失敗した。

対策 2

ローカル上にファイルを置いてシナリオを実行する。

3.4 エラーが発生したノード名・シナリオ名を取得する方法

Q エラーが発生したノード名とシナリオ名を取得する方法を教えてください。

A 以下のライブラリを利用して、エラーが発生したノード名を取得することができます。

ライブラリ

 L「02_エラー処理」

 L「エラー情報収集」

さらに「エラー情報収集」のアクション例外グループに以下のライブラリを配置することで、シナリオ名を取得できます。

ライブラリ

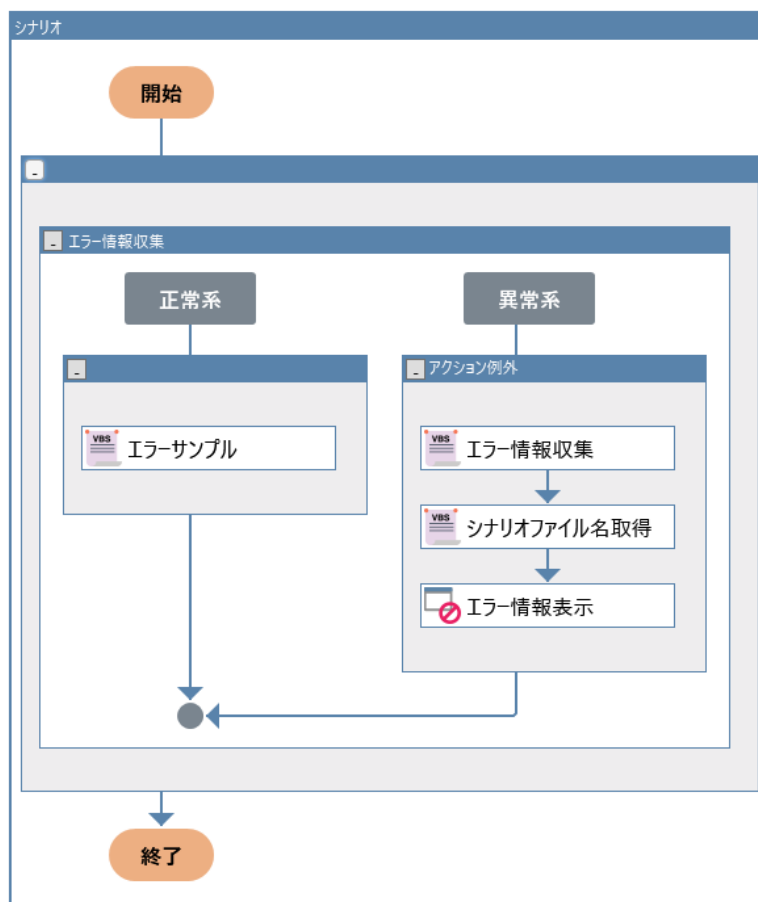
 L「01_WinActor 制御」

 L「06_シナリオ情報」

 L「シナリオファイル名取得」

以下はシナリオ作成例です。

図 3.4 シナリオ作成例



3.5 ノード「例外処理」の正常系内で意図的に例外を発生させる方法

- Q** ノード「例外処理」の正常系内で、意図的に例外を発生させる方法を教えてください。
- A** ノード「例外処理」の正常系内に、ライブラリ「エラー」を配置してください。そうすることで、処理がライブラリ「エラー」に進んだ時点で異常系に遷移します。

ライブラリ

└「02_エラー処理」

└「エラー」

3.6 ノード「例外処理」の正常系内でエラーが発生した際、異常系に遷移しない

- Q** ノード「例外処理」を使用したシナリオを実行中にエラーが発生しましたが、異常系に遷移しませんでした。原因と対処方法を教えてください。
- A** ノード「例外処理」の正常系でエラーが発生したときの異常系の遷移先は、例外名が「アクション例外」です。
任意の例外名に変更してしまうとエラー発生時に異常系に遷移しませんので、例外名は「アクション例外」としてください。

3.7 ブラウザでの自動記録のエラーについて

- Q** Chrome モードで自動記録をしようすると「記録の開始に失敗しました。」というエラーになります。原因と対処方法を教えてください。
- A** 「Google Chrome、Microsoft Edge (Chromium)、Firefox で自動記録を行う場合は、拡張機能のインストールが必要になります。以下をご確認の上、再度自動記録をお試しください。
- ① 拡張機能がインストールされているか
 - ② 拡張機能が無効になっていないか
ブラウザ側で拡張機能が無効になっている場合と、
WinActor 側で拡張機能が無効になっている(WebDriver が選択されている)場合の 2 パターンが考えられるため、双方確認すること。
 - ③ 拡張機能をアンインストール後、再インストール
※アンインストール・再インストールの際は「Chrome 拡張機能インストールマニュアル」(Firefox の場合は「Firefox 拡張機能インストールマニュアル」)を参照。

上記の対処方法を試しても改善しない場合、WinActor でブラウザ操作する際に使用するアプリケーションの起動が阻害されている可能性があります。事象が発生している端末について、使用しているセキュリティソフトをご確認の上、可能であればセキュリティソフトを一時的に無効化し、動作確認をお願いします。

3.8 ブラウザ起動で Edge を開く際のエラー

Q ブラウザ起動にて Edge を開くことができません。ブラウザ種類を Chrome に変更すると問題なく Chrome を開くことができます。
エラーメッセージは、「ライブラリ実行 (spv_Web) に失敗しました。」と表示されます。

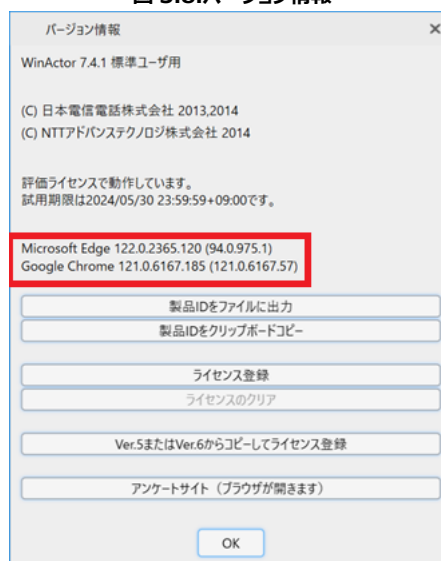
A WebDriver のバージョンがブラウザのバージョンと異なっている可能性があります。バージョンが一致しない場合、お使いのバージョンにあった WebDriver を導入して再度お試しください。
WebDriver のバージョン確認方法は、下記のマニュアルを参照のうえ、表示された画面 (図 3.8) を確認してください。

操作マニュアル

L3. WinActor の画面

L3.13.1 バージョン情報の確認

図 3.8.バージョン情報



※ () 内が Webdriver のバージョンです。

また、Webdriver の導入方法は下記のマニュアルをご確認ください。

ブラウザ操作シナリオ作成マニュアル

L4. WebDriver の導入手順

3.9 タスクスケジューラに登録したシナリオでエラーが発生する

Q 手動実行で動作するシナリオをタスクスケジューラから起動させると「対象のアクティブ化に失敗しました。」というエラーが発生します。原因と対処方法を教えてください。

A 主な原因と対策は以下 3 通りです。

- ① 原因：シナリオ実行時に画面ロックがかかっている

対策：シナリオ実行前に画面ロックを解除するか、画面ロックがかからないようにする

v7.2.0 以降をお使いの場合、スクリーンセーバー解除機能を使う

- ② 原因：タスクスケジューラの設定において、「最上位の特権で実行する」にチェックが入っていたため WinActor が管理者権限で起動し、操作対象アプリ（一般権限）と実行権限に差異があるため操作に失敗する。

対策：タスクスケジューラの設定で「最上位の特権で実行する」のチェックを外す。

- ③ 原因：タスクスケジューラを利用する時間に端末の動作速度が重くなっているため。

対策：端末が重くなる原因に合わせて対処する。

・端末を長時間再起動せずに運用している場合、端末の動作が重くなることもあるため、端末を定期的に再起動する。

・タスクスケジューラを設定している時間にセキュリティソフトのウィルススキャンが走るなど、端末が重くなる時間がわかっている場合、端末が重くなる時間を避けてタスクスケジューラを設定する。

・端末が重くなる原因や時間に心当たりがない場合、シナリオのエラーが起きるノードの前にノード「ウィンドウ状態待機」を追加するなど、待機時間を調整する。

4 動作環境に関する質問

4.1 インストールフォルダの移動

Q WinActor のインストール場所を変更したいです。インストール済みの WinActor フォルダを移動させることに問題はありますか。

A インストール後の WinActor インストールフォルダを移動/名称変更した場合、動作に不具合が生じるおそれがございます。

WinActor のインストール場所を変更する場合は、インストーラを使用して再インストールを行い、ウィザード内で正しいインストール先を指定してください。

すでにインストール済みの WinActor フォルダを移動させないでください。

インストール先変更方法

1. 利用中の WinActor の資材種別（管理者ユーザー用／標準ユーザー用）を確認し、現在インストールされている WinActor と同じ資材種別のインストーラを準備する

※使用したインストーラの確認方法は、以下を確認してください。

参考)

開発元 NTT アドバンステクノロジー FAQ

「使用したインストーラの確認とアンインストール方法を教えてください。」

https://faq.winactor.biz/winactor_jp/faq.asp?faqno=JPN00410

2. 資材種別とバージョンを確認し、以下を実施する

- **管理者ユーザー用の場合**

コントロールパネルの「プログラムと機能」（アプリと機能）から WinActor をアンインストールした後、WinActor の管理者ユーザー用インストーラを使用して再インストールしてください。

※インストールは、管理者権限を有するユーザーアカウントで行う必要があります。

- **標準ユーザー用の場合**

現在インストールされている WinActor フォルダを手動で削除した後、WinActor の標準ユーザー用インストーラを使用して再インストールしてください。

4.2 WinActor が起動しない

Q WinActor が起動しません。

A WinActor が起動しない場合、端末の状態や WinActor 資材、ポリシーやセキュリティの設定や変更が原因となっている可能性があります。

特に、それまで利用できていたものが突然起動しなくなった場合は、正常に起動したときからユーザ環境に変更がないかどうかを確認してください。

※本 FAQ 内の各種「WinActor が起動しない」もご参照ください。

・5.16_WinActor が起動しない：正しくインストールされていない可能性があります

・5.xx_WinActor が起動しない：スプラッシュ画面で停止する

ユーザ環境に変更がない場合は、以下を確認してください。

➤ Windows Update を実施後の端末の再起動確認

WindowsUpdate が適用されずに保留状態となっている場合、本事象が発生する可能性があります。保留状態の WindowsUpdate が存在する場合は、すべて適用し、端末を再起動して保留状態のものがないことを確認したあとに、事象が解消されるかどうかを確認してください。

➤ WinActor の動作がブロック(抑止)されていないかの確認

ポリシーまたはセキュリティソフト（ウイルス対策ソフト、自動暗号化ソフト、挙動監視系ソフト など）により WinActor の動作がブロック(抑止)されている可能性があります。ブロックされている場合は、WinActor の処理に関連するファイルやフォルダを監視対象から除外してください。除外設定やホワイトリストには、以下のファイル・フォルダを登録してください。

※ポリシーの変更やセキュリティソフトのアップデートがないかどうか、システム管理者様に確認してください。

<登録対象ファイル および フォルダ>

・WinActor のインストールフォルダ(例：

C:¥Users¥XXX¥Desktop¥WinActor7)

・ユーザーフォルダ (例：ドキュメント¥WinActor)

・ProgramData 配下 (例：C:¥ProgramData¥WinActor)

・シナリオ実行に関係するアプリケーション、ファイルの保存フォルダ

参考)

開発元 NTT アドバンステクノロジー FAQ

「セキュリティソフトの WinActor への影響について」

https://faq.winactor.biz/winactor_jp/faq.asp?faqno=JPN00077

➤ **正常に起動する端末との環境/設定差分の確認**

事象が発生している当該端末以外に、正常に起動する端末がある場合は、端末環境 および ユーザ設定を比較し、差異がある場合は、起動可能な端末/ユーザと条件を揃えてください。

また、

上記の対応にて解決しない場合は、起動できない WinActor について、以下の詳細な情報を添えてお問い合わせください。

- 詳細なバージョン（例：v7.4.4）
- インストール資材種別（管理者ユーザー用/標準ユーザー用）
- ご利用環境 OS
- WinActor のインストール先
- 起動の方法（WinActor.exe をダブルクリック/ショートカットをダブルクリック等）
- 起動しようとしているユーザの権限（Admin/一般）
- 発生している事象の具体的な内容等
- （エラーメッセージが表示される場合は、タイミングと正確なメッセージ文言）

4.3 WinActor のアンインストール方法

Q 使用しなくなった WinActor をアンインストールしたいです。方法を教えてください。

A WinActor のアンインストール方法は、インストールに使用したインストーラの資材種別によって異なります。

【はじめに確認してください】

1. アンインストールする WinActor に登録されているライセンスをほかの端末に移管して使用する場合は、アンインストール前に情報ファイルを取得する必要があります。
製品 ID ファイル（移管前製品 ID）を出力し、ライセンスクリアしてからアンインストールを実施してください。
2. 標準ユーザ用 WinActor で、スクリーンセーバー解除機能用仮想キーボードドライバをインストールしている場合は、WinActor のアンインストール前にマニュアルの手順でドライバを削除してください。

詳細は以下マニュアルをご確認ください。

インストールマニュアル

└ 1.5 スクリーンセーバー解除機能用仮想キーボードドライバ

└└ 1.5.2 ドライバアンインストール

└└└ ■ 標準ユーザでのドライバアンインストール

【WinActor のアンインストール方法】

➤ 管理者ユーザ用の場合

「プログラムと機能」(「アプリと機能」)からアンインストールしてください。

※実施後にインストールフォルダ(例：WinActor7)が残っている場合は手動で削除してください。

➤ 標準ユーザ用の場合

インストールフォルダを手動で削除してください。

参考)

開発元 NTT アドバンステクノロジー FAQ

「使用したインストーラの確認とアンインストール方法を教えてください。」

https://faq.winactor.biz/winactor_jp/faq.asp?faqno=JPN00410

4.4 WinActor が起動しない：正しくインストールされていない可能性があります

Q 以下のようなエラーメッセージが表示され、WinActor が起動しません。解決方法を教えてください。

「正しくインストールされていない可能性があります。再インストールをお試しください」

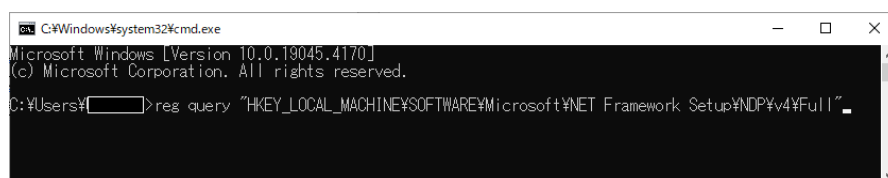
A 当該エラーが表示されて WinActor が起動できない場合は、以下を確認してください。

➤ 「.NET Framework」のバージョンは 4.8 以上であること

バージョン確認方法

1. コマンドプロンプトを起動
2. `reg query "HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Microsoft\NET Framework Setup\NDP\v4\Full"` を入力

図 4.4.1 コマンド実行例

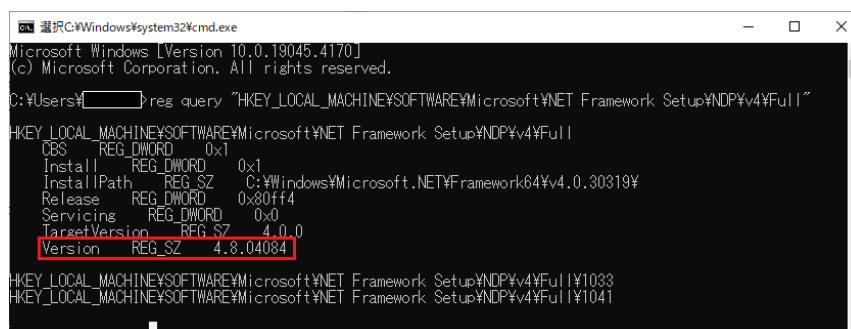


```
C:\Windows\system32\cmd.exe
Microsoft Windows [Version 10.0.19045.4170]
(c) Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Users%>reg query "HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Microsoft\NET Framework Setup\NDP\v4\Full"
```

3. 表示された結果 (Version) を確認
(例 : Version REG_SZ 4.8.03761) ※数値が 4.8 以上かどうかご確認ください。

図 4.4.2 コマンド実行結果例



```
C:\Windows\system32\cmd.exe
Microsoft Windows [Version 10.0.19045.4170]
(c) Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Users%>reg query "HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Microsoft\NET Framework Setup\NDP\v4\Full"

HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Microsoft\NET Framework Setup\NDP\v4\Full
CBS REG_DWORD 0x1
Install REG_DWORD 0x1
InstallPath REG_SZ C:\Windows\Microsoft.NET\Framework64\v4.0.30319\
Release REG_DWORD 0x80ff4
Servicing REG_DWORD 0x0
TargetVersion REG_SZ 4.0.0
Version REG_SZ 4.8.04084
HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Microsoft\NET Framework Setup\NDP\v4\Full\1033
HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Microsoft\NET Framework Setup\NDP\v4\Full\1041
```

※ NET Framework の導入・アップグレード方法はマイクロソフト社の Web ページをご確認ください。

➤ **保留状態の WindowsUpdate が存在しないこと**

WindowsUpdate が適用されずに保留状態となっている場合、本事象が発生する可能性があります。すべての Update を適用後に端末を再起動して、事象が解消されるかを確認してください。

➤ **下記フォルダに対する利用ユーザーアカウントの権限(読み込み・書き込み・実行)不足**

- ・インストールフォルダ (例 : C:¥WinActor7)
- ・ユーザーフォルダ (例 : ユーザのドキュメント¥WinActor¥)
- ・ProgramData 配下 (例 : C:¥ProgramData¥WinActor¥)

各フォルダに対し権限が不足している場合は、利用ユーザーに権限を付与し、WinActor が起動できるかどうかを確認してください。

※不明な場合は、システム管理者様にご相談ください。

➤ **インストールフォルダやドキュメントフォルダが OneDrive と同期、共有されていないか**

OneDrive の同期・共有を一時停止して、WinActor が起動できるかどうかを確認してください。

➤ **インストールフォルダ内にある「WinActor7.exe」上で右クリックし、「管理者として実行」の試行**

上記で起動ができた場合は、「WinActor7.exe」をダブルクリックして起動してください。

4.5 WinActor が起動しない：スプラッシュ画面で停止する

Q スプラッシュ画面（ロゴマーク）が表示されたままになってしまい起動しません。エラーも表示されず、待っても反応がないので×ボタンを押すと、「WinActor を終了しています」と表示されますが、終了できません。

A 前回正常に起動したときからユーザ環境に変更がないかどうかを確認してください。また、端末の状態や WinActor 資材に問題があり事象が発生している場合もあります。

以下を確認してください。

➤ Windows Update を実施後の端末の再起動確認

WindowsUpdate が適用されずに保留状態となっている場合、本事象が発生する可能性があります。保留状態の WindowsUpdate が存在する場合は、すべて適用し、端末を再起動して保留状態のものがなくなることを確認したあとに、事象が解消されるかどうかを確認してください。

➤ WinActor の動作がブロック(抑止)されていないかの確認

ポリシーまたはセキュリティソフト（ウイルス対策ソフト、自動暗号化ソフト、挙動監視系ソフト など）により WinActor の動作がブロック(抑止)されている可能性があります。ブロックされている場合は、WinActor の処理に関連するファイルやフォルダを監視対象から除外してください。除外設定やホワイトリストには、以下のファイル・フォルダを登録してください。

※不明な場合は、システム管理者様に確認してください。

<登録対象ファイル および フォルダ>

- ・WinActor のインストールフォルダ(例：
C:¥Users¥XXX¥Desktop¥WinActor7)
- ・ユーザーフォルダ（例：ドキュメント¥WinActor)
- ・ProgramData 配下（例：C:¥ProgramData¥WinActor)
- ・シナリオ実行に関するアプリケーション、ファイルの保存フォルダ

参考)

開発元 NTT アドバンステクノロジー FAQ

「セキュリティソフトの WinActor への影響について」

https://faq.winactor.biz/winactor_jp/faq.asp?faqno=JPN00077

➤ **WinActor の実行ファイル (WinActor7.exe) の場所の確認**

インストールされた v7.0.0 以降の WinActor は、インストールフォルダ (「WinActor7」フォルダ) の中に実行ファイル (WinActor7.exe) および WinActor が使用するファイルが格納されますが、インストール後に WinActor7.exe ファイルの移動や WinActor フォルダの削除等を実施した場合、WinActor は起動できません。WinActor7.exe が移動している場合は、もとの場所に戻してください。もとの場所に戻しても事象が解消しない場合は、既存フォルダに上書きする形で、再インストールを行ってください。

【注意】

誤って、異なる資材種別のインストーラを使用した場合、ライセンスが無効になるおそれがあります。再インストールをする際は必ず、既存の WinActor と同じ資材種別のインストーラを使用してください。

4.6 WinActor のサイレントインストール

Q 複数の端末に一括で WinActor のセットアップを行いたいのですが、サイレントインストールはできますか。

A WinActor は、サイレントインストール や サイレントバージョンアップ はできません。利用したいバージョン・資材種別のインストーラを用意して、手動で 1 台ずつインストールを行ってください。

v7.3.0 以降の WinActor がインストールされている端末ではオンライン更新によるバージョンアップも可能です。

それぞれの端末でバージョンアップ (上書きインストール) を行ってください。

4.7 WinActor をインストールする際の禁止事項

- Q** WinActor のインストールにあたって、特に注意すべき点がありますか。
- A** WinActor は初回起動時に、ご利用いただく端末やユーザ情報に基づく製品情報を作成し、以降の起動時には、同情報を使用してライセンス認証を行います。
NL 版／FL 版ともに、インストール済みの WinActor フォルダを別の端末にコピーした場合、ライセンスを正しく利用できないおそれがありますのでフォルダコピーはしないでください。

また、アンインストール済みの場合も、端末に保持された情報が影響するおそれがありますので、以下を使用するの別環境の作成（コピーやバックアップの復元）は行わないでください。

- ・WinActor 製品をインストールした仮想端末(VM)のクローン
- ・WinActor 製品をインストールした端末のディスクイメージ（物理・仮想ともに）

4.8 トライアルを行う際のインストーラ

- Q** WinActor のトライアルをしたいのですが、管理者ユーザ用インストーラと標準ユーザ用インストーラのどちらを使えばよいのでしょうか。

また、トライアル終了後、製品版に切り替える場合はどうしたらよいのでしょうか。

- A** WinActor の管理者ユーザ用インストーラは、管理者権限で実行する必要がありますが、クライアント OS にインストールした場合、複数ユーザでのライセンス利用が可能です。

基本的に、管理者権限でインストールすることができる場合は管理者ユーザ用インストーラを使用してください。

※標準ユーザ用インストーラを使用した場合、クライアント OS であっても複数ユーザでのライセンス利用はできません。

なお、WinActor は登録したライセンスファイルの内容に準じて動作しますので、インストーラには 評価版／製品版 や フル機能版／実行版 の区別はありません。

トライアル時にインストールし評価版として利用した WinActor に対して製品ライセンスを登録すればそのまま製品版として利用することができます。

再インストールの必要はありませんので、導入予定の資材種別のインストーラを使用して、トライアルを行ってください。

4.9 ユーザを切り替えるとオプションが設定されていない

Q 管理者ユーザ用の WinActor を利用している端末で、ユーザ A からログオフして、新規ユーザ B でログインをして v7.0.0 以降の WinActor を起動すると、ライセンスサーバやオプションの設定がされていません。

A v7.0.0 以降の WinActor のサーバ接続情報やオプション設定は、起動するユーザーアカウント毎に保存されます。
別ユーザで設定された同情報は、新規ユーザの初回起動時には反映されませんので、ユーザーアカウント毎に設定を行う必要があります。

4.10 評価版 WinActor の複数台インストール

Q 評価版 WinActor は複数台にインストールしてしても問題ありませんか。

A 問題ございません。評価版 WinActor は複数台にインストール可能となります。

4.11 シナリオファイルをダブルクリックしても WinActor が起動せず、シナリオが実行できない

Q シナリオファイルをダブルクリックしても、WinActor が起動しなくなりました。代わりに「このファイルを開く方法を選んでください」というメッセージが表示されます。
(シナリオファイルのアイコンの表示が変わりました。)

A シナリオファイルの関連付けがなくなっています。
シナリオファイルを右クリックし、「プログラムから開く」>「別のプログラムを選択」を選択してください。
その後、「常にこのアプリを使って.ums を開く」のチェックを ON に設定し、アプリ (WinActor) を選択してください。

4.12 シナリオを作成した WinActor と実行環境の WinActor のバージョンが異なる場合に表示されるポップアップの対処方法

- Q** v7.0.0 以降でシナリオ作成 PC の WinActor バージョンより実行 PC の WinActor のバージョンが古い場合、シナリオ実行時に注意喚起のポップアップが表示され、タスクスケジューラなどで起動させた場合にシナリオが自動実行できません。対処方法を教えてください。
- A** シナリオ作成環境及び実行環境の WinActor のバージョンを統一するとポップアップは表示されません。バージョンの統一が難しい場合は、実行環境の WinActor で当該のシナリオを開き、再度保存することでポップアップの表示を回避することができます。

4.13 仮想・クラウドで利用する場合の事前検証

- Q** WinActor を仮想環境・クラウド環境に導入する際に行う事前検証のポイントを教えてください。
- A** WinActor 製品（ノードロック版 WinActor・フローティングライセンス管理サーバ WinActorFLA）はノードロック認証を行っているため、仮想端末で WinActor を利用する場合、仮想端末を構築している仮想化基盤（物理サーバ）を固定する必要があります。

導入前に WinActor 製品の評価ライセンスを利用し、利用予定の環境に対して以下を実施した場合の動作について検証してください。

検証内容

1. 仮想マシンの再起動
 2. ログインユーザアカウントのログオフ・ログイン
 3. 翌日/翌週に再度、仮想マシンの再起動 および ログインユーザアカウントのログオフ・ログイン
- ※ その他、本番運用を想定し、任意の方法で動作検証を行ってください。
また、ライブマイグレーションが設定されている場合、利用ユーザが意図せずに仮想化基盤（物理サーバ）が変更されることがあります。
・ライブマイグレーションの設定有無

- ・設定されている条件（例：保守メンテナンス時、3ヶ月毎 等）について確認してください。

また、WinActor 製品の動作およびライセンス認証について、以下の観点で確認を行ってください。

【ノードロック版 WinActor】

1. WinActor がエラー等問題なく起動すること
 2. WinActor の起動時に「PC 情報が変更されました。新しいライセンスを登録してください」が出力されないこと
- ※ 本番運用において「PC 情報が変更されました。～」が表示された場合、ライセンスが認証されず、ライセンス移管をして新しいライセンスを適用する必要があります。

【フローティングライセンス管理サーバ WinActorFLA】

1. FLA サービスが問題なく動作すること
 2. FLA サーバのブラウザからライセンス情報画面にアクセスして表示される「端末情報」（端末情報コード）が FLA サーバの再起動、ログイン・ログオフ等を行った際に変動しないこと
- ※ 本番運用において「端末情報」が変動した場合、FLA の製品ライセンスが認証されなくなり、すべての WinActor フローティングライセンスの利用ができなくなります。この場合、販売店から FLA 移管申請を行い、ライセンスを再発行して適用する必要がありますが、対応に時間がかかる場合があります。即日対応のお約束はできません。

なお、仮想・クラウド環境でのご利用に際しては、以下 FAQ もご確認ください。

4.17_仮想クラウド環境での利用

4.14 WinActor が起動しない：ユーザによって使用できない

Q 管理者ユーザ用インストーラを使用してインストールした WinActor が、一般権限ユーザでは以下エラーが表示されて起動できません。

「WinActor の起動に必要なアクセス権の設定が不足しています。
ファイルまたはフォルダのアクセス権の設定見直し後に再起動してください。
原因：パスへのアクセスは拒否されました。」

A WinActor を起動するためには、下記フォルダに対する読み込み・書き込み・実行ができる権限が必要です。

- インストールフォルダ（例：C:¥WinActor7¥）
- ユーザーフォルダ（例：ドキュメント¥WinActor¥）
→WinActor フォルダ配下の各フォルダへの権限もご確認ください
- ProgramData 配下（例：C:¥ProgramData¥WinActor¥）

当該エラーは、WinActor を利用するユーザーアカウントの、ドキュメント配下へのアクセスが制限されている場合に出力されます。

ドキュメント配下にアクセス可能な権限（読み込み・書き込み・実行）が付与されていることを確認し、権限が付与されていない場合は、権限付与後に、WinActor が起動できるかどうかを確認してください。

※不明な場合は、システム管理者様にご相談ください。

なお、一般権限アカウントに対し、ドキュメント配下にアクセス可能な権限(読み込み・書き込み・実行)を付与できない場合は、管理者権限アカウントでの運用をご検討ください。現行の WinActor（v7.0.0 以降）では、ドキュメント配下へアクセスできない環境やドキュメントフォルダ自体が存在しない環境の場合は当該エラーが発生し、WinActor を起動することができませんのでご了承ください。

参考)

開発元 NTT アドバンステクノロジー FAQ

WinActor が利用するフォルダについて

https://faq.winactor.biz/winactor_jp/faq.asp?faqno=JPN00181

セキュリティソフトの WinActor への影響について

https://faq.winactor.biz/winactor_jp/faq.asp?faqno=JPN00077

4.15 ログオフしてログインすると WinActor が利用できない

- Q** PC からログオフ後、再度ログインをすると、ノードロック版もフローティング版も、WinActor のライセンスが認証されなくなってしまいます。
- A** ユーザのログオフ・ログオンや再起動時などを契機として、ユーザープロフィールやレジストリの情報がリセット（初期化・書き戻しなど）されるような環境では、以下の問題等が発生します。
- ライセンスを利用することができなくなる ※ノードロックライセンス版 WinActor
 - ライセンスサーバへの接続設定が消失する ※フローティングライセンス版 WinActor
 - WinActor の設定（オプション設定など）が消失し、ログオンの都度必要になる

また、VDI 環境において、ユーザがログオフし再度ログオンするたびに前回とは異なる仮想端末（VDI）に接続されるような場合、ノードロックライセンス版の WinActor ではライセンス認証ができません。

ユーザのプロファイル情報やレジストリの情報が端末に固定されており、リセットされない環境でご利用ください。

4.16 起動時メッセージ：「PC 情報が変更されました。新しいライセンスを登録してください。」

Q WinActor を起動したら「PC 情報が変更されました。新しいライセンスを登録してください。」とメッセージが表示されるようになりました。

手元のライセンスファイルを登録すると登録はできるのですが、WinActor を再起動するとまた元の状態に戻ってしまい、ライセンスが認証されません。

A 「PC 情報が変更されました。新しいライセンスを登録してください。」や「PC 情報が更新されました。新しいライセンスを登録してください。」のメッセージは、端末のシステム情報が変更された場合に出力されるエラーです。以下が原因で発生している可能性がありますので確認してください。

- **WindowsUpdate が保留状態の場合**

WindowsUpdate が適用されずに保留状態となっている場合、本事象が発生する可能性があります。

保留状態の WindowsUpdate が存在した場合は、すべての

WindowsUpdate を適用し、適用後、PC を再起動して保留状態のものがないことを確認したあとに WinActor が正常に起動するかどうかを確認してください。

解消しない場合は、ライセンス移管（再発行）の手続きが必要です。

- **仮想環境で利用している場合**

WinActor を仮想環境にてご利用の場合、以下が発生原因となっている可能性があります。利用環境の詳細について、不明な場合はシステム管理者にご確認ください。

- ・ 対象仮想サーバが構築されている仮想基盤（物理サーバ）が他の仮想基盤（物理サーバ）へ移動した場合

→元の物理サーバに戻して事象が解消されるか確認してください。

- ・ 対象仮想サーバまたは物理サーバ（仮想基盤サーバ）の構成変更(プロセッサの増設など)を実施した場合

→構成を元に戻して事象が解消されるか確認してください。

いずれも、変更後の端末で利用する場合は、ライセンス移管（再発行）の手続きが必要です。

- **端末のスバックアップを実施した場合**

変更後の端末で利用する場合は、ライセンス移管（再発行）の手続きが必要です。

ライセンス移管手順

PCを再起動して保留状態のWindowsUpdateがないことを確認後、以下を実施してください。

1. 当メッセージ（PC情報が更新されました。～）が出力されるWinActorを起動
2. 製品IDファイル（★移管前製品ID）を出力
3. ライセンスクリアを実施（★ライセンスクリア証明書）
※オンライン移管の場合は、ライセンスクリアをサーバに通知するか選択する画面にて「はい」を選択してください。
4. WinActorを再起動
5. 製品IDファイル（★移管後製品ID）を出力し、上記2. のファイル名と英数字8桁部分が異なる事を確認
6. ライセンス移管手続き
※フォームでの手続きの場合は、上記3点のファイル★を使用して移管申請をしてください。
※オンライン移管の場合は、ライセンス登録（新規発行）をしてください。

4.17 仮想・クラウド環境での利用

Q 仮想環境に WinActor を導入して利用することはできますか。注意点があれば教えてください。

A 仮想環境（クラウドサービスやシンクライアント環境を含む）の場合も、動作環境の条件を満たしていれば WinActor の利用は可能です。

WinActor v7（v7.0.0 以降）の動作環境については以下をご確認ください。

開発元 NTT アドバンステクノロジー WinActor 動作環境

<https://winactor.biz/product/winactor-requirements.html>

- ※ 動作環境の「ソフトウェア環境条件（必須）」を満たさない環境では、エラーメッセージが出力されるなど、WinActor が正常に動作しません。「ソフトウェア環境条件（必須）」を満たした環境でご利用ください。

【注意事項】

ノードロックライセンス版 WinActor のライセンス情報は端末のハードウェア情報* に紐づけて保持されるため、仮想マシンのログオフ・ログオンや再起動時などを契機としてハードウェア情報が変動する環境ではライセンス認証に失敗し、WinActor が利用できなくなる可能性があります。

*）仮想端末および仮想端末が構築されている仮想基盤物理サーバのハードウェア情報

- ※ フローティングライセンス版 WinActor では上記問題は発生しませんので、フローティングライセンス版のご利用をご検討ください。
ただし、フローティングライセンスの管理サーバ(WinActorFLA) はノードロック方式を採用しているため、上記問題と同様、サーバのハードウェア情報が変動する環境ではライセンス認証に失敗し、接続するすべての WinActor が利用できなくなるおそれがあります。
クラウド上でフローティングライセンスの管理ができる製品もありますのでご検討ください。

参考)

開発元 NTT アドバンステクノロジー 製品サイト

「WinActor Manager on Cloud の製品紹介」

<https://winactor.biz/product/manageroncloud.html>

開発元 NTT アドバンステクノロジー FAQ

「仮想マシンで WinActor は利用できますか？」

https://faq.winactor.biz/winactor_jp/faq.asp?faqno=JPN00005

「クラウドサービスでの WinActor 関連製品の利用について」

https://faq.winactor.biz/winactor_jp/faq.asp?faqno=JPN00180

※ 一部のクラウドサービスについては対応済みである旨の記載がありますが、クラウドサービスは随時仕様変更があるため、事前に動作検証をお願いします。

また、仮想・クラウドで利用する場合の事前検証については、以下をご確認ください。

4.13_仮想・クラウドで利用する場合の事前検証

4.18 サーバ OS での WinActor 動作

Q サーバ OS の動作環境を教えてください。

A Microsoft Windows Server 2016, Microsoft Windows Server 2019, Microsoft Windows Server 2022 に対応しています。

公式サイトでの動作環境をご参照ください。

開発元 NTT アドバンステクノロジー WinActor 動作環境

<https://winactor.biz/product/winactor-requirements.html>

4.19 リモートデスクトップで接続先のアプリケーションを操作する方法

Q WinActor で、リモートデスクトップ画面を介してリモート先の端末のアプリを操作することは可能ですか。

A 操作は可能ですが、推奨はいたしません。

リモートデスクトップ接続先で表示される画面は、画像情報であるため、アプリケーションとしては認識できません。そのため、IE 関連、Excel 関連等のライブラリは使用できず、「エミュレーション」、「画像マッチング」のみでの操作となり、シナリオ作成が非常に難しくなります。

4.20 PC のディスプレイの電源 OFF 時のシナリオ実行可否

Q PC のディスプレイのみ電源を消した状態でシナリオを実行することは可能ですか。

A PC のディスプレイのみ電源を消した状態でも、スクリーンセーバーやスリープモードにならない場合はシナリオ実行可能です。

4.21 PC を機種変更した場合の既存シナリオの動作

Q OS のバージョン、Office のバージョンは同じであっても、PC を機種変更した場合は、シナリオの調整が必要になりますか。

A PC の機種変更後、画面サイズや解像度などが異なる場合は、「画像マッチング」、メモリや CPU など、端末の処理速度が変わる場合は、「指定時間待機」などを調整する必要があります。

4.22 WinActor のバージョンアップ後の既存シナリオの利用可否

Q WinActor のバージョンアップがあった場合、これまでに作成したシナリオはそのまま使えますか。

A WinActor のバージョンアップ後でも、旧バージョンで作成されたシナリオは利用可能です。

※ただし、シナリオの動作速度の変更（改善）等により、シナリオに微修正が必要になる可能性もあります。

4.23 WinActor 実行中の Windows Update の影響

Q WinActor 実行中に Windows Update が走行した場合、何か影響はありますか。

A Windows Update 中は PC の動作が重くなるため、待機時間が不足してエラーになる可能性があります。

また、再起動を促すダイアログの表示により、画像マッチングの失敗やシナリオの誤動作のリスクも考えられます。

さらに、定期的に端末再起動が行われる場合もあるため、それによる実行中断の可能性もあります。

4.24 Windows Update の更新プログラムのシナリオへの影響

Q Windows Update での更新プログラムによるシナリオへの影響にはどういったものがありますか。

A 通常のシステムコンポーネントのバグ修正やセキュリティホール修正に係るアップデートであれば、シナリオ動作が影響を受けることはありません。

アップグレードの場合は、それによって画面レイアウトや表示情報が変わることがあれば、画像マッチング等に影響する可能性があります。

4.25 シナリオ実行中に端末フリーズ状態になった時の状態検知の可否

Q WinActor の実行中に端末がフリーズ状態になったことを検知する方法はありますか。

A 端末のフリーズ状態を検知する機能はありません。

操作対象のアプリケーションがフリーズした場合は、シナリオでエラーが発生する可能性が高いため、例外処理で検知することが可能です。しかし、必ずしもフリーズが直接的な原因であると特定できるわけではありません。

※WinActor もフリーズしてしまった場合には、例外処理にて検知することもできません。

4.26 シナリオ作成とシナリオ実行の PC の OS のバージョンが異なる場合の動作

Q WinActor のシナリオ作成 PC とシナリオ実行 PC の OS バージョンが異なる場合でも WinActor は正常に動作しますか。

A シナリオ内で画像マッチング等の操作を行う処理がある場合は、OS ごとの解像度の違いや使用アプリケーションのバージョンによって、正常に動作しない場合があります。

その場合はシナリオの調整が必要となります。

詳しくは以下の Q&A を参考にしてください。

■ 参考 Q&A

4.27「シナリオ作成とシナリオ実行を別々の端末で行う場合の注意点」

5.6「WinActor の動作対象アプリケーション（Office 等）がバージョンアップした際の既存シナリオの動作」

4.27 シナリオ作成とシナリオ実行を別々の端末で行う場合の注意点

Q WinActor のシナリオ作成と実行を異なる端末で行う場合の留意点を教えてください。

A シナリオ作成と実行を異なる端末で行う場合の留意点を以下に記載します。

- シナリオを作成する端末と実行端末の画面の拡大率を揃えてください。
- シナリオを作成する端末と実行端末の解像度をできるだけ揃えてください。
- アプリケーションのバージョンの違いなどで、フォントや背景の色、ボタンの形状などが微妙に変化する場合があります。不変な箇所をマッチング対象にしてください。
- ウィンドウサイズの差異によってマッチング対象の画像が画面外になってしまう場合があります。ライブラリ「ウィンドウの表示変更」で最大化を行うなどの調整をしてください。

ライブラリ

└「11_ウィンドウ関連」

└└「ウィンドウの表示変更」

4.28 ノート PC を閉じた状態でのシナリオ実行可否

Q ノート PC を閉じた状態でシナリオを実行することはできますか。

A 閉じた状態でもスクリーンセーバーやスリープモードにならない場合はシナリオ実行可能です。

4.29 OSによる処理速度の違い

Q WinActorの動作OSはWindows10、11とありますが、OSによって処理速度の違いはありますか。

A お客様の環境や利用状況により、処理速度が変動する場合があります。

- ご使用中のPC環境（CPUやメモリの使用率など）
- セキュリティソフト設定状況
- 対象ブラウザ
- 対象となる業務アプリケーション
など

4.30 OSの64bitと32bitの差異

Q WinActorの動作で、同じバージョンのOSでも、64bitと32bitで差が出ることはありますか。

A 64bit版と32bit版とで動作の差はありません。

5 機能・制約に関する質問

5.1 日本語以外への対応の有無

Q WinActor の海外拠点での使用を考えた場合、多言語対応はしているのでしょうか。

A 英語版ライブラリ、英語版マニュアルを提供しています。

海外拠点でご利用いただく際に、よりスムーズにシナリオ作成を進めることができます。

5.2 利用中の WinActor の資材種別を確認する方法

Q WinActor のバージョンアップをしたいのですが、今使用している WinActor の資材種別がわかりません。どのように確認したらよいですか。

A 端末にインストール済みの WinActor の資材種別は、以下の方法で確認できます。

➤ **v7.4.X 以降の場合**

WinActor の「問い合わせ用情報収集」機能より、インストール資材の種類とインストールフォルダのパスを確認できます。

WinActor を起動し、[ヘルプ] → [問い合わせ用情報収集] より「問合わせ用情報収集」画面を表示させ、「WinActor 情報」右横の虫眼鏡マークを押下すると情報が表示されます。

・02 Installer Type が「Administrator」：管理者ユーザ用

・02 Installer Type が「Standard User」：標準ユーザ用

➤ **v7.3.X 以降の場合**

標準ユーザ用の WinActor では「ようこそ」画面及び「バージョン情報」画面に「標準ユーザ用」と表示されます。

※管理者ユーザ用の場合は、バージョン番号のみが表示されます。

➤ **上記以外の場合**

インストールフォルダの中身から判断します。

「WinActor7.exe」があるフォルダへの対象ファイルの有無により判別します。

・「unins000.exe」がある：管理者ユーザ用

・「unins000.exe」がない：標準ユーザ用

【注意】

端末内に複数の WinActor をインストールしている場合や、過去に異なる資材種別のインストーラを使用してインストールしている場合は、上記と異なる場合があります。不明な場合はバージョンアップ等を実施する前にお問い合わせください。

5.3 オンライン更新に失敗する

Q WinActor メニューの「更新を確認」をクリックしても、画面右下のベルマークが白いまま、更新なしの状態になっていて、ベルマークをクリックすると「通知はありません」と表示されます。更新対象の WinActor バージョンがあるはずなのですが、なぜでしょうか。

A 以下を確認してください。

➤ **更新設定**

WinActor メニュー「ツール」→「オプション」→「更新」タブの設定を確認してください。

「WinActor」の更新方針が「更新しない」となっている場合は、「手動更新」や「自動更新」に変更し、再度「更新を確認」を実行してください。

➤ **通信環境および設定**

「更新を確認」の機能では WinActor (winactor.biz) サイトにアクセスします。通信環境や状態に問題が発生していないか確認してください。

プロキシサーバを利用する場合は、「ツール」→「オプション」→「プロキシサーバ」タブの「プロキシサーバを利用する」にチェックをして、以降の接続設定をしてください。

◇ 具体的な設定内容についてはシステム管理者様に確認してください。

詳細は以下マニュアルをご確認ください。

操作マニュアル

 L3.14 オプション画面

 L■ プロキシサーバタブ

5.4 バージョンアップに失敗した

- Q** WinActor のバージョンアップ作業中、インストーラの実行中に途中でエラーメッセージが表示されたので、キャンセルし中止したところ、WinActor が起動しなくなっていました。
- A** インストールが中断し、資材が不足して起動できない状態と考えられます。再度インストーラを実行し、インストールを行ってください。
- 実行中にエラーメッセージが表示された場合は、メッセージの内容に従って、対応後に再度インストールを実行してください。
問題が解消しない場合は、表示されたメッセージのキャプチャを取得し、使用したインストール資材名・バージョン等の詳細な情報を添えてお問い合わせください。
 - オンライン更新の場合は、更新を実施したユーザの「ドキュメント」配下の「WinActor」フォルダ 内 (> download> yyyyymmdd) にダウンロードされた以下の更新プログラムを使用してください。
 - ◇ 【管理者ユーザ用】インストーラ
 - ・WinActor_vXXX_i_expire_YYYYMMDD_30days.zip
 - ・WinActorSetup.exe
 - ◇ 【標準ユーザ用】インストーラ
 - ・WinActor_vXXX_inp_expire_YYYYMMDD_30days.zip
 - ・WinActorSetup_NoPrivileges.exe

上記場所にインストーラがない場合や、オンライン更新でダウンロードされない場合は、購入元の販売店に連絡のうえ、インストーラを入手してください。

<付記>

WinActor に登録済みのライセンスは端末に情報が保持されていますので、既存の WinActor をアンインストールした場合も、既存 WinActor と同じ資材種別（管理者ユーザ用／標準ユーザ用）のインストーラを使用して再インストールした WinActor では、ライセンスの再登録は必要ありません。
また、オンライン更新では、ご利用の WinActor と同じ資材種別のインストーラがダウンロードされます。

5.5 バージョンアップ前の WinActor でシナリオ実行ができるか

Q バージョンアップ後の WinActor で作成したシナリオはバージョンアップ前の WinActor で動作させることができますか。

A v7.X.X 以降で作成したシナリオは、v6.X.X やそれ以前の WinActor では使用できません。

v7.X.X で作成したシナリオの拡張子は「.ums7」となり、v6.X.X で作成したシナリオの拡張子は「.ums6」となります。

拡張子が「.ums7」のシナリオは v6.X.X では開くことができません。

また、v7.X.X 同士でバージョンアップした場合であっても、新バージョンで追加された機能を含んだシナリオを作成した場合には、下位バージョンで動作させることができないことがあります。

5.6 WinActor の動作対象アプリケーション（Office 等）がバージョンアップした際の既存シナリオの動作

Q Office 等、WinActor の動作対象アプリケーションがバージョンアップした場合、作成済みのシナリオはそのまま使えますか。

A バージョンアップに伴う Office 製品のマクロ関数の変更やアイコンの変更によって、「画像マッチング」や「エミュレーション」の調整が必要になる場合があります。

5.7 Office365 の自動化可否

Q Office365 は WinActor で操作可能ですか。

A 現時点において、Office365 は WinActor の正式な対応ソフトウェアではないため、ご利用に際しては動作確認のほどお願いいたします。

● デスクトップ版

基本的に操作可能ですが、Office365 は WinActor の一部のライブラリが正常に動作しないことがあります。十分に動作の確認を行ってください。

● Web 版

ノード「画像マッチング」、エミュレーションにて操作可能です。Office のサポートに関する詳しい説明は下記を参照してください。

開発元 NTT アドバンステクノロジー FAQ

「Microsoft 365（旧 Office 365）に対応していますか」

https://faq.winactor.biz/winactor_jp/faq.asp?faqno=JPN00197&sugtype=0&logid=886239676

5.8 Java アプレットの画面操作

Q Java アプレットの操作はできますか。

A Java アプレットは操作できます。

ライブラリ「24_Java 関連」配下のライブラリで Java の Swing パッケージクラスで実装された Java アプレット上の要素を操作できます。

AWT パッケージのクラスで実装された要素は、Java ライブラリでの操作はできません。画像マッチングやエミュレーションなどをご利用ください。

マニュアル

L「Java アプリケーション操作シナリオ作成マニュアル」

ライブラリ

L「24_Java 関連」

5.9 自動アップデート機能

Q WinActor 本体や、ブラウザ操作で使う Webdriver、ユーザライブラリなどが更新されたときに、自動でアップデートする機能はありますか。

A オンラインアップデート機能がございます。詳細は以下マニュアルをご確認ください

操作マニュアル

L3. WinActor の画面

L3.2 メニューバー

L3.2.4 ヘルプメニュー

L ■ 更新を確認

※オンラインアップデート機能をご利用いただく場合、端末がインターネットに接続されている必要があります。

※オンラインアップデート機能は v7.3.0 以降を利用している場合のみ使用できます。

6 その他の機能に関する質問

6.1 フローチャートへのコメント記述可否

- Q** フローチャートにコメントを記述することはできますか。
- A** フローチャート上の余白の任意の位置で右クリックし、「付箋追加」を選択してください。

6.2 フローチャート内のアクションやグループの背景色を変更する方法

- Q** フローチャート内の、アクションやグループの背景色を変更する方法を教えてください。
- A** フローチャート内の、アクションやグループの背景色は変更できません。

6.3 シナリオのフローチャートをドキュメント等で出力する手順

- Q** 作成したシナリオのフローチャートを画像出力する機能はありますが、テキスト形式等のドキュメント等で出力することは可能ですか。
- A** フローチャートを画像出力する機能のほかには、「ノードの名前・コメント」や「分岐・繰り返し条件式」などを csv としてエクスポートすることができます。操作手順は以下のマニュアルをご参照ください。
- ※WinActor のバージョンによってエクスポートできる情報の種類、数が異なります。

操作マニュアル

└3.2.1 ファイルメニュー

└┬エクスポート┬名前・コメント (csv) /エクスポート┬条件式設定 (csv)

6.4 Chrome モードの拡張機能「WinActor Chrome Agent」のインストールについて

- Q** 「Chrome 拡張機能インストールマニュアル」の手順に従い、Chrome モードを使用するための「WinActor Chrome Agent」をインストールしようとしたところ、インストール画面に進みますが、Chrome ブラウザ DL 画面がポップアップされ、インストールすることができませんでした。
- A** Chrome 以外のブラウザでインストール画面を開いている可能性があります。この場合は、URL をコピーしていただき、Chrome 上で該当の URL を開いてから Chrome 拡張機能のインストールをしてください。

6.5 自動記録アクションの詳細設定（frame index、tag index、instance の値）

- Q** 自動記録アクション「文字列設定（IE）」の詳細設定「frame index」や「tag index」、「クリック（WIN32）」の「instance」の値は、どのようにして付番されますか？
- A** 「frame index」や「tag index」、「instance」の値は、WinActor が画面内の各要素に通し番号を付ける仕様になっています。

6.6 イベントモードで操作の記録が実施できない場合の対処方法

- Q** 操作記録を実施するにあたり、対象ウィンドウを選択したところイベントモードがデフォルトで選択されたため、そのまま記録開始してボタン操作を行いましたが、操作が記録されません。
- A** イベントモードによる記録は、Windows OS 上の信号(イベント)を監視することで操作を検出しているため、記録できるアプリケーションは信号を発するもの(Windows 純正ライブラリで開発されたアプリケーション)に限られます。自動記録ができない場合は画像マッチングまたはエミュレーションをご利用ください。

6.7 Chrome モードで記録できるサイトの基準

Q Chrome モードで記録できるサイトと、そうでないサイトがありますが、この違いはどのような基準によるものですか。

A サイトの構成（作り）によるもので、明確な違い（基準）については確認できておりません。

Chrome モードの操作自動記録可否を確認するには、一度記録をお試しいただく必要があります。

また、ローカルにある html ファイル等を操作対象とする場合、WinActor Chrome 拡張機能の設定がされているか確認してください。

確認方法については「Chrome 拡張機能インストールマニュアル」を参照してください。

6.8 ブラウザ起動時のプロキシ設定方法

Q ライブラリ「ブラウザ起動（プロキシ設定）」のブラウザ種類に Edge や FireFox が含まれていません。プロキシを設定してそれらのブラウザを起動するライブラリはありますか。

A プロキシを設定して Chrome 以外のブラウザを起動するライブラリはありません。

プロキシ認証が必要な（Chrome 以外の）ブラウザを使用したい場合は、例えばライブラリ「ブラウザ起動」および「ページ表示」を使用して Edge または Firefox を起動した後で、エミュレーション（Ctrl+V）によるユーザ ID・パスワードを入力する、ノード「画像マッチング」によるボタンクリック操作を行う、などの方法が考えられますので、ご検討ください。

6.9 WinActor 実行ログのファイル出力方法

Q WinActor の実行ログをファイルに出力することは可能でしょうか。

A 可能です。

メイン画面の「ツール」→「オプション」→「ログ」のタブから「実行ログを常に出力する」にチェックを入れることで、ログを自動的に外部ファイルに出力することが出来ます。

図 6.9.1 ツールメニュー画面

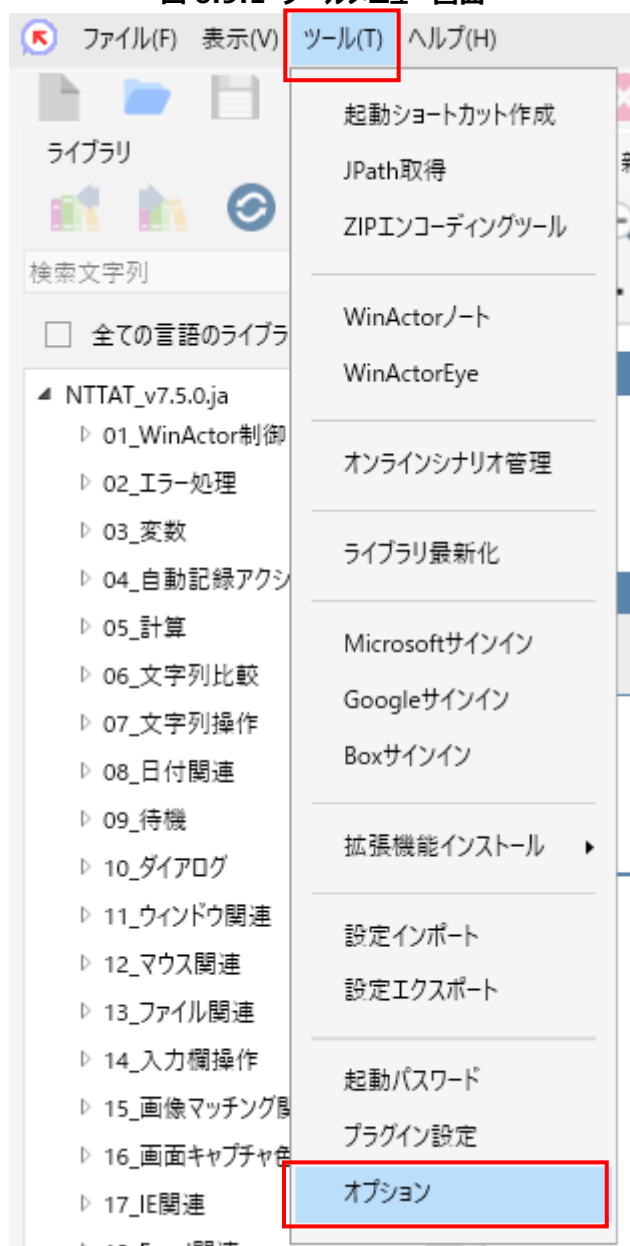
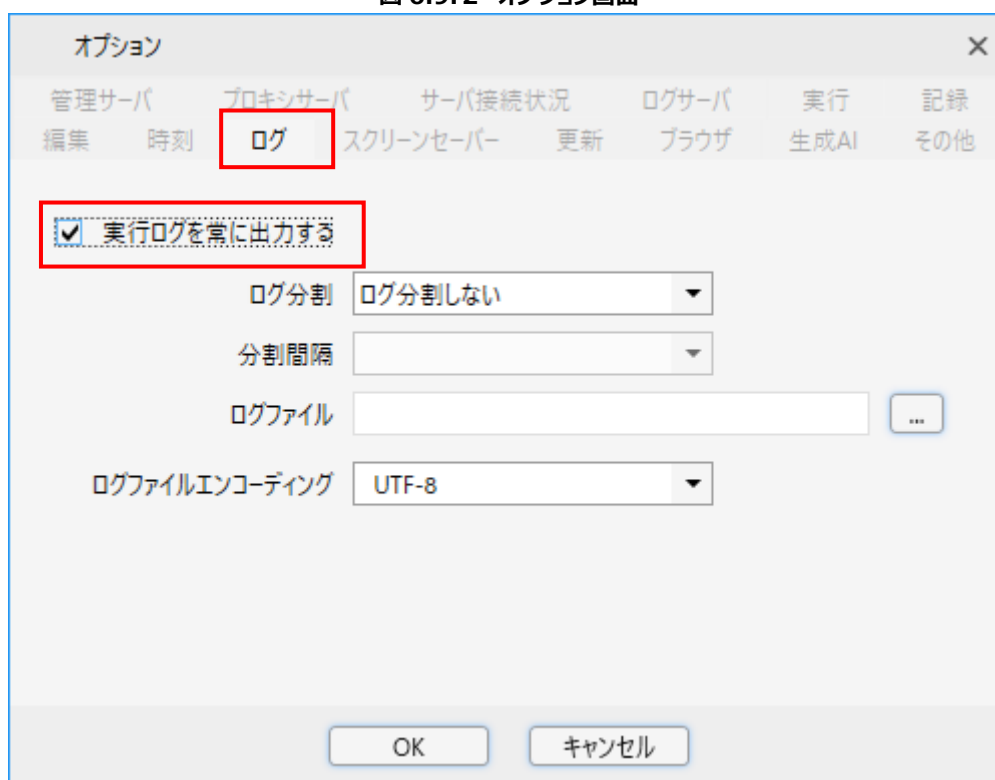


図 6.9.2 オプション画面



6.10 ノード「インプットボックス」「選択ボックス」等の選択内容をログに出力する方法

- Q** WinActor のノード「インプットボックス」「選択ボックス」等で、何を選択したかをログに出力することはできますか。
- A** 以下のライブラリで選択した結果を格納する変数の値など任意のメッセージを実行ログに出力することが可能です。

ライブラリ

└「01_WinActor 制御」

└└「08_実行ログ」

└└└「ログメッセージ出力」

ノード「インプットボックス」「選択ボックス」等は入力結果を変数に格納することができますので、「ログメッセージ出力」と組み合わせることで入力結果をログに出力することができます。

6.11 WinActor マニュアルの入手方法

Q WinActor のマニュアルは配布されていますか。

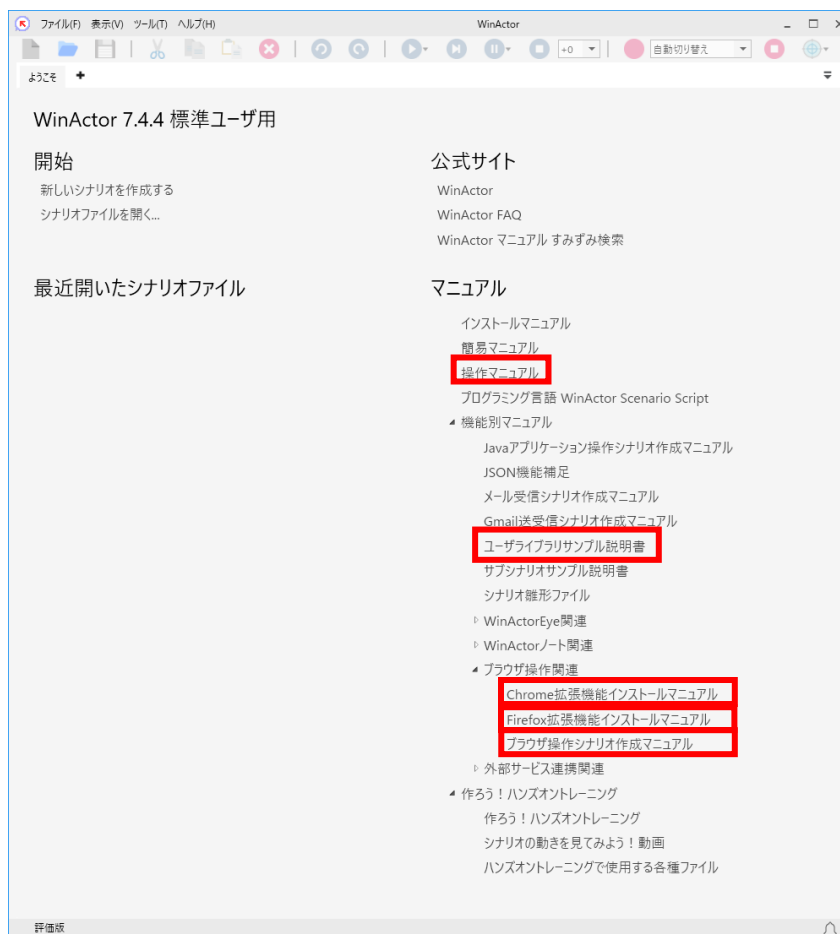
A WinActor のアプリケーションインストール時に操作マニュアルなど基本的な資料も一緒に端末にインストールされます。

WinActor アプリ起動後に表示される「ようこそ」の画面から各マニュアルを開くことができますので、開発にお役立てください。

特に使用頻度の高いものは以下の通りです。

- 操作マニュアル
- 機能別マニュアル
 - ↳ ユーザーライブラリサンプル説明書
- ブラウザ操作関連
 - ↳ Chrome 拡張機能インストールマニュアル
 - ↳ Firefox 拡張機能インストールマニュアル
 - ↳ ブラウザ操作シナリオ作成マニュアル

図 6.11 「ようこそ」画面における特に使用頻度の高いマニュアルの場所



6.12 シナリオ作成についてもっと知りたいとき

Q シナリオの作成方法について無料で利用できるサイトや相談窓口はありますか。

A 以下の Web サイトがおすすめです。

- **ユーザーフォーラム**

<https://uf.winactor.com/questions/>

WinActor ユーザーがお互いの知識やノウハウを交換するコミュニティーサイト

- **NTT アドバンステクノロジー FAQ**

https://faq.winactor.biz/winactor_jp/

WinActor の開発元である NTT アドバンステクノロジーが公開している FAQ

7 ライセンスに関する質問

7.1 ライセンス登録時メッセージ：ライセンス期間外のためライセンスの登録ができません

Q ライセンス登録の際に「ライセンス期間外のためライセンスの登録ができません」と表示され、ライセンス登録ができません。

A オンラインまたはローカルファイルでのライセンス登録実施時に、メッセージ「ライセンス期間外のためライセンスの登録ができません」が表示されライセンス登録できない場合は、当該ライセンスの利用開始日* を迎えているかどうかを確認してください。

*) 新規契約の場合、ライセンスファイルは保守契約開始日以降に登録・利用が可能となります。更新契約の場合は、保守契約開始日以前に、事前の登録・利用が可能です。

<利用開始日以降にエラーが発生する場合の対処方法>

ライセンスの利用開始日以降に「ライセンス期間外のためライセンスの登録ができません」旨のエラーが発生している場合は、端末のシステム日付が異なっている等、端末の状態に起因して発生している可能性があります。

以下を確認のうえ、端末を再起動して再度ライセンス登録をお試しください。

➤ 当該端末の日付および時刻の設定確認

端末の日付が未来日や過去日になっていたり、時間が大きくずれていませんか。ずれている場合は正しい日付・時間を設定してください。

➤ 端末再起動後のライセンスファイルの再登録

再登録後は WinActor を再起動し、製品ライセンスで動作していることを確認してください。

※ご利用端末の環境によって、一度目の再起動ではうまくいかない場合があります。お手数ですが複数回、端末を再起動してお試しください。

※本事象は多数の発生事例がありますが、ローカルファイルでの登録の場合はいずれも複数回の端末再起動を行うことで解消されています。

オンライン登録で事象が解消しない場合は、通信環境に起因し発生している可能性があります。ローカルファイルでのライセンス登録をお試しください。

7.2 端末故障・破損・紛失・返却・廃棄の場合のライセンス移管手続き

Q PC が故障したため、移管前製品 ID・ライセンスクリア証明書が取得できません。新 PC に移管したいのですが対応方法を教えてください。

A ライセンス移管（オンライン／手続きフォーム）を実施する場合は、「ライセンスを利用中の WinActor を【移管前】」、「ライセンスを今後利用する WinActor を【移管後】」として、【移管前】の端末で移管前製品 ID とライセンスクリア証明書を取得する必要があります。

ライセンス移管手順の詳細は以下マニュアルをご確認ください。

インストールマニュアル

L4. ライセンスの移管

L4.1 オンラインでのライセンス移管

L4.2 WinActor ライセンス発行サイトでのライセンス移管

端末の OS が起動しない、誤って WinActor をライセンスクリアせずに端末をリフレッシュした、等やむを得ない事情によりライセンスクリアができず、移管前製品 ID（製品 ID ファイル）がない場合は、手続きフォームからの申請はできません。

ユーザーフォーラムの以下「非公開」フォームからご連絡いただくか、販売店担当者までお問い合わせください。

「お問い合わせ」

-「製品導入後のお問い合わせ」

-「(2) 障害・トラブル対応のお問い合わせはこちら」

【重要】

お問い合わせの際は、以下の情報を添付してください。

- 移管対象ライセンスの保守契約 ID
- ライセンス種別（フル機能版／実行版）
- ライセンスクリアが実施できない理由 または ライセンスクリア証明書ファイル*
- 移管前製品 ID ファイルがない理由
- ある場合）登録していたライセンスファイル* または わかる場合）ライセンスファイル名
- 移管後製品 ID ファイル*
- 新しいライセンスの送付先情報（会社名・お名前・メールアドレス）

*）ファイル名を明記のうえ、【ファイルを添付】してください。

7.3 標準ユーザ用から管理者ユーザ用への資材種別変更

Q WinActor を複数ユーザで利用するために、現在の標準ユーザ用を管理者ユーザ用に変更したいです。正しい手順を教えてください。

A 製品ライセンスで動作中またはライセンスファイルを発行済みの WinActor の資材種別を変更する場合は、ライセンス移管が必要です。
特に、v7.0.0 以降の標準ユーザ用から v7.0.0 以降の管理者ユーザ用へ変更する場合、手順を誤るとライセンス移管に必要な情報が取得できなくなるおそれがあります。以下をよく確認して実施してください。

■■■【注意】■■■

v7.0.0 以降の標準ユーザ用にライセンス登録されている WinActor 端末に対し、管理者ユーザ用インストーラを使用して新規インストール または バージョンアップした場合、登録済みのライセンスが利用できなくなります。

また、ライセンス移管申請に必要な情報が取得できなくなるため、ライセンス再発行・登録まで、WinActor を利用できない期間が発生します。

- 【管理者ユーザ用のインストール前】に、必ず、v7.0.0 以降の標準ユーザ用 WinActor で、移管前製品 ID の出力およびライセンスクリア証明書の取得を実施する必要がありますので注意してください。
- 当該端末のユーザーアカウント毎に、複数の製品ライセンスを登録している場合は、製品ライセンスを利用中のすべてのユーザーアカウントで移管前製品 ID の出力およびライセンスクリア証明書の取得 を実施してください。
(下記手順の 1、2)

【変更手順】

1. 現在ライセンス登録している Windows ユーザーアカウントにて、v7.0.0 以降の標準ユーザー用 WinActor を起動して製品 ID ファイル（★移管前製品 ID）を出力
2. 上記 1 の WinActor にてライセンスクリアを実施（★ライセンスクリア証明書）
※オンライン移管の場合は、ライセンスクリアをサーバに通知するか選択する画面にて「はい」を選択してください。
3. 上記 1 の WinActor をフォルダごと削除
端末内に複数の WinActor が存在していないかを確認し、不要な WinActor は全て削除する
4. v7.0.0 以降の管理者ユーザー用 WinActor を管理者権限でインストール
5. 上記 4 の WinActor を起動して製品 ID ファイル（★移管後製品 ID）を出力
6. ライセンス移管手続き
※フォームでの手続きの場合は、上記 3 点のファイル★を使用して移管申請をしてください。
※オンライン移管の場合は、ライセンス登録（新規発行）をしてください。

7.4 ライセンス発行サイト・オンライン登録の受付時間と所要時間

Q ライセンス申請から発行まで、どのくらい時間がかかりますか。受付は 24 時間 365 日いつでも可能ですか。新規/更新/移管で違いはありますか。

A ライセンス発行までの所要時間は、新規/更新/移管のいずれの場合も同様です。

➤ 手続きフォーム（ライセンス発行サイト）で申請する場合

サイト上で必要事項を登録すると、遷移先画面にてライセンスファイルをダウンロードできます。ただし、申請内容に不備があった場合、発行はできません。表示されたメッセージを確認のうえ、再度申請を行ってください。

➤ オンラインライセンス登録（v7.4.0 以降）をする場合

ライセンスは即時適用されます。ただし、登録内容に不備があった場合、ライセンスは適用されません。表示されたメッセージを確認のうえ、再度登録を行ってください。

※ ライセンスファイルは送付されません。

※ NTT アドバンステクノロジー管理のサーバとの通信が発生します。プロキシ設定等、通信環境をあらかじめご確認ください。

ライセンス発行（ライセンスファイルのダウンロード）の手続きフォーム およびオンラインライセンス登録のライセンスサーバでは、定期的にメンテナンスが行われています。

メンテナンス中に発行・登録に失敗した場合は、時間を置いてリトライしてください。

※ 新規発行/更新発行/移管発行 のいずれの場合も同様です。

メンテナンスの詳細については、公式サイト <https://winactor.biz/> の「トピックス」より、メンテナンスのお知らせを確認してください。

【注意】

マニュアル内に「ライセンスの送付には 1～2 日程度かかる場合があります。」と記載の通り、以下の場合はお時間がかかります。

当日発行および即時発行のお約束はできませんのでご了承ください。

- ・メール等上記以外のライセンス発行（新規/更新/移管）依頼
- ・発行依頼内容に不備があった場合
- ・上記の発行/登録時にエラーが発生した場合の確認

7.5 複数ユーザで利用する場合に必要なライセンスの数え方

Q 複数ユーザで WinActor を使用したいのですが、ライセンスはユーザ毎に必要ですか。

A 複数のユーザで WinActor のライセンスを利用する場合、必要なライセンス数は、インストールする端末の OS の種類と WinActor インストーラの資材種別によって異なります。

➤ クライアント OS (Windows11/Windows10)

管理者ユーザ用インストーラを用いてインストールしライセンス登録することで、同一 PC 上の複数のユーザーアカウントで交互にログインして WinActor を利用することができます。複数のユーザで同時に WinActor を利用することはできません。

※ 管理者ユーザ用 WinActor は、インストールをする際には管理者権限が必要ですが、利用時および利用ユーザーアカウントには、同権限は必要ありません。

なお、標準ユーザ用インストーラを用いてインストールした WinActor では、利用するユーザーアカウント毎にライセンスが必要となります。

➤ サーバ OS (Windows Server 2022/Windows Server 2019 等)

サーバにログインするときのユーザーアカウント毎にライセンスが必要です。

ライセンス登録を行った複数のユーザで、同時に WinActor を利用することが可能です。

※ グループポリシーによって同一アカウント・複数セッションでの起動が可能な場合がありますが、エラーが発生した場合の対応はできませんのでおやめください。

管理者ユーザ用インストーラでのインストールができない場合やサーバ OS の場合で 1 ライセンスを複数利用者で使用したい場合は、WinActor 実行用の共用ユーザーアカウントを作成し、同アカウントにライセンス登録後、複数利用者で交互にログインして利用する方法での運用をご検討ください。

参考)

開発元 NTT アドバンステクノロジー FAQ

「Windows10 において、複数ユーザで WinActor を使用するにはどうすれば良いですか。」

https://faq.winactor.biz/winactor_jp/faq.asp?faqno=JPN00413

「複数ユーザで WinActor は利用可能ですか？」

https://faq.winactor.biz/winactor_jp/faq.asp?faqno=JPN00034

7.6 フローティングライセンスを利用している PC の確認方法 【WinActorFLA】

- Q** フローティングライセンスを使用している PC、ユーザを確認する方法を教えてください。
- A** WinActor フローティングライセンスを利用している WinActor の情報は、ライセンス管理サーバ（FLA）端末のブラウザより、ライセンス情報画面にてアクセスして確認することができます。

上記画面では以下内容が表示されます。クライアント端末からは確認できませんので、必ず FLA サーバ端末にログインして確認してください。

- 保有するライセンスの種類や種別、数量
- WinActor 実行端末毎の使用ライセンス種別、実行 PC 名、実行ユーザ名、ライセンスグループ名
- ライセンス種別毎の現在使用数、使用可能残数

その他、ライセンス利用の状況は、WinActorFLA が出力するログでも確認することが可能です。

参考)

開発元 NTT アドバンステクノロジー FAQ

「WinActor におけるライセンスの利用状況は確認できますか。」

https://faq.winactor.biz/winactor_jp/faq.asp?faqno=JPN00305

7.7 フローティングライセンスを利用している PC の強制切断 【WinActorFLA】

- Q** フローティングライセンスを使用中のアカウントに対して、管理者側から強制切断を実施することはできますか。
- A** フローティングライセンスを使用中の WinActor（ユーザー／PC）に対して、強制的にライセンスを取り上げることはできません。
クライアント端末側で、ライセンスを使用している WinActor を終了させる必要があります。

7.8 ライセンスサーバとの通信ができなかった場合の WinActor の挙動 【FL 版 WinActor】

Q フローティングライセンス版 WinActor を利用中に、ネットワーク切断等の障害が発生した場合、実行中のシナリオはどうなりますか。

A WinActorFLA/WinActorFL 版のバージョンに依らず、WinActorFLA サービスの再起動や障害の発生等によってライセンスサーバとの通信ができなくなった場合も、通信の途絶前にライセンスを取得し利用していた WinActorFL 版では約 15 分間はライセンス認証状態が保持されます。

したがって、通信の途絶が 15 分を超えない場合は、WinActorFL 版の利用に影響はありません。通信の途絶が 15 分を超えた場合、各状況における影響は以下の通りです。

➤ **FLA が動作していないタイミングで WinActor を起動した場合**

「サーバとの通信に失敗しました」旨のメッセージが表示され、バージョン情報画面のみ操作可能な状態となります。

➤ **FLA サービス再起動前から利用していた WinActor が【シナリオ作成中】の場合**

FLA との通信が途絶後、約 15 分間はシナリオの実行が可能ですが、その後、実行ボタンを押下しますと、「利用可能なライセンスが存在しないため、WinActor を実行できません。」旨のメッセージが表示され、実行できない状態となります。シナリオの編集・保存は約 15 分間経過後も可能です。

➤ **FLA サービス再起動前から利用していた WinActor が【シナリオ実行中】の場合**

FLA との通信が途絶後、約 15 分間は動作し、その後、一時停止状態となります。

シナリオを停止した場合は、バージョン情報画面のみ操作可能となります。

なお、一時停止状態で FLA との通信が再開した場合、ライセンスの空きがあれば、約 3 分後にライセンス有効の状態に戻ります。一時停止状態のシナリオは自動的に再実行することはありませんので、手動で再実行する必要があります。

FLA との通信が途絶後、約 15 分以内に通信が再開しライセンスも有効となれば、シナリオは、一時停止状態になることなく動作し続けます。

参考)

開発元 NTT アドバンステクノロジー FAQ

「フローティングライセンス版 WinActor のサーバ故障時の動作」

https://faq.winactor.biz/winactor_jp/faq.asp?faqno=JPN00138

7.9 ライセンス認証を行うための通信

Q WinActor のライセンス認証の際に、通信は発生しますか。通信先を教えてください。

A ノードロックライセンス版 WinActor では、登録済みのライセンスを認証する際、外部との通信は発生しません。

※ オンラインライセンス登録を行う際は、NTT アドバンステクノロジー管理のサーバとの通信が発生します。プロキシ設定等、通信環境をあらかじめご確認ください。

フローティングライセンス版の WinActor では、毎回の起動時およびライセンス利用中に、フローティングライセンスサーバとの通信が発生します。

7.10 起動時メッセージ：評価ライセンスの試用期限が切れました

Q WinActor をインストールし起動すると、以下メッセージが表示されます。評価版としてのトライアルはできないのでしょうか。
「評価ライセンスの試用期限が切れました。製品を購入して、ライセンスを登録してください。」

A ノードロックライセンス版 WinActor の評価ライセンスは、インストール期限内のインストールを使用し、期限内に初回起動した場合にのみ有効となります。
過去に同端末で同バージョン* の評価ライセンスを使用したことのある端末／ユーザーで、再度評価を行うことはできません。WinActor をアンインストールして再インストールした場合も同様です。
また、対象端末に、ノードロックライセンス版の初回起動期限切れ資材や、フローティングライセンス版資材を誤ってインストールした場合も同様に、同バージョンのノードロック版の評価ライセンスは利用できなくなりますので注意してください。

※ WinActor をインストールし起動した際に当該メッセージが表示された端末では、同バージョン* の WinActor の評価ライセンスは利用できません。

*) 同バージョン

v7.4.4、v7.4.3、…、v7.4.0 はすべて、同バージョン v7.4 (v7.4.X) です。

製品 ID の出力やオンラインライセンス登録は可能ですので、当該端末では製品ライセンスを登録して WinActor をご利用ください。

7.11 WinActor を別の端末で使いたい

Q WinActor を利用する端末を変更したいのですが、すでにライセンス登録済みの端末のライセンスを他の端末で利用する場合、どのような手続きが必要ですか。

A WinActor を利用する端末を変更したい場合は、現在の端末から必要な情報を取得して、ライセンス移管申請を行ってください。

【ライセンス移管手順】

1. 現在ライセンス登録している WinActor を起動して製品 ID ファイル（★移管前製品 ID）を出力する
2. 上記 1 の WinActor にてライセンスクリアを実施する（★ライセンスクリア証明書）
※オンライン移管の場合は、ライセンスクリアをサーバに通知するか選択する画面にて「はい」を選択してください。
3. 上記 1 の WinActor をアンインストールする
4. ライセンスを登録したい WinActor を起動して製品 ID ファイル（★移管後製品 ID）を出力する
5. ライセンス移管手続きをする
※フォームでの手続きの場合は、上記 3 点のファイル★を使用して移管申請をしてください。
※オンライン移管の場合は、ライセンス登録（新規発行）をしてください。

参考)

ライセンスコラム（WinActor ユーザーフォーラム）

【WA0140】ライセンス移管（契約途中で PC を変える）

<https://uf.winactor.com/questions/?p=100193>

7.12 ライセンス登録時メッセージ：ライセンスファイルの読み取りに失敗しました

Q ライセンスファイルを発行し、ローカルファイルからライセンス登録しようとしたが「ライセンスファイルの読み取りに失敗しました」と表示されて登録ができません。

A 「ライセンスファイルの読み取りに失敗しました」エラーは、登録画面で表示されたものと同名のライセンスファイルが存在しない場合や、ライセンスファイルとは異なるファイル（製品 ID ファイル等）を指定した場合に表示されます。以下を確認し、再度ライセンス登録を行ってください。

【ライセンス登録（ローカルファイル）手順】

1. 「ドキュメント」フォルダ配下に置かれている【古いライセンスファイルは削除】、または別の場所に移動させる
2. ダウンロードまたはメールで受領した新しいライセンスファイル「WinActorLicense_xxxxxxx.txt」を、【名前を変更せず、あらためて「ドキュメント」フォルダ配下に】に配置する
※暗号化・圧縮されているライセンスファイルは読み込みできません。Zip ファイルで受領した場合は解凍したファイルを配置してください。
※操作誤りにより、格納したライセンスファイルの中身が製品 ID ファイルになっていたという事例があります。ファイルは上書きせず、新しく配置してください。
3. WinActor メニューから「バージョン情報」→「ライセンス登録」ボタンを押下する
※バージョン情報→ライセンス登録で表示されるライセンスファイル選択画面では、デフォルトで、読み込み対象フォルダ* およびファイル名が指定されます。
（* WinActor をインストールした端末の「ドキュメント」フォルダ）
同フォルダ内に当該ライセンスファイルが格納されていない場合はエラーとなります。
※表示されるライセンスファイル名が異なる場合は、別の WinActor を起動していないか、端末に WinActor が複数インストールされていないかどうかをご確認ください。
4. 「ライセンスファイルを選択してください」画面内、フォルダとファイルが表示されている領域の「WinActorLicense_xxxxxxx.txt」を【クリックする】
※「WinActorProductID_xxxxxxx.txt」は製品 ID ファイルですのでご注意ください。
※【拡張子が非表示になっている場合は、必ずクリック操作をしてください】。
5. 「開く」をクリックしてライセンスを登録する

7.13 ライセンス適用済みの WinActor に、別のライセンスを登録したい

Q 現在フル機能版ライセンスを登録している WinActor に実行版ライセンスを登録して使いたいのですが、そのまま実行版の保守契約 ID でライセンス発行して登録をすればよいのでしょうか。もともと使用していたフル機能版ライセンスはどうなりますか。

A 既存ライセンスが登録された WinActor には、種別や期間の異なる別のライセンスを上書き登録することが可能です。
ただし、上書きされた既存ライセンスは利用できなくなりますので、当該端末以外の別の端末で既存ライセンスを利用したい場合は、あらかじめ、製品 ID ファイル（移管前製品 ID）を出力したあとに、既存ライセンスのライセンスクリアを実施し（ライセンスクリア証明書）、既存ライセンスのライセンス移管に必要な情報を取得する必要があります。

【注意】

➤ **ライセンスクリアを実施した場合、製品 ID が変更される**

既存ライセンスをクリアした場合は、必ず、再起動後に新しく設定された製品 ID ファイルをあらためて出力して新ライセンスの発行を行ってください。

➤ **発行された新ライセンスは、すみやかにライセンス登録を行う**

ライセンスの発行申請後～ライセンス登録が完了するまでの間で、WinActor の起動時に「古いバージョンのライセンスが切れました。新しいバージョンを評価するため、製品 ID を変更してもよろしいですか？～」の確認ダイアログが表示された場合は、必ず [キャンセル] を選択してください。

必要に応じて既存ライセンスのライセンスクリアを行い、ライセンス登録対象の WinActor の最新の製品 ID を使用してライセンスを発行してください。

7.14 ライセンス更新のタイミングで、端末を変更したい

Q 現在使用している WinActor 端末を、ライセンス更新の際に別の端末に変更したいです。現在使用している端末から新しい端末にライセンス移管をしてから更新ライセンスを発行すればよいのでしょうか。

A 保守契約の更新を行った場合、WinActor のライセンスは、新規発行が必要です。製品ライセンスは保守契約 ID ごとに WinActor に登録する必要がありますので、契約更新のタイミングで従来の旧端末から別の新端末に変更する場合、旧端末での更新前保守契約のライセンスクリアやライセンス移管手続きは必要ありません。新端末にて更新後保守契約のライセンスを発行してください。

※ 利用中の既存端末を引き続き使用する場合は、同端末にて、更新後保守契約のライセンスを発行してください。

7.15 登録したライセンスが別ユーザで認証されない

Q WinActor を端末内の別のユーザでも利用したいのですが、ライセンス登録をしたユーザ以外が起動すると、以下メッセージが表示され、WinActor を使用できません。複数ユーザでの利用はできないのでしょうか。
「評価ライセンスの試用期限が切れました。製品を購入して、ライセンスを登録してください。」

A あるユーザがライセンス登録した WinActor を、同一端末内の、新規ユーザを含む複数ユーザで利用が可能か否かは以下により異なります。

- インストール先 OS（クライアント OS / サーバ OS）
- 資材種別（管理者ユーザ用 / 標準ユーザ用）

➢ クライアント OS（Windows 10 / Windows 11）

◇ 【管理者ユーザ用インストーラ】を使用してインストールした場合

複数ユーザでの利用が可能です。（※後述の【注意】を参照）

- ※ インストールをする際は管理者権限が必要ですが、利用時および利用ユーザアカウントには、同権限は必要ありません。
- ※ 端末に登録された同じ 1 つのライセンスを、同一端末内の複数ユーザアカウントでご利用いただけます。
- ※ 評価ライセンスは、端末内の全ユーザ共通で 1 回 30 日間のみ利用が可能です。

◇ 【標準ユーザ用インストーラ】を使用してインストールした場合

複数のユーザアカウントで利用はできません。

- ※ ライセンスのご利用は【ライセンス登録を実施したユーザのみ】となります。異なるユーザがそれぞれ製品ライセンスを登録して使用するには、ライセンス（契約）は使用するユーザの数だけ必要となります。利用ユーザを変更する場合は、ライセンス移管を行ってください。
- ※ 評価ライセンスは、有効期限内であればユーザ毎ご利用が可能です。

参考)

開発元 NTT アドバンステクノロジー FAQ

「Windows10 において、複数ユーザで WinActor を使用するにはどうすれば良いですか。」

https://faq.winactor.biz/winactor_jp/faq.asp?faqno=JPN00413

「複数ユーザで WinActor は利用可能ですか？」

https://faq.winactor.biz/winactor_jp/faq.asp?faqno=JPN00034

【注意】

■■■ 標準ユーザ用から管理者ユーザ用へ変更する場合 ■■■

標準ユーザ用にライセンス登録されている WinActor 端末に対し、管理者ユーザ用インストーラを使用して新規インストール または バージョンアップした場合、登録済みのライセンスが無効になります。

また、ライセンス移管申請に必要な情報が取得できなくなりますので、ライセンス再発行・登録まで、WinActor を使用できない期間が発生します。

【管理者ユーザ用のインストール前】に、必ず、「標準ユーザ用 WinActor で、移管前製品 ID の出力およびライセンスクリア証明書の取得」を実施する必要がありますので十分にご注意ください。

➤ **クライアント OS (Windows 10/Windows 11)**

ライセンスのご利用は【ライセンス登録を実施したユーザのみ】となります。

異なるユーザがそれぞれ製品ライセンスを登録して使用するには、ライセンス（契約）は使用するユーザの数だけ必要となります。利用ユーザを変更する場合は、ライセンス移管を行ってください。

7.16 ライセンス登録時メッセージ：正しいライセンスファイルを指定してください

- Q** ライセンス発行サイトでライセンスファイルを発行し WinActor に登録しようとしたが、ライセンスファイル選択画面でライセンスファイルを選択して[開く]ボタンをクリックすると、「正しいライセンスファイルを指定してください」とメッセージが表示されてライセンス登録できません。
- A** 「正しいライセンスファイルを指定してください」のメッセージは、ライセンスファイルの発行申請をした際に使用した製品 ID とライセンス登録対象の WinActor の製品 ID が異なる場合に表示されます。
- 以下のような原因が考えられますので、当てはまるものがないか確認してください。
- 製品ライセンスが登録された WinActor でライセンスクリアをした
 - 標準ユーザ用の v7.X.X を、異なるユーザーアカウントで起動した
 - 標準ユーザ用の v7.X.X を使用していた端末に管理者ユーザ用資材を使用してバージョンアップや新規インストールを行った
 - v7.X.X の起動時に、新バージョン評価による製品 ID 変更の確認画面が表示されたので「OK」を選択押下した端末に保持された製品情報が、端末の不具合や OS の再インストール等で消失した

ライセンスファイルは、製品 ID が一致する WinActor にのみ登録が可能ですので、製品 ID が変更されてしまった場合、発行済みのライセンスファイルは使用できません。ライセンス移管を行い、新しいライセンスファイルを発行してください。

7.17 ノードロックライセンスを登録した WinActor 端末を確認する方法

Q 複数のライセンス契約があり、それぞれのライセンスを利用している WinActor がどの端末なのかわからなくなっていました。確認する方法はありますか。

A オンラインライセンス登録を実施しているか否かで確認方法が変わります。

➤ オンラインライセンス登録を実施している場合

v7.4.0 以降でオンラインライセンス登録を実施した WinActor から、バージョン情報画面の「ライセンス利用者一覧」にて、以下を確認することが可能です。

- ◇ 同保守契約 ID の発行済み製品 ID（オンライン登録 または 手続きフォームでのライセンスファイル発行）
- ◇ PC 名（オンラインライセンス実施 PC にて、登録されている場合のみ）

【ライセンス利用者一覧の確認方法】

1. オンラインライセンス登録をした WinActor を起動する
2. バージョン情報画面の [ライセンス利用者一覧] ボタンをクリックする

※ライセンス利用者一覧は、オンラインライセンス登録にてライセンスを登録できた WinActor からのみ、閲覧が可能です。

参考)

操作マニュアル

L3.13.3 ノードロックライセンス

L ■ ライセンス利用者一覧

➤ オンラインライセンス登録を実施していない場合

特定の保守契約 ID に紐づくノードロックライセンスの以下情報は、エンドユーザー会社名、対象の保守契約 ID を添えてお問い合わせください。

- ライセンス発行状況（残数）
- ライセンスご利用中の製品 ID

※NTT データ商流外の契約の場合は、購入元の販売店にお問い合わせください。

7.18 FL 版環境での NL 版評価ライセンスの利用可否

Q 現在フローティングライセンス版 WinActor を利用している端末をノードロックライセンス版 WinActor に切り替えるのですが、評価ライセンスは利用できますか。

A 対象端末に先にフローティングライセンス版 WinActor（FL 版）をインストールした場合、後からインストールした同バージョン（例：v7.4.X）のノードロックライセンス版 WinActor（NL 版）では評価期限切れとなり、評価版としての利用はできません。

NL 版の評価ライセンスを利用したい場合は、必ず先に NL 版をインストールして起動する必要があります。

※ バージョンが異なる場合は、評価版としての利用が可能です。

例：v7.3.X FL 版 WinActor インストール後に、v7.4.X NL 版 WinActor をインストール

7.19 移管前製品 ID ファイルがない場合のライセンス移管手続き

Q 端末を変更するため、利用していた端末でライセンスクリアをしたのですが、クリア前に移管前製品 ID ファイルを保存するのを忘れてしまいました。移管サイトでのライセンス移管はできますか。

A 移管前製品 ID がない場合、手続きフォーム（ライセンス移管サイト）からの申請はできません。以下の情報を添付して、購入元の販売店に依頼してください。

- 保守契約 ID
- ライセンス種別
- 移管前製品 ID がない理由
- 出力したライセンスクリア証明書（ファイル添付）
- 移管先 WinActor から出力した製品 ID ファイル（ファイル添付）
- ライセンスファイルの送付先情報
 - 会社名
 - お名前
 - メールアドレス

<付記>

移管サイトで使用する「移管前製品 ID」ファイルは、移管対象ライセンスの発行申請で使用したファイル* を流用することが可能です。

- *) 登録していたライセンスファイル「WinActorLicense_XXXXXXXX.txt」または出力したライセンスクリア証明書「WinActorClearLic_XXXXXXXX.txt」と英数字 8 桁部分（XXXXXXXX）が一致する製品 ID ファイル「WinActorProductID_XXXXXXXX.txt」

7.20 ライセンスクリア証明書がありません

Q ライセンス移管をするためにライセンスクリアを行ったのですが、ライセンスクリア証明書が見当たりません。WinActor を起動するとライセンスが無効になっていますが、証明書が出力されなかったのでしょうか。

A ライセンスクリアはライセンスクリア証明書の保存をもって完了しますので、ライセンスクリアを実施した場合は必ずライセンスクリア証明書が出力されます。以下を確認してください。

➤ 「ドキュメント」配下の確認

ライセンスクリアの際、「WinActor ライセンスクリア証明書ファイルの保存」ダイアログで表示されるデフォルトの保存先は、【ライセンスクリアを実施したユーザ】の「ドキュメント」フォルダです。

ライセンスクリアを実施したユーザー（Windows ユーザーアカウント）で端末にログインし、「ドキュメント」配下にライセンスクリア証明書が出力されていないかをご確認ください。

- ◇ ご利用環境の設定等により「ドキュメント」フォルダの場所がわからない/開けない場合は、エクスプローラーのアドレスバーに「%USERPROFILE%\Documents」と入力して、「ドキュメント」フォルダに移動できるどうか確認してください。

➤ 上記「ドキュメント」配下に格納されていない場合

上記の「ドキュメント」配下にライセンスクリア証明書が保存されていない場合は、ライセンスクリアを実施する際（クリア前）に出力した製品 ID ファイル名* を確認してください。

*）製品 ID ファイル「WinActorProductID_XXXXXXXX（英数字 8 桁）.txt」

なお、ライセンスクリア証明書のファイル名は以下の通りです。ライセンスクリアを実施したユーザーアカウントで端末にログインし、端末内で「WinActorClearLic_」または「XXXXXXXX（英数字 8 桁）」を検索し、意図しない場所に保存されていないかどうかを確認してください。

➤ 「WinActorClearLic_XXXXXXXX（英数字 8 桁）.txt」

※ 英数字 8 桁部分が同一

※ ごみ箱の中身も忘れずに確認してください。

7.21 ライセンスを重複発行した場合の対応

- Q** 更新対象の WinActor を間違えて、別の保守契約 ID のライセンスで動作している WinActor でライセンス更新してしまいました。正しい状態に戻すにはどうすればよいでしょうか。
- A** 2つの保守契約 ID のライセンスが同じ WinActor（製品 ID）に紐づいている状態ですので、ライセンス移管をして、それぞれの保守契約 ID に正しい WinActor（製品 ID）を紐づける必要があります。

【ライセンス紐づけ手順】

■■■重要■■■

v7.4.0 以降の WinActor では、ライセンスクリア時に「サーバライセンスクリアを通知しますか？～（以下略）」というオンライン通知を実施するかどうかの確認画面が表示されますが、必ず「いいえ」を選択してください。

1. 移管手続きに必要な以下の情報を取得する
 - ◇ 【PC1】: 2つの保守契約 ID のライセンスが紐づいている WinActor
 - ・ 製品 ID（移管前製品 ID）を出力する
「WinActorProductID_XXXXXXXX.txt」
 - ・ ライセンスクリアをする（ライセンスクリア証明書）
「WinActorClearLic_XXXXXXXX.txt」
 - ・ WinActor を再起動し、製品 ID（移管後製品 ID）を出力する
「WinActorProductID_YYYYYYYY.txt」
 - ◇ 【PC2】: 正しい更新対象の WinActor
 - ・ WinActor を起動し、製品 ID を出力（移管後製品 ID）
「WinActorProductID_ZZZZZZZZ.txt」
- ※ 上記の製品 ID ファイルは、すべてファイル名が異なります。
2. ライセンス移管サイトにて、移管申請を実施する
 - 【PC1】
 - ・ 保守契約 ID : 【PC1】で使用するライセンスの保守契約 ID
 - ・ 移管前製品 ID : 【PC1】の移管前製品 ID
 - ・ ライセンスクリア証明書 : 【PC1】のライセンスクリア証明書
 - ・ 移管後製品 ID : 【PC1】の移管後製品 ID
 - 【PC2】
 - ・ 保守契約 ID : 【PC2】で使用するライセンスの保守契約 ID
 - ・ 移管前製品 ID : 【PC1】の移管前製品 ID
 - ・ ライセンスクリア証明書 : 【PC1】のライセンスクリア証明書

- ・ 移管後製品 ID : 【PC2】の移管後製品 ID
- ※ 保守契約 ID に対し、それぞれ正しい発行先製品 ID ファイルを移管後製品 ID に指定してください。
3. 発行したライセンスファイルを、正しい適用先 WinActor にライセンス登録する

7.22 v6.X.X と v7.X.X を併用している場合の v6.X.X の削除

Q v6.X.X から v7.X.X への移行が完了したので v6.X.X を削除したいのですが、ライセンスに影響はないでしょうか。併用している場合の v6.X.X の削除方法を教えてください。

A WinActor のアンインストール方法は、インストールに使用したインストーラの資材種別によって異なりますが、v6.X.X をアンインストールしても v7.X.X のライセンスに影響はありません。

【注意】

当該端末で引き続き v7.X.X を使用する場合は、v6.X.X のアンインストールのみを行い、ライセンスクリアをしないでください。

WinActor のアンインストール方法については、本 FAQ の以下を確認してください。

4.3 WinActor のアンインストール方法

7.23 IP アドレス・PC 名変更による影響

Q WinActor を利用している端末の IP アドレスと PC 名を変更した場合、WinActor に登録済みのライセンスに影響はありますか。

A WinActor がインストールされている端末の以下の変更は、登録済みのライセンスに影響はありません。変更した場合も、そのまま WinActor を使用することができます。

- IP アドレス
- PC 名

7.24 ライセンス登録時メッセージ：指定した保守契約 ID で発行可能なライセンスは全て発行済みです

Q 利用端末の変更のため、ライセンス移管をオンラインで行っているのですが、旧端末でライセンスのクリアを実施したあとに新端末でライセンス登録（オンライン）をすると、以下メッセージが表示され、新端末へのライセンス登録ができません。

「ライセンス情報が取得できませんでした。指定した保守契約 ID で発行可能なライセンスは全て発行済みです。」

A ライセンスクリア時に、以下どちらかの状態になっていると考えられます。

- 「サーバへライセンスクリアを通知しますか？～（以下略）」で「いいえ」を選択
- 「サーバへライセンスクリアを通知しますか？～（以下略）」で「はい」を選択したが、ライセンスクリアのサーバへの通知に失敗した状況

手続きフォームでのライセンス移管に切り替えて申請を行い、ライセンスファイルを発行してライセンス登録（ローカルファイル）を行ってください。

【重要】

手続きフォームでの移管申請では、以下のファイルが必要です。

- 旧端末でライセンスクリアを実施した際に保存した製品 ID ファイル（★移管前製品 ID）
- 旧端末のライセンスクリア証明書ファイル（★ライセンスクリア証明書）
- 新端末の WinActor から出力した製品 ID ファイル（★移管後製品 ID）

移管前製品 ID ファイルがない場合は申請できません。

保守契約 ID と、ライセンスクリア証明書、移管後製品 ID ファイルを添えて、販売店担当者まで連絡してください。

7.25 ライセンス更新をしたが反映されない

Q ライセンス更新をしたのですが、WinActor のバージョン情報画面を確認したところ、ライセンス有効期限が更新前期限から延長されていません。

A 契約の更新をした場合、WinActor には更新後の新しいライセンスを登録する必要があります。ライセンスファイルを登録してもライセンス期限が延長されない場合は、更新前の旧保守契約 ID で発行された、同名の古いライセンスファイルを登録した可能性があります。

再度、新しいライセンスファイルを登録してください。

【手順】

1. 現在「ドキュメント」フォルダ配下に置かれているライセンスファイルを削除、または別の場所に退避する
2. 新しいライセンスファイルを、名前を変更せず、あらためて「ドキュメント」フォルダ配下に配置する
 - ※ 以下事例の場合がありますので、ファイルは上書きせず、新しく配置してください。
 - ・ 操作誤りにより、格納したライセンスファイルの中身が製品 ID ファイルになっていた
 - ・ 旧ファイルがある状態で上書き配置したが、中身が新しいものに更新されていなかった
3. WinActor メニューから「バージョン情報」→「ライセンス登録」ボタンを押下する
 - ※ バージョン情報→ライセンス登録 で表示されるライセンスファイル選択画面では、デフォルトで、読み込み対象フォルダ* およびファイル名が指定されます。
(* WinActor をインストールした端末の「ドキュメント」フォルダ)
4. 「ライセンスファイルを選択してください」画面内、フォルダとファイルが表示されている領域のライセンスファイル「WinActorLicense_XXXXXXXX.txt」をクリックする
 - ※ 「WinActorProductID_XXXXXXXX.txt」は製品 ID ファイルですのでご注意ください。
 - ※ 拡張子が非表示になっている場合は、必ずクリック操作をしてください。
5. 「開く」をクリックしてライセンスを登録する
6. 再起動を促すメッセージが表示されたら WinActor を再起動する
7. バージョン情報画面にて、製品版として動作していることを確認する

7.26 フローティングライセンス版 WinActor のライセンス更新とバージョンアップ

Q フローティングライセンス版の WinActor を利用しています。ライセンス更新を行う場合、WinActor 側で必要な作業はありますか。また、WinActor をバージョンアップした場合、WinActorFLA も更新が必要ですか。

A フローティングライセンス版の WinActor (WinActor_FL 版) のライセンスは、すべてライセンス管理サーバ (WinActorFLA) で管理しますので、契約更新や追加購入の場合のライセンス更新作業は WinActorFLA 側で行います。WinActor_FL 版側での作業はありません。

また、ライセンスサーバ WinActorFLA が保持しているライセンスは、ライセンスを使用する WinActor_FL 版のバージョンを問いません。WinActor_FL 版をバージョンアップした場合も、WinActorFLA に登録された既存のライセンスを使用することができます。対応 WinActor バージョンは以下をご確認ください。

参考)

開発元 NTT アドバンステクノロジー FAQ

「FLA の動作 OS、対応 WinActor バージョンについて教えてください」

https://faq.winactor.biz/winactor_jp/faq.asp?faqno=JPN00419

7.27 実行版での実行、停止、一時停止機能の有無

Q フル機能版にある実行、停止、一時停止の機能は実行版にもありますか。

A 実行、停止、一時停止の機能は実行版にもあります。
フル機能版と実行版で利用できる機能の差分についてはマニュアルをご参照ください。

操作マニュアル

└1.3 ライセンス種別と利用できる機能

└└1.3.1 ライセンス種別

7.28 WinActor ライセンスの取得・登録期限

Q フル機能版・実行版の使用にあたり、ライセンスの取得および登録期限はありますか。

A ライセンスの取得および登録の期限はございません。

ただし、ライセンスの有効期限は契約期間によって決まっている為、登録が遅れた日数分お使いいただける日数が減ることになります。

お早めにご登録されることをお勧めします。

7.29 ライセンスの期限が切れた後の新規ライセンス登録

Q ライセンス期限が切れてしまった場合でも、新しいライセンスを登録することはできますか。

A 期限切れ後でも、新しいライセンスを登録することはできます。

(ライセンス期限が切れるとライセンスを登録するまでは WinActor を使用することができませんのでご注意ください。)

7.30 ライセンスクリア証明書出力後の使用可否

Q ライセンスクリア証明書を出力直後から、WinActor は使用できなくなりますか。

A ライセンスクリア証明書を出力直後から、WinActor は使用できなくなります。

7.31 ライセンスファイルを別端末で使用

Q ある端末の製品 ID で発行したライセンスファイルを、別の端末で利用することはできますか。

A 利用できません。

製品 ID を出力した端末に紐付いたライセンスが発行されますので、別の端末に登録しようとしてもエラーが表示されます。

7.32 バージョンアップ情報のユーザへの提供方法

- Q** WinActor のバグ情報と修正ファイルはどのようにユーザに展開されますか。
- A** バージョンアップを含め、その情報と提供方法については、都度ご案内します。
下記サイトのアップデート情報をご参照ください。

https://winactor.biz/product/winactor_v7.html